

(仮 称) 仁 山 高 原 風 力 発 電 事 業
環 境 影 響 評 価 方 法 書 に つ い て の
意 見 の 概 要 と 事 業 者 の 見 解

令和 6 年 7 月

JR 東日本エネルギー開発株式会社

(白紙のページ)

目次

第1章 環境影響評価方法書の公告及び縦覧.....	1
1. 環境影響評価方法書の公告及び縦覧.....	1
(1) 公告の日.....	1
(2) 公告の方法.....	1
(3) 縦覧場所.....	2
(4) 縦覧期間.....	2
(5) 縦覧回数.....	2
2. 環境影響評価方法書についての説明会の開催.....	3
(1) 公告の日及び公告方法.....	3
(2) 開催日時、開催場所及び来場者数.....	3
3. 環境影響評価方法書についての意見の把握.....	4
(1) 意見書の提出期間.....	4
(2) 意見書の提出方法.....	4
(3) 意見書の提出状況.....	4
第2章 環境影響評価方法書について提出された環境の保全の見地からの意見の概要とこれに対する事業者の見解.....	5

(白紙のページ)

第1章 環境影響評価方法書の公告及び縦覧

1. 環境影響評価方法書の公告及び縦覧

「環境影響評価法」第7条の規定に基づき、当社は環境の保全の見地からの意見を求めるため、環境影響評価方法書（以下「方法書」という。）を作成した旨及びその他事項を公告し、方法書及びその要約書を公告の日から起算して1月間縦覧に供した。

(1) 公告の日

令和6年4月23日（火）

(2) 公告の方法

① 日刊新聞紙による公告

[別紙1 参照]

令和6年4月23日（火）付けの以下の日刊新聞紙に「公告」を掲載した。

・北海道新聞（朝刊）

※5月11日（土）から16日（木）にかけて開催した説明会についての公告を含む。

② 広報による公告

[別紙2 参照]

下記の広報に「お知らせ」を掲載した。

・広報ななえ4月号、5月号

・広報ほくと4月号

・広報もりまち4月号、5月号

③ インターネットによるお知らせ

[別紙3 参照]

以下のホームページに「お知らせ」を掲載した。

・北海道のウェブサイト

・七飯町のウェブサイト

・北斗市のウェブサイト

・森町のウェブサイト

・当社 ウェブサイト

(3) 縦覧場所

地方公共団体庁舎等 6 か所及びインターネットの利用による縦覧を実施した。

① 地方公共団体庁舎

- ・ 北海道渡島総合振興局保健環境部環境生活課 : 北海道函館市美原 4 丁目 6-16
- ・ 七飯町役場本庁舎 : 北海道亀田郡七飯町本町 6-1-1
- ・ 七飯町役場大沼出張所 : 北海道亀田郡七飯町大沼町 502-1
- ・ 七飯町役場大中山出張所 : 北海道亀田郡七飯町大中山 2-1-3
- ・ 北斗市役所市民部環境課 : 北海道北斗市中央 1-3-10
- ・ 森町役場本庁舎 : 北海道茅部郡森町御幸町 144-1

② インターネットの利用

当社ホームページに方法書の内容を掲載した。

<https://www.jr-energy.jregroup.ne.jp/info/detail.html?id=niyamanews202404>

(4) 縦覧期間

令和 6 年 4 月 23 日（火）から令和 6 年 5 月 27 日（月）までとした。

地方公共団体庁舎等は土・日・祝日を除く開庁時とし、インターネットは常時アクセス可能とした。なお、縦覧場所に設置した図書は、意見募集期間である 6 月 10 日（月）まで閲覧可能とした。

(5) 縦覧回数

縦覧者数（意見書箱への投函者数）は 245 名であった。

（内訳）北海道渡島総合振興局保健環境部環境生活課	10 名
七飯町役場本庁舎	218 名
七飯町役場大沼出張所	4 名
七飯町役場大中山出張所	13 名
北斗市役所市民部環境課	0 名
森町役場本庁舎	0 名

2. 環境影響評価方法書についての説明会の開催

「環境影響評価法」第7条の2の規定に基づき、方法書の記載事項を周知するための説明会を開催した。

(1) 公告の日及び公告方法

説明会の開催公告は、方法書の縦覧等に関する公告と同時に行った。

[別紙1 参照]

(2) 開催日時、開催場所及び来場者数

説明会の開催日時、開催場所及び来場者数は以下のとおりである。

- ・開催日時：令和6年5月11日（土）18時30分から20時00分まで
- ・開催場所：北斗市総合文化センター かなで〜る（北斗市中野通2-13-1）
- ・来場者数：4名

- ・開催日時：令和6年5月14日（火）14時00分から15時30分まで
- ・開催場所：七飯町大沼婦人会館（七飯町字大沼212-2）
- ・来場者数：16名

- ・開催日時：令和6年5月14日（火）18時00分から19時30分まで
- ・開催場所：七飯町大沼婦人会館（七飯町字大沼212-2）
- ・来場者数：5名

- ・開催日時：令和6年5月15日（水）14時00分から15時30分まで
- ・開催場所：七飯町文化センター（七飯町本町6-1-2）
- ・来場者数：8名

- ・開催日時：令和6年5月15日（水）18時00分から19時30分まで
- ・開催場所：七飯町文化センター（七飯町本町6-1-2）
- ・来場者数：14名

- ・開催日時：令和6年5月16日（木）18時30分から20時00分まで
- ・開催場所：グリーンピア大沼（森町赤井川229）
- ・来場者数：4名

3. 環境影響評価方法書についての意見の把握

「環境影響評価法」第8条の規定に基づき、当社は環境の保全の見地からの意見を有する者の意見書の提出を受け付けた。

[別紙3 参照]

(1) 意見書の提出期間

令和6年4月23日（火）から令和6年6月10日（月）までの間
（縦覧期間及びその後2週間とし、郵送の受付は当日消印まで有効とした。）

(2) 意見書の提出方法

- ① 縦覧場所に備え付けた意見書箱への投函
- ② 当社への郵送による書面の提出

(3) 意見書の提出状況

意見書の提出は363通、意見総数は404件であった。

第2章 環境影響評価方法書について提出された環境の保全の見地からの意見の概要とこれに対する事業者の見解

「環境影響評価法」第8条第1項の規定に基づき、環境影響評価方法書について、環境の保全の見地から提出された意見は404件であった。

表 2-1 (1) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
1	本意見書は御社が計画中の標記事業の環境影響評価の方法に対し配慮すべき項も含め意見するものである。また事業化へは多様な環境保全評価を望むものである。 総括的事項 (1) 事業計画区域は渡島半島大野平野の基部に近い駒ヶ岳火山活動で出来た湖沼に近接したなだらかな山地で日本二百名山、駒ヶ岳を望む道内有数な展望地でもある。計画範囲は2級河川森町宿野辺川左股沢と同北斗市大野川石川沢川、小熊の沢川、そして同久根別川仁山川を囲む範囲で河川含め大沼鳥獣保護区に指定され保安林である。 計画区域の河川が丘陵を分け火山性角礫岩、凝灰岩や安山岩などが基岩となり標高5～600mの山地を形成し開発前はチシマザサ・ブナ群団であったとされる。なお、計画区域北部に断層が走っている。 また計画区域一帯はなだらかな丘陵で開発があったこともあり特定植物群落の「渡島国仁山高原木地挽山シバ草原」に選定された保護区である。東部は国定公園で第2種特別地域、第3種特別地域が近接し南部に仁山景観保護地区にも隣接している。計画区内はダケカンバ、シラカンバ、ミズナラ、ブナ等の落葉広葉樹の二次林が主だが、植林地がパッチ状にあり、南端部は牧草地を含む草原となっている。 草本としエゾタンボポ、ハナイカリ、エゾチドリ、ササバギンラン、ノビネチドリやシラネアオイなど希少種が広範囲に生息しそれらが群生している区域もある。 昆虫は希少昆虫のアサギマダラの繁殖地として近郊の横津岳同様に重要なポイントで甲虫類も各種観察される。 野鳥は流域にクマタカ、ノスリ、草原にチュウヒ、オオジシギや森林にヤマゲラ、オオアカゲラなどの大型鳥類などみられ、管理鳥獣のヒグマ、エゾシカの姿もあり生態系が保たれた重要な地域となっている。 環境影響評価を実施するにあたって計画区域内は複合（兼種）保安林であり水源涵養保安林と近接する仁山高原の土砂流出防備保安林及び大沼地域の風致保安林があり、各保安林機能への影響を最新の知見及び評価手法を採用し簡明となるような定量的方法を用いること。	対象事業実施区域及びその周辺の環境情報につきまして詳細な情報をいただきまして、ありがとうございます。いただいた環境情報も参考に、今後の現地調査を実施いたします。 各種保安林指定の区域につきましては、改変面積の極力低減を図ります。その上で、保安林の機能への影響については最新の知見及び評価手法を採用するよう努めます。
2	(2) 本事業は、総出力3万8千7百kWの風力発電所を設置する計画とし、最大9基を計画区に設置することから、環境影響を回避・低減する対策と悪影響を想定した事業損失の代償（リスクヘッジ）を事業者が関係自治体、機関、団体、住民等へ提示する必要がある。	今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、環境保全措置を検討のうえ、環境への影響を可能な限り回避又は極力低減をいたします。その結果は準備書に全て記載のうえ、説明会等を通じて、地元の皆様へ内容をご説明いたします。

表 2-1 (2) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
3	(3) 本事業に際し、重大な環境影響の項が生じ、これが回避又は十分な低減が科学的根拠をもとに示すことができない場合、かつ団体や住民との合意形成が困難な場合において、対象事業実施区域の絞り込みや事業規模の縮小はもとより事業計画そのものの見直しを行う必要がある。	方法書以降の調査を基に予測・評価し、影響の回避・低減を検討しますが、その結果、極力回避又は十分な低減が出来ない場合は配置変更・規模変更なども含めた検討を行う予定です。これらの検討経緯については、住民の方々、関係自治体には十分な説明を行い、ご理解いただくよう努めます。
4	2 個別的事項 (1) 騒音及び超低周波音、風車の影 事業計画区域の山地に住居、作業所がある場合。特に低周波音や風車の影による健康影響を含む重大な環境影響が生じるおそれがあるので、日影図の情報等に基づいた適切な方法で調査及び予測を行い、重大な環境影響の有無を評価すること。	超低周波音については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されていませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
5	(2) 水環境 事業計画区域内の事業にあたっては水源が南部に 2 箇所あり地下水を利用する山麓住民もいることから水源涵養機能の低下が危惧される。加えて地下水脈分断や林道拡張、建設地開削などの土地改変、樹木伐採による濁水発生や土砂の流出、流亡などによる河川へ土砂流出など攪乱は少なくないと考えられる。方法書ではそれら予測を行い、地下水脈の遮断の有無、治水安全度の良否も合わせ環境影響の有無を早期に評価すること。	風力発電機建設に当たっては、一時的に裸地ができ、そこへの降雨で濁水が発生する恐れがありますが、沈砂池を設置して濁水濃度緩和後に周辺の林地に浸透させることにより、表面流発生を防ぐとともに地下水量の変化を抑制します。沈砂池排水口は河川から離隔が取れる場所に計画し、河川への濁水混入をさせない計画とします。 また、風力発電機設置場所付近では事業計画策定のために詳細な地質調査を行い、地下水脈の有無を確認してから建設工事に入ること、地下水脈の遮断がないような事業計画を策定します。
6	(3) 動物 事業計画区域内は概ね全域が鳥獣保護区でありクマタカ、ノスリ、クマゲラ、ヤマゲラなどの希少猛禽類、ホオジロ、ノビタキなど山野の鳥や大沼の湖沼からガン・カモの飛翔が確認あるいは想定されることから、野鳥および先述したアサギマダラの風車の衝突が大いに懸念される最重要ゾーンであることから細心の調査をもって評価すること。 また、大型獣は、エゾヒグマ、エゾシカなどが生息し、特に人的被害の多いエゾヒグマ、農林業被害の多いエゾシカなどは事業による風車の音や機器の存在で想定外の異常行動を生みやすい。 これらは風車事業と関連する管理道を利用し移動時間短縮、食害域を拡大することが報告されている。それら想定されることを評価すること。	対象事業実施区域及びその周囲の希少猛禽類及びその他の鳥類の生息状況、渡り鳥の利用状況、昆虫類の生息状況について、調査結果及び専門家からの助言を踏まえ、事業実施に伴う影響を予測及び評価いたします。 エゾシカ等の大型哺乳類については、今後実施する現地調査において対象事業実施区域及びその周囲での生息状況を確認してまいります。なお、風力発電機とそれら大型哺乳類にかかる行動等に関する国内の文献等はないのが実情ですが、引き続き最新の知見の収集に努めてまいります。また、環境影響評価においては獣害や食害等の事象は対象外となりますが、地元住民からの意見等も鑑みながら、必要に応じて対策等についても検討してまいります。
7	(4) 植物、生態系 事業計画区域内は複合保安林(水源涵養保安林含)で生態系上保全区域である。区域にはシラネアオイ、ギンランなどの希少草本、低木のオオバクロモジなどが点々と生息し南方と北方の植物が重なる道内でも重要な区域である。 そのなかで風力発電設備や機材搬入路、管理道路の設置、開削はもとよりヘリ輸送などに伴う集積場や路側の掘削など土地改変での植生破壊などによる環境影響の有無とそれらの代償を評価すること。	対象事業実施区域及びその周囲の植物相並びに植生の分布状況について調査を行い、その結果から専門家の助言を踏まえ、事業実施に伴う影響を予測及び評価いたします。 なお、風力発電機ヤードや搬入道路等の造成については、既存の林道を利用する等、改変面積を可能な限り最小限に抑え、改変による植物の重要な種及び植生への影響を極力低減するよう検討いたします。

表 2-1 (3) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
8	(5) 景観 事業計画区域は駒ヶ岳と大沼をランドマークとする国際的観光地で、ラムサール条約登録湿地でもある大沼国定公園に隣接しており、風力発電機が及ぼす大沼各地点からの景観への影響、近接するきじひき高原の各展望所、七飯道の駅、城岱牧場など観光スポットからの影響予測につき評価すること。	大沼周辺については「⑥日暮山展望台」、「⑦大沼公園広場」、「⑧湖畔の東屋」、「⑨北緯 42° の標」及び「⑩白鳥台セバット」、きじひき高原については「①村山公園（きじひき高原公園）」、「②噴火湾眺望台」及び「③きじひき高原パノラマ展望台」、城岱牧場については「⑤城岱牧場」を方法書において選定しております。「道の駅なないろ・ななえ」は公的なHP やパンフレットにおいて眺望に関する情報が確認されなかったため非選定としておりますが、引き続き情報収集に努め、眺望に関する情報が確認された場合は、主要な眺望点への追加を検討いたします。
9	(6) 人と自然との触れ合いの活動の場 事業計画区域は写真撮影、ドライブ、ラン・ウォーク & ハイキング、春の山菜、秋のキノコを採取したり高アンテナでアマチア無線通信に親しむ道民もいる。これについても利用にあたって適切な方法により調査及び予測を行い、環境影響の有無を評価すること。	頂戴したご意見を踏まえて情報収集に努め、主要な人と自然との触れ合いの活動の場として機能している場所を改めて確認いたします。情報収集の結果、主要な人と自然との触れ合いの活動の場として機能している場所を特定した場合には適切な調査、予測及び評価を実施いたします。
10	(7) その他 事業計画区域には発電所として送電線網をどのような経路で組むか、送電線路の線引き、電柱の設置箇所、高さ、色彩次第で環境への影響は少なくない。また、風況は期待値ではなく実測値を明らかにしたうえで、北電など契約年数と施設耐用年数に整合性があるかさらに事業終了、もしくは、事業撤退した場合の施設取り壊し、森林、草地への事業前復元が懸念されることから、これらについても適切な契約による確約及び予測を明らかにし、重大な環境影響の有無を評価すること。さらに工事中の残土、伐木など廃棄物処理について具体的に記載すること。	対象事業実施区域内におきまして、送電線は可能な限り地中埋設を検討の上、環境に配慮いたします。また、風況につきましては直接事業性にかかわることから、期待値ではなく実測値を基にした解析を行い、発電量を算出していく予定です。事業の終了時の撤去につきましては事業期間を通じて費用の積み立てを行い、対応する方針です。工事の実施に伴う残土及び廃棄物については、その発生抑制に努めるとともに、発生した場合の処理方法等について準備書に記載いたします。
11	(8) 所見 風力、地熱、水力、太陽光などの自然再生可能エネルギー事業を推進し電源を分散していくのはわが国の求めるところで当会、当ネットワークも反意は無い。しかしながら、環境影響評価方法書、環境影響評価の段階で本風力発電事業、実施計画区域での風力発電事業計画には次の水環境、安全、生態系、景観の 4 項で悪影響が生ずると懸念されるため、早期に事業可否の判断をされたい。	環境影響評価手続きは、事業実施の可否を判断するものではなく、環境保全措置を講じることにより、周辺環境への影響を可能な限り回避又は極力低減することができるかについて検証するものと認識しております。今後、現地調査の結果をもとに、事業計画を策定してまいります。
12	a. 林道、施業道および丘陵の土地改変は裸地増加で区域の流出率を上げ、土砂移動の増加が危惧され治水安全度を少なからず悪化させると考えられ水源にも影響がでてくる。さらに事業区域付近は過去に風況データが期待外れだったとされ風力発電事業着手を懸念している。また、流域の礫岩層は地滑りを起こしやすく事業にあたって林道改変、風車建設などの起因で土砂災害や林道、管理用道路からの濁水の長期化が大野川、久根別川へ悪影響をあたえ、水源悪化の懸念もある。	河川の治水環境に配慮するため、流域あたりの改変率を極力低減するため、今後の詳細設計にあたっては改変面積を可能な限り小さく留めるよう留意いたします。風況につきましては、現在観測を行っております、観測結果をもとに今後の事業計画を進めてまいります。

表 2-1 (4) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
13	b. この事業区域ではヒグマ、エゾシカの生活攪乱での人、農地への被害や森の改変で野生生物の食草への被圧、とりわけアサギマダラの産卵草、食草のイケマ、ヨツバヒヨドリの好餌部消滅など影響と風車のブレードとの衝突は少なくないと考えられのポテンシャルは否定できない。	エゾシカ等の大型哺乳類については、今後実施する現地調査において対象事業実施区域及びその周囲での生息状況を確認してまいります。なお、風力発電機とそれら大型哺乳類にかかる行動等に関する国内の文献等はないのが実情ですが、引き続き最新の知見の収集に努めてまいります。また、環境影響評価においては獣害や食害等の事象は対象外となりますが、地元住民からの意見等も鑑みながら、必要に応じて対策等についても検討してまいります。 昆虫類の生息状況については、今後現地調査を実施し、対象事業実施区域及びその周囲における昆虫類相を把握してまいります。
14	c. 事業区域は二次林と草地だが南方、北方の植相、山野と水辺の鳥が交わる特異な生態系をもち地域特性があることから事業起因による生態系の攪乱が危惧される。	対象事業実施区域及びその周囲の動物の生息状況及び植物相・植生の生育状況について、調査結果及び専門家からの助言を踏まえ、事業実施に伴う影響を予測及び評価いたします。
15	d. ラムサール条約湿地区域が山麓にあたることから蓴菜沼への濁水流入と鳥類飛行被圧や湖沼眺望点からの景観悪化など懸念される。 これらから、安全や生態系保全上も本風力発電計画は環境へ少なからず悪影響を与えるものと考え意見する。	今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。鳥類の飛行ルートへの影響、特に鳥類の衝突の可能性に関しては、「鳥類等に関する風力発電施設立地適正化のための手引き」（環境省、平成 23 年、平成 27 年修正版）等に基づき、定量的に予測いたします。
16	貴社作成の方法書について、意見書提出します。 1) 工事関係車両運搬経路について きじひき高原周辺の風力発電設置計画への工事車輛等の搬入経路に関して国道 227 号から村山一号線を使用し、大型車輛や資材運搬に使用される計画になっていますが(2.2-16(18)) 現在、唯一の観光の目的に使用されています。又途中に「匠の森」への出入口にも使用されています。他に新設道路拡張する場合において、周辺の環境を損ねることのないように検討をお願いします。	「人と自然との触れ合いの活動の場」の調査、予測及び評価の対象地点として、きじひき高原公園を選定しており、工事用資材等の搬出入に伴う、この場所へのアクセスルートにおける交通量の変化を予測し、利用特性への影響を予測及び評価し、結果は準備書にお示しいたします。
17	2) 自然環境について 計画地は展望も良く植物、動物等に恵まれた場所であり、鳥類の渡りルートにもなっていますし、繁殖地に適していると思われます。調査期間に関して特に繁殖期間については時期を再検討してもらいたいです。4.2-34(240) 参照※有識者意見と同意	調査期間につきましては有識者のご意見を参考に調整いたしました。さらに、今後国や県による審査を踏まえて最終的な調査手法が確定いたします。 現地調査、予測及び評価の結果を踏まえて、本事業による自然環境への影響について、可能な限り回避又は極力低減するよう計画いたします。
18	未だ意見はまとまっていませんが、湖水の水質に関するを中心にメンバーで検討することを考えています。	今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施することとしております。その結果には、準備書にてお示しいたしますのでご確認をいただけますと幸いです。
19	私たち「大沼の水を考える会」は、七飯町大沼地域に暮らす住民が中心となって、大沼の環境悪化を憂え、少しでも水質改善に貢献できないかと活動しています。ラムサール協議会の一員でもあり、今回の説明会へも同会からの出席要請を受け参加しました。 地球温暖化が進行し、炭酸ガス排出抑制の必要性は、待ったなしのところまで来ており、再生可能エネルギーへの転換はこれまで以上に旺盛に進めなければなりません。そのため風力発電についても、基本的には支持し、応援したいと思います。	地球温暖化に対する炭酸ガス排出抑制となる再生可能エネルギーである風力発電事業にご理解いただき、ありがとうございます。

表 2-1 (5) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
20	今回の計画の実施区域は、大沼（小沼、葦菜沼を含む）に極めて隣接しています。国定公園の大沼については、 「大沼は、…四季を通じて探勝、船遊び、散策等で賑わっている、豊かな自然環境に恵まれた本道を代表する貴重な観光地である。また、ワカサギ、貝類、フナ、エビ等の魚類が生息していて…平成 24 年 7 月にはラムサール条約湿地に登録され、特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地であることが広く認められている。」 という文章を紹介し（『大沼環境保全計画』平成 29 年）。 風力発電事業の計画にあたっては、このような大沼の存在に十分な注意を払ってほしいと考えます。その理由としては大沼の水深が浅く、周囲の環境変化に非常に敏感であるからです。毎年のように大雨が降ったあとに「アオコ」が大発生したり、高速道路のトンネル工事によって葦菜沼での特産品ジュン菜が生育不良になったり（原因が確定されているわけではありませんが）、環境悪化が影響した事例が起きています。大沼の水質の現状については、前出の『大沼環境保全計画』には次のように書かれています。 ＜大沼の水質＞ アオコの発生等、流域からの栄養塩類の発生流入等を原因とした環境負荷の増大による水質汚濁の進行が懸念され、有機汚濁の代表的な指標である化学的酸素要求量（COD）でみると、昭和 55 年度以降継続して環境基準を超えている。また、全リン（T-P）については、平成 3、5、16、19、21、23 年度に環境基準を超えている。 風力発電の事業化にあたっては、地域住民の生活や自然環境の保全との適切な調和が必要なことは、今回の「方法書」においても明記されています。しかし、これまで紹介した大沼の特性や水質の現状を踏まえると、「方法書」では、自然環境の保全の面でもっと踏み込んだ影響評価と対策が必要ではないかと考えます。 今回の事業区域は、流入河川の一つである宿野辺川の流域に完全に含まれ、最終的な影響が「大沼の水質」に集約されるので、環境影響評価の中でも特に「水環境への影響」に対してもっと力を入れて欲しいと思います。私たちは、風力発電の利点とバランスをとるべきファクターとして、「大沼の水質」が最上位に来てもおかしくないと考えています。	大沼が豊かな自然環境に恵まれ、貴重な観光地であり、また、魚介類等の水産資源もあり、水鳥の生息地として重要な湿地であること等をご紹介いただき、ありがとうございます。 大沼が周囲の環境変化に非常に敏感であることを踏まえ、本事業の計画の策定に当たっては大沼の水質を悪化させることのないように十分な注意を払って進めてまいります。 方法書におきましては、現地調査や予測及び手法等を記載しておりますので、本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を講じることにより、影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。 また、大沼に流入する河川の水質への影響を回避又は低減することにより、大沼の水質につきましても影響を可能な限り回避又は極力低減してまいります。
21	そのような観点から、計画の問題点について、少し具体的に述べます。 ①「水環境の状況」として、宿野辺川水系の河川と、小沼、葦菜沼を考慮の対象としていますが、単純に距離的な位置関係で考えていませんか。宿野辺川は大沼に流入する最も流量の多い河川であり、大沼の水質に直結することから、「大沼」も対象とすべきです。	大沼に流入する宿野辺川にも調査地点を設定しております。宿野辺川への水質の影響を可能な限り回避又は極力低減することにより、大沼への影響も回避又は極力低減できるものと考えております。しかしながら大沼に対する水質のご懸念を踏まえ、アセス手続きとは別の調査について検討いたします。
22	②「河川や湖沼の水質の状況」で、「水質調査が実施されていない」というのは、まったく現状を無視した記述であり、大沼と小沼では、宿野辺川の流入点も含めて定期的な水質調査が実施されています。	方法書においては、対象事業実施区域及びその周囲としている範囲に水質測定地点がないため、水質調査結果を記載しておりません。準備書以降の図書においては、大沼及び小沼の水質調査結果についても把握し、必要に応じて記載することを検討いたします。

表 2-1 (6) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
23	③造成・基礎工事では、「既存道路」を拡張して大型の工事車両が通行することになっていますが、拡張する「既存道路」の大半は幅 1m 未満の林道です。これを総延長約 7km にもわたって、樹木伐採をともなって拡張することは、風車設置サイトの造成とともに、非常に大きな自然状態の改変となり、大沼や蓴菜沼の水質悪化への大きな負荷となります。従って、「既存道路」の存在を社会インフラの面での「選定理由」としていることは、まったく不当です。	林道等の既存道路を拡張することにより道路を整備することは、道路を全て新設するよりも改変面積を低減できると考えておりますが、ご指摘のとおり、既存の林道を拡張することも樹木伐採を伴う土地の改変が生じますので、本事業においては改変面積を必要最小限にするともに、工事中の降雨により水の濁りが周辺の河川へ影響を及ぼさないように濁水防止等の環境保全措置を検討してまいります。
24	④仮に林道の拡張などを避けるような工事が行なわれて、自然状態の改変が最小限に抑えられたとしても、最大 9 基の風車の存在自体が、流域の水環境へ非常に大きな影響を与えると推測されます。近年の大雨災害の頻発を考えると、流域山地の保水力を減じる自然改変は極力避けるべきです。工事残土が現地において処理される計画であることも、雨水排水といういわば「流しっぱなし」の処理であることと合わせて、雨天時には湖水への泥水流入が頻発するのではないかと心配です。	風力発電機の設置に当たっては造成工事を行い、樹木を伐採いたしますが、改変面積を必要最小限いたします。 造成工事に伴う残土は原則として対象事業実施区域内において処理する計画ですが、ヤード建設に伴う裸地への降雨については沈砂池を設置し水の濁りを低減させうえて、しごら柵等を介して流速を抑えて周辺土壌に浸透させる計画としております。これにより周辺山地の保水力への影響を低減できるものと考えております。 今後、水質の現地調査を行い、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を講じることにより、影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。
25	⑤環境影響評価の指標については、「水質」項目で「浮遊物」の他は「流れの状況」などですが、大沼の水質への影響を正確に判定できるように、リンや窒素、COD など、現在行なわれている水質検査項目を取り入れてください。合わせて、途中の測定点とともに、宿野辺川流入点ポイントや蓴菜沼を加えてください。	本事業では造成工事により裸地となったところへ降雨があると濁水が発生するおそれがあるため浮遊物質量（水の濁り）を調査する計画としておりますが、リン、窒素、COD（有機汚濁）については、本事業では排出しない計画ですので調査項目としては対象としておりません。しかしながら大沼の水質に対するご懸念を踏まえ、アセス手続きとは別の調査について検討いたします。
26	⑥環境保全にかかわる法令や施策では、冒頭に掲げた『大沼環境保全計画』も対象とし、その中の「水質保全」や「自然環境保全」の内容に沿った計画にしてください。これらが大沼の環境保全の立場からの意見です。	『大沼環境保全計画』の内容も考慮し事業計画を検討させていただきます。
27	風力発電を効率的に行なうための意見があります。 ①NEDO が作成した風況マップによる平均風速値が選定理由の一つですが、虚心坦懐にマップを見る限り、風の強さが決め手であるようには見えません。内陸でももっと強い風の吹いている場所が多くあります。さらに海上や海岸部のほうがはるかに安定的な強風が得られるように思えます。環境への負荷ができるだけ小さい計画をめざして下さい。 ②大沼を取り巻く流域では、どこでも、多かれ少なかれ自然環境改変による水質への影響が避けられません。七飯町内で探すならば、横津岳山麓はどうでしょうか。かつてのスキー場やゴルフ場があり、現在も大型車が通行可能（と思われる）道路が通じていますから、はるかに好適地ではないでしょうか。 以上	本事業の対象事業実施区域の設定に当たっては、NEDO が作成した風況マップによる風速の分布は選定理由の一つですが、その他に社会インフラ整備の状況や法令の制約状況、環境保全上留意が必要な場所等を踏まえ設定しております。 環境への負荷ができるだけ小さくなるよう引き続き事業計画を検討してまいります。 対象事業実施区域の設定につきましては、様々な条件を踏まえ、設定しており、ご意見としていただいた横津岳につきましては、候補としては検討しておりません。

表 2-1 (7) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
28	鳥類の生息地放棄の恐れ、土砂流出の恐れ、景観破壊の恐れがあることから本事業計画の撤回を求めます。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
29	■図書の熟度 風車の設置位置の検討が全くなされていません。この環境影響評価図書の熟度は極端に低いと言わざるを得ません。このレベルで縦覧にかけるとはやめていただきたいと思います。風車の設置位置を絞り込んでから再提出してください。	風車の設置位置については、設置の可能性のあるエリアとしてお示ししております。今後、このエリアでの設置を前提とした現地調査を行い、具体的な設置位置については現地調査を踏まえた予測及び評価結果とともに、準備書でお示しいたします。
30	■大沼鳥獣保護区 大沼、小沼、蓴菜沼周辺の湿地帯には、開拓やリゾート開発などにより鳥の生息地が次第に奪われていったという歴史があります。江戸時代には鶴の生息地であったという記録があります 1)。 風力発電機設置予定範囲は大沼鳥獣保護区の中にあります(方法書の図 3. 2-14)。風車を作る気流の乱れ(後方乱流)が鳥の飛翔に与える影響は十分に研究されていないと思います。鳥が地上に降り立ったり飛び立ったりする時の姿勢はとりわけ不安定に見えます。風車を作る気流の乱れが生息地放棄の原因にならないよう十分に検討してください。 アイヌの自然観では鳥は神の化身であると聞いています。人間活動の影響により鳥の生息地をこれ以上奪うことに反対します。 1)大沼の成りたち https://www.onuma-guide.com/onuma/history/onuma	対象事業実施区域及びその周囲における重要な鳥類の生息状況について、方法書に記載のとおり今後現地調査を実施し、把握してまいります。その結果や既存の文献等も踏まえ、事業実施による影響について予測してまいります。その結果は環境影響評価準備書にてお示しいたします。
31	■残土と泥流 発生する残土は 77,458m³と見積もられています(要約書の表 2. 2-5)。令和 3 年の熱海市伊豆山の土石流の源頭部にあった盛土の量は 70,000m³です。ほぼ同量です。この大量の土砂はどこに置かれるのでしょうか。「対象事業実施区域内に土捨て場を設置して、原則として対象事業実施区域ですべて処理する計画」とありますが、対象事業実施区域は横川、宿野辺川の上流部です。横川は崩壊土砂流出危険地区に指定されています(方法書の図 3. 2-22)。宿野辺川は大沼に流入する川です。大沼はラムサール条約に登録されている湿地です(方法書の図 3. 2-15)。ここに泥流が流れ込むようなことがあってはなりません。 沢筋を埋めて土捨て場を作るようなことは絶対にやめてください。 沢地形は、地下水位が浅く、雨水が集まりやすい場所であるため、もともと地下水が豊富な条件下にあります。そのため、法令に則って排水設備が設置され、地山の段切り、盛土の締め固めがなされると思います。しかし、仮に沢の湧水点を全て網羅するような排水設備が設計施工されたとしても、それらの設備が設計時の計算通り機能し続けることはありえないことだと思います。それらの設備は地震や豪雨のたびに傷みます。水は弱いところを突いて侵食します。まさに、蟻の一穴から大規模な崩壊へと繋がります。供用期間中は定期的に点検が行われ、傷んだ箇所は補修されるかと思いますが。	土捨て場の場所については、今後詳細調査を実施するなかで防災面に配慮し、また関係機関とも協議のうえ検討いたします。 設置後の保守体制についても、経年劣化への対策を含め検討いたします。 (意見は次頁に続く。)

しかし、簡単には補修できない箇所もあります。例えば地下深く埋設される暗渠排水管が壊れたり詰まったりして機能しなくなった場合、どのように補修されるのでしょうか。

さらに、これらの排水設備は供用期間終了後も機能し続けなければなりません。大規模な盛土の安定を保つために必要不可欠な設備だからです。これらの設備が永遠に機能し続けることなどあり得ません。植栽により自然状態を回復するという説明を聞くことがありますが、全くのナンセンスです。これだけ大規模な谷埋め盛土の安定を植栽により保つことはできません。地山にとって盛土は堆積土砂と同じですから、ガリー（谷状の溝）を形成して少しずつ流出するか、大雨や地震が誘因となって大規模に流出するかです。大規模な谷埋め盛土が少しずつ侵食されていく様子はとても不気味なものです 2)。

沢筋を埋めて土捨て場を作らない場合にも、問題は残ります。森林の伐採や土地の改変により表土が流出する可能性が非常に高いと思います。そのような場所として以下に3つの例を挙げます。

横川の兩岸の稜線を連結する道路が計画されていますが、ここは崩壊土砂流出危険地区ですから樹木の伐採や土地の改変をしないでください。仮に改変するならば、切土、盛土の傾斜が大きくなり、コンクリート擁壁で補強する必要があるでしょう。そのような工事では大量の土砂が流出することは避けられません。供用後も雪崩れや大雨による土砂流出の可能性が大きくなります。

標準点 474m から三角点 545.1m に至る稜線は横川と久根別川の分水嶺で、幅が狭く、両側が切れ落ちています。ここの樹木の伐採や土地の改変をしないでください。仮に改変するならば、前例と同様、大量の土砂の流出は避けられないでしょう。

標準点の 484m 付近とそこに至る稜線の東側は急傾斜です。この付近の樹木の伐採や土地の改変をしないでください。仮に改変するならば、前例と同様、大量の土砂の流出は避けられないでしょう。

2) 倒木・えぐれた斜面... 海堀正博広島大防災・減災研究センター長「盛り土全体 早く調査を」(中国新聞)

(<https://youtu.be/KCkY9j-wkt1?si=fS-rmDainmRpabnz>)

表 2-1 (8) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
32	■景観 木地挽山の山頂付近の高原から大沼、駒ヶ岳方向を眺める景観は著しく悪化します。方法書の図 4.2-13 には、この付近から 3 つの景観調査地点が選ばれています。村山公園(きじひき高原公園)、噴火湾展望台、きじひき高原パノラマ展望台です。フォトモンタージュを作成する際には、電波塔などの既存の構造物や植生に阻まれることなく、大沼一帯の湖沼群や駒ヶ岳などの景観資源が最もよく見える場所を探してください。少し移動すれば、きっとそのような場所があるはずです。 方法書の図 4.2-13 の他の 12 の調査地点についても同様のことが言えます。植生、構造物、地形に阻まれることなく、風車の方向が最もよく見える場所を探してください。貴社の過去の環境影響評価図書では、近くに風車の方向がよく見える場所があるにもかかわらず、植生に阻まれて風車方向の視界が悪い場所を選択している例がありました(栗子山風力発電事業)。大沼周辺の湖沼群では、夏季にはボート、冬季には氷上でわかさぎ釣りといった水上や氷上でのレジャーを楽しむ人も多いのではないですか。そのような情報は文献調査ではなく、地元のガイドの方に聞くのが良いと思います。 以上	フォトモンタージュを作成する際は、現地調査において主要な眺望点からの眺望の特性や、利用状況を把握し、景色を望む利用者が多いと考えられる位置を踏まえ、風力発電機の位置する方向の遮蔽状況を考慮した、適切な位置から撮影した写真を用います。大沼周辺の湖畔群の利用状況等については、方法書以降の手続きにおいて、適宜関係機関へヒアリングを行うなど、引き続き情報収集に努めてまいります。
33	私達は、七飯町及び森町の一部を流域とする折戸川水系に漁業権が設定されている大沼漁業協同組合の組合員で、大沼を主な漁場とする内水面漁業で生活しています。 風車設置区域、輸送のために拡幅する林道は折戸川水系宿野辺川・横川の源流部に入ります。その流域の樹木伐採や山岳斜面の開削行為は土地の形状を改変することとなり、両河川の水環境に必然的に多少の影響を及ぼすこととなります。 影響を低減させるため、開削する面積を最小にするとともに、泥水を発生させない配慮・工夫が必要です。特に泥水は、粘土・コロイドと言われる微粒子が主成分で沈降速度がそれぞれ 230 日/1 フィート、63 年/1 フィート(川と湖の生態 信州大小泉清明)となかなか清浄に戻りません。 また、自然界で清浄になるのは、電気的作用で水中のプランクトンと癒着して沈降するからであるとされています。 よって、湖沼に泥水が流入すると、魚の餌となっているプランクトンが沈降し、餌不足となり育たなくなります。 開削地や道路等から泥水を発生させない工夫、事例がありますので参考の上、施工していただきたい。施工方法は、可能な限り協議させていただきたいことと、この意見受付の受領書をお願い致します。	ご指摘の折戸川水系宿野辺川及び横川の源流部における改変工事による水の濁りの発生につきましては、方法書記載の調査、予測及び評価を適切に実施いたします。今後の工事計画において、改変面積を極力低減させると共に、既存の知見等も収集し、濁りの流入を回避又は極力低減させる工事を検討いたします。 事業計画の策定に際しましては、施工方法等、協議を行わせていただきます。

表 2-1 (9) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
34	1. 基本的な考え方について ・風力発電施設（以下、風車という）の導入は地球温暖化対策等に果たす役割や必要性があるというのが国の見解ですが、私たちは貴重な自然環境や周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼすような風車建設計画については、様々な問題があると考えます。加えて、現状では、本計画の対象地域において豊かな生態系が織りなす景観の重要性が十分に認識されておらず、また全ての動植物等の生態について明らかになっていない部分が多いものと考えます。 ・このような中で、大型で大規模な風車が建設されることは、今後、永きにわたり本地域における自然環境を大きく損なう恐れがあることから、事業規模の大幅な縮小または計画の中止を求めます。	・今後、方法書でお示しした調査を実施し、自然環境や周辺住民の皆様の生活環境への影響を予測・評価した結果を踏まえ、必要に応じて環境保全措置を講じることで影響の回避、低減を図ってまいります。生態系の保全は生態系を含めた景観の観点からも重要と考えておりますので、そのために動植物についての現況把握に努め、その結果を準備書に記載いたします。 ・今後実施する現地調査の結果を踏まえ、自然環境への影響を最小限にできるような事業計画としてまいります。
35	2. 意見書の提出方法について ・意見書の提出について、意見書様式に従い縦覧場所に備付けの意見書箱に投函か郵送とのことであるが、メールでの受付を行うように改善すべきです。 ・インターネットによる環境影響評価図書の公表に当たっては、広く住民や道民からの意見を求められるよう、印刷ができるようにすることや、縦覧期間終了後も閲覧できるようにするなど、広く率直に計画内容を公表する態度が重要です。環境影響評価図書の印刷及びダウンロードについては、北海道環境影響評価審議会も公開するように要望しております。 ・Web サイトでは「※意見書以外は、ダウンロードしての閲覧や印刷することはできません。」と表示されているにもかかわらず、意見書用紙のダウンロードを行うことが出来ません。 意見書を提出する機会は方法書・準備書の2回しかなく、また、意見書の送付先についてもこの意見書用紙のみにしか記載されていないことから、意見書を受け入れる姿勢を全く感じることができません。	・意見募集の方法につきましては、制度に沿ったものとさせていただきます。 ・環境影響評価方法書では、風車配置・管理用道路等の事業計画が審査段階であり最終決定ではないこと、またダウンロードや印刷後の二次利用の回避の観点から公開期間内での公表とさせていただきます。 ・Web サイトにて不具合が生じ、意見書用紙のダウンロードが出来なかったとのこと、お手数をおかけいたしましたして申し訳ありませんでした。
36	3. 鳥類への影響について ・事業実施想定区域全域は、北海道指定の鳥獣保護区であり、近接地域や大沼国定公園ではオオワシ（環境省第4次レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類(VU)）の冬季生息やクマタカ（絶滅危惧ⅠB類(EN)）の生息が確認されています。また、大沼はオオハクチョウやカモ類等の渡り鳥の中継地点として重要な地域であることから、環境保全、生物多様性の観点から見ても重要度の高い地域と考えます。このような重要地において事業を進めるべきではありません。	対象事業実施区域及びその周囲において、ご意見に記載頂いた鳥類が生息又は渡りの中継地として利用されている可能性に留意しながら、現地調査を行ってまいります。
37	4. 騒音および低周波音・超低周波音による影響について ・風車建設予定地より最寄りの住宅等まで約2.4km、配慮が特に必要な施設である「大沼岳陽学校鈴蘭谷分校」まで約2.4kmとあまりにも至近距離であることから、低周波音などによる影響が出る可能性が危惧されます。北海道内の研究機関によると、2018年石狩湾新港周辺4事業による累積的影響評価を行った結果、5km以上離れている石狩市・札幌市・小樽市において多くの住民に圧迫感・振動感を感じさせ、睡眠障害の疾患も生じ得るという結果が予測されています。また昨年、北見市常呂では風力発電7基の試運転が始まりましたが、12月の北見市議会定例議会において、風車騒音の苦情が報告されています。これらのことから、最新の知見等の情報に基づいた確実な方法により調査、予測を実施して、影響の回避を必ず行うべきです。	騒音・超低周波音の影響度合いは距離だけではなく、地形や土地利用の状況によっても異なります。最寄り住宅付近となる「大沼岳陽学校鈴蘭谷分校」付近でも現地調査を実施したうえで、地形や気象条件も考慮した予測により影響を評価し、その結果を準備書に記載いたします。 また、騒音・超低周波音の調査・予測は、最新の知見等の情報に基づいた確実な方法により実施し、その結果に基づき、風車騒音及び超低周波音の影響に配慮した事業計画を検討いたします。

表 2-1 (10) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
38	5. 景観に対する影響評価手法について ・ 景観は環境影響評価で垂直見込み角によって評価されていますが、これは鉄塔の評価基準ですので、風車の評価基準として利用するのは不適切です。当該地域では大沼国定公園から望む景観そのものに価値があるため、圧迫感の有無による評価基準は当てはまりません。 視認可能な垂直見込み角では何本か並んで一体として見えても 1 本として判断し、水平見込み角は考慮しないという判断基準は球形に見える風車が複数並んでいることを想定しておらず、この地域の景観の価値を適切に評価することができません。風車は水平に複数が並んでいると一体のものとして見えるため、1 本 1 本の高さではなく、全体的な水平見込み角によって評価すべきです。	風力発電機の見え方に関しては、平成 29 年に「国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)」の「環境アセスメント迅速化研究開発事業 (既設風力発電施設等における環境影響実態把握 1)」において、風力発電機の写真を用いて同様の研究がされており、準備書においてはこの知見も参考とし、適切に評価いたします。 水平視野については、準備書において客観的な予測結果をお示しいたします。なお、複数の建造物の群としての広がり进行评估する知見や指標は存在しないため、評価は難しいと考えておりますが、引き続き最新の知見の入手に努め、知見が得られた場合には適切に評価を実施いたします。
39	6. 災害の懸念について ・ 風車建設予定地の大部分が水源かん養保安林 (民有林) です。水源かん養保安林は、流域保全上重要な地域にある森林の河川への流量調節機能を高度に保ち、洪水を緩和したり、各種用水を確保するために指定されており、伐採や土地改変を行うことにより計画地はもとより、下流域の大沼への影響も懸念されます。環境保全等の見地からも改変せずに守らなければならない地域であることから、このような場所において風車建設を行うべきではありません。また、風車建設予定地から沢伝いは崩壊土砂流出危険地区が数か所あり、土地の改変で災害が発生する懸念があることから、事業規模の大幅な縮小が必要と考えます。	水源涵養保安林については、今後関係機関と協議を実施いたします。なお、環境保全、水資源保全・土砂災害防止の見地から影響を極力低減できるように事業計画を検討いたします。
40	7. 協議会について ・ これらの調査結果の評価は、環境影響評価だけでなく、野鳥保護団体を含む自然保護団体、観光関係者や地元自治体などを含めた開かれた協議会の場で行うべきです。	調査結果に基づく予測及び評価結果は準備書に記載したうえで縦覧し、住民説明会でご説明し皆様のご意見を伺います。また、予測及び評価結果は北海道庁や経済産業省において客観的な審査を受けることとなっております。
41	8. 以上のことから、この計画は地域住民やこの地域の自然景観や自然環境を愛する多くの人々に十分な説明を行い、住民参加・合意形成をじっくり計って進める姿勢が取られているとは言い難く、今後計画を進めるに当たってはより一層の住民参加・合意形成を計る努力を行うことが必要です。もしその意思がないのであれば計画は撤回するべきです。	引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけてまいります。地元の皆様からのご意見、環境影響評価結果、関係機関との協議結果等を踏まえ、環境影響に可能な限り配慮し、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
42	風力発電によるメリット、デメリット、をきちんと学び感情的ではなく、次世代のためによりよい選択をしたいと思いますので、「事業者説明会」を再度開いていただきたいと思います。 七飯町民だけではなく、七飯で働く方、七飯と密接して生きる方々にも「知る権利」があるのではないのでしょうか。 病院、学校、会社、施設、等、広く知らせていただき知る、学ぶ機会、をお願いしたいです。	多くの方にご来場いただけるよう、関係市町にて、全 6 回の住民説明会を開催させていただきました。 準備書手続き時には方法書手続き時と同様に住民説明会を開催いたしますが、引き続き、新聞公告、自治体の広報紙及び事業者のウェブサイトなどで広く周知したうえで住民説明会を開催し、事業計画及び環境影響評価の結果についてご説明させていただきます。

表 2-1 (11) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
43	・温暖化が進むなか多雨による山くずれが各地でおきていますね。仁山の木々を切る事で地元民やトンネルに多大なる被害を心配しています。 ・騒音や低周波？の苦痛を防ぎきれないのでは？ ・大沼の火山がゆれはじめている今、建造に反対します。	本事業による土地の改変や樹木の伐採については必要最小限とし、影響の回避、低減に努めます。 風力発電施設の稼働に伴う騒音については、今後、現地調査を実施し、予測及び評価を行い、環境への影響を極力低減いたします。 風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておきませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。 風力発電機の建設に当たっては、関係する所管部署にて工事内容、建築物の構造、安全対策・環境保全対策等の審査を受け、また、建設予定地の事前のボーリング調査等を実施し地盤の状況を確認した上で、安全性を十分確保した設計・施工を行います。
44	動植物への影響、水源、等環境への影響を考えると不安しか感じません。 風力発電には反対です	動植物及び水質等の自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を講じることにより、影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。
45	クマなど山から追われて里に下りてくるのが心配です。 反対します！	現在のところ、風力発電機の稼働が原因で、クマ等の行動への影響が報告された事例は把握していませんが、このような知見の収集に努め、本事業による影響が明らかな場合には、関係機関とも協議の上、誠実に 対応いたします。
46	クリーンなエネルギーと謳っていますが風力発電を建てる工程がクリーンではないので反対です。	本事業の工事における工事車両の走行及び建設機械の稼働に伴う環境への影響につきましても、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を講じることにより、影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。
47	環境を壊す風力発電には不信感しかない。 将来を考えると反対です	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を講じることにより、影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。
48	保安林を潰してまで風力発電を作る理由がわからない 健康被害が心配。 自然を壊してまで進める事業と思えない 設置してから失敗だったと後悔しても手遅れ。 この事業計画には反対、白紙に戻すべきと思う。	本事業による土地の改変面積は必要最小限とし、森林伐採をできる限り避け、森林の水源の涵養機能に大きな影響を及ぼさないような工事計画を検討いたします。 生活環境及び自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を講じることにより、影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。
49	電気があまっているのに自然をこわしてまで、風力発電は必要ないです。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
50	大切な保安林を開発してまでこの場所に大きな風力発電を作る理由が理解できません。	本事業による土地の改変面積は必要最小限とし、森林伐採をできる限り避け、森林の水源の涵養機能に大きな影響を及ぼさないような工事計画を検討いたします。 今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。

表 2-1(12)環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
51	風力発電を一基設置するだけでどれ程の森林がつぶされるか、その後周辺地域への土砂災害、水源への影響は不安しかありません。 生態系、環境を壊すこの計画には反対します！！	本事業による土地の改変面積は必要最小限とし、森林伐採をできる限り避け、森林の水源の涵養機能に大きな影響を及ぼさないような工事計画を検討いたします。 本事業による生態系等の自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を講じることにより、影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。
52	住民の理解が得られているとは思えない。 仁山高原に風力発電はいらない。	今後も、地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。
53	知らないうちに計画が進み、とっても不安です 土砂災害が起こったりするのではないかな？ クマも下りてくるのでは？ 風力発電はいらないです。	現在のところ、風力発電機の稼働が原因で、クマ等の行動への影響が報告された事例は把握しておりませんが、このような知見の収集に努め、本事業による影響が明らかな場合には、関係機関とも協議の上、誠実に 対応いたします。 今後も、地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。
54	七飯町に大きな風力発電を作る理由が理解できない！！ 生物の影響、バードストライク、シャドーフリッカー騒音や低周波音の問題などあり、地域にとってのメリットは何も感じないので反対します。	今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を講じることにより、影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。 なお、風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。 今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
55	しぜんがだいすきです しぜんをまもってください	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
56	七飯町には、函館新道という自動車専用道路がありますがその建設の際に自然環境が大きく変わりました。 日本ザリガニや山菜がとれていましたが少なくなってしまうました。とても残念ではありますが今函館新道は、地域にとって大事な道路です。 この度の風力発電は、東京に送電されると聞きました。地元の民にとって直接的に利益があるものとは思えません。 むしろ、人の手が入ることによって、自然や生態系が少なからず変化しその代償は地元民がはらうことになります。 この事業には、反対いたします。	本事業で発電した電力は北海道電力ネットワーク株式会社へ系統連系することとしております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
57	自然豊かなこの土地で子育てができる事に幸せを感じています。 多様な植物や虫や鳥…生き物が減少することが心配です。 私はこの事業に反対します。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (13) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
58	仁山高原における風力発電は道南の自然環境にあたる影響は非常に大きいことは明らかです。附近住民への騒音、鳥への影響などはっきりしている。風力発電事業は取りやめていただきたい。	騒音や鳥類への影響を含めた、本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
59	いつも山菜を採らせてもらう場所です。健康被害、自然破壊、バードストライクなど近隣に住む動物への環境など不安な要素ばかりです。風力発電の建設に反対を申し立てます。人口も減るばかりで、今後そんなにたくさんの電力を必要とすると思えません。エネルギーはもっと単純で簡単に手に入るはずです。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
60	説明会をまだ数回行なってほしい 未だ建設するコトを知らない人が居るので広く伝えてもらいたい メリットだけでなくデメリットも説明会で伝えてほしい	住民の皆様に対しては方法書の住民説明会を七飯町、北斗市及び森町において全 6 回開催し、本事業についてご理解いただけるよう努めました。今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
61	風力発電による騒音や電磁波、また災害時や事故、故障など、万が一のことを考慮すると反対の気持ちしかありません。 電力を作ることよりも、電力に頼る割合を減らすことへの策を練ることに御尽力頂きたいです。 そうすることで多くの賛成を得られ御社へも多大なメリットがあると考えます	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
62	風力発電をけんせつすることに反対します。 理由は、そうおん、故障、事故などが絶対に起きないとは限らないからです。	本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。建設に当たっては、関係する所管部署にて工事内容、建築物の構造、安全対策・環境保全対策等の審査を受け、安全性を十分確保した工事を実施いたします。万が一事故が発生した場合には迅速に原因を調査し、関係機関とも協議し必要な対応を講じてまいります。
63	・知らないうちに計画が進んでおり、不安です。 ・自然環境への影響、風車の設備の輸入にかかるエネルギー、山林を切り開いて風車を運び、建設することがこの場所において本当に必要と思えません。 ・住民に対する説明が十分と思えません。 ・自然エネルギーへの移向自体は賛成ですが、建設する場所や規模は十分に検討が必要と思います。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
64	この計画については、七飯町住民の方から聞いて知りました。 函館市内にも近い仁山高原に風力発電建設が知らずに進められていることに驚きを隠せません。 環境影響評価方法書には函館から資材が運搬されることが記載されていました。 函館市で説明会は開催されたのでしょうか？ 近隣市町では説明会開催が義務づけられていなかったとしても住民の理解を得るために再度広く周知し、説明会を開催してください。 近隣住民と対話し相互理解の上で計画を進めることを望みます。 オジロワシなどのバードストライクについては環境省も日本野鳥の会でも解決策が見つかっていません。大沼のラムサール条約登録地のことも気がかりです。	本事業により環境影響を受ける範囲と認められる地域については「発電所の設置又は変更の工事の事業に係る計画段階配慮事項の選定並びに当該計画段階配慮事項に係る調査、予測及び評価の手法に関する指針、環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針並びに環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」(平成 10 年通商産業省令第 54 号) 第 18 条を基に七飯町、北斗市、森町と整理いたしました。 説明会の開催に際しましては、引き続き関係自治体と協議の上、広く周知を行い、本事業についてご理解いただけるよう努めます。 バードストライク及び渡り鳥への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、その結果を準備書にお示しします。

表 2-1 (14) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
65	風力発電を立てることに反対します。風力発電の近くには、学童があるので、子供達がいるので、風力発電を立てないで下さい。森にいる動物達も、死んでしまうから、絶対に風力発電を立てないで下さい。鳥が、風力発電にぶつかって、死んでしまうかもしれないので、風力発電を立てるのをやめて下さい。	本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
66	風力発電を立てるのに反対します。 なぜなら、学童でたまにきじひき高原に行くので、風力発電が立つとじゃまになるし、木や川や森がよごれてしまうので、風力発電を立てることに反対します。あと、夜に、音がうるさくて、眠れない人もいるので、絶対に立てないでください。夜に鳥が風力発電にぶつかって死んでしまうかもしれないので、絶対に立てないでください。	「人と自然との触れ合いの活動の場」の調査、予測及び評価の対象地点として、きじひき高原を選定しており、工事用資材等の搬出入に伴う、交通量の変化を予測し、利用特性への影響を予測及び評価し、結果は準備書にお示しいたします。 また、本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
67	環境におよぼす害は計り知れないと考えます。 人間本位になりすぎ、生態系全体を見ることを忘れていませんか？ 風力発電建設には反対です！	本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
68	大規模な森林伐採による自然に対する影響はどの程度なのか？人体への影響もかなりあるのでは？ 誰の為の電気？その為にいったいどれだけの犠牲を払うのか？	本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。 現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
69	段々と世の中が便利になって来た半面人間が開発して来た結果！！そのおつりが今地球上に起こっている事は確かです。 原発に比べれば風力発電の方が良いのは決まっているんですがそれはそれで野原の草木動物等への影響が出て来て自然が壊されせつかくのどかな田園風景が失われてしまいます。 自然が破壊されると又そのお返しが人間に返ってきます。不足な所の穴埋めをする考え方ではなく少しは昔の生活にもどっていける様な方法が必要ではないでしょうか！！便利を追求するのではなくて…！！	本事業による動植物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
70	私たちは風力発電予定地付近で野外活動中心の放課後児童クラブを運営しています。 毎日、外あそびに出かけ近隣の大自然の中で子どもたちをのびのびと育てています。仁山は私たちのフィールドであり、遊び場で、そこに風力発電が建設されてしまうと、植物や動物に大きな影響を与えたいと思います。 特に低周波音の人体に与える影響を心配しています。一度壊された自然は絶対に元には戻りません。 子ども達をあずかる団体だからこそ未来ある子ども達に安心で安全な環境をのこしておきたいです。 建設に反対致します。	本事業による動植物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 なお、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。

表 2-1 (15) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
71	孫が元気に、安全にこれからも過ごしてほしいです。 健康への影響も心配。 自然を壊さないでほしいです。 反対します。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
72	熊、とり、動物の生息地を守って下さい。 一度、壊れたら元に戻りません。 反対です。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
73	お米を育てています。 自然は全てつながっています。 自然に風力発電を持ちこまないで下さい。 反対します。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
74	多大なる環境破壊と人々の暮らしへの悪影響をもたらす、この計画に反対します。 自然を守りたい。 反対です。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
75	私は自然が壊されるのはイヤです。 未来の子ども達のことを考えても健康に過ごしてほしいです。 反対します。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
76	風力発電は不要。 子ども、動物、自然を守りたい。 ブンブン音も聞きたくない。 反対。	風力発電施設の稼働に伴う騒音を含めた、本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
77	おうちで動物を 10 匹飼っています。 森の動物も大切です。 みんな安心して生きていきたいです。 守ってほしいです。 反対です。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
78	動物の生息地をうばわないで下さい。 一度壊した自然は戻りませんから。 反対です。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
79	風力発電のデメリットを知っておどろきました。利益のために動くのはカッコ悪い。住民のことを少しは考えてほしい。 反対です。	本事業は、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的としております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
80	風力発電イラナイ。	引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
81	風力発電大キライ。	引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
82	北海道の自然、動物、健康、子どもを守りたいです。 これ以上破壊しないで下さい。 反対です。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
83	“クリーンなエネルギー” はほんの一部を見てるだけですわね。 地球を壊して作る風力発電のどこがクリーンなのでしょう？ 電力は足りていますよね！ 反対です。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
84	自然を壊して、目先の利益を優先ですか？ 昔の人々が守ってきた環境を破壊しないで下さい。 大切な町ですの。 反対します！！	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (16)環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
85	ついに七飯にまで話が来たか…とおどろきました。七飯に風はありますか？ そんなにも電気不足ですか？余ってますよね。健康被害がとっても心配です。 頼みますので、どうか中止してください。	対象事業実施区域は好風況が見込める地域であり、実際の風況について現在調査を行っております。本事業による生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
86	①「七飯町緑の基本計画」(R6)に、「七飯町に固有の歴史や風土を感じさせる景観を守り、育んでいきます」とありますので、風車は建ててほしくないです。 ②今回の計画を知らない人がほとんどです。説明会をもっと開いてほしいです。一方的な説明ではなく、意見交換の時間を長く設定してほしいです。 七飯町文化センターだけでなく、峠下公民館でも開いてほしいです。もっと、町民に寄り添ってほしいです。 ③事業の細かい計画(予算や道路の幅など)も説明してほしいです。おおまかすぎて、把握できていません。よろしくお願いします。	①景観については対象事業実施区域周囲の主要な眺望点や地元住民の皆様が生活される地区を眺望点として選定し、調査、予測及び評価を実施いたします。 ②引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。 ③事業計画の詳細については、環境影響評価手続きを通じて自然環境への影響を考慮した上で、準備書にまとめお示しいたします。準備書手続き時には、住民説明会を実施し、関係の方々に広く意見をいただく場といたします。
87	娘がこれからも元気に安全に外あそびができますように。低周波を受けずに済むように。よろしくお願いします。 反対です。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 なお、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様への懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
88	2024.5.27 毎日新聞にて。再生可能エネルギーの出力制御の電力量が2023年度は全国で、計18億9000万kW。2023年度は380億円分の電気が有効活用されなかった。とありました。 すでに余っている再エネの電気。大事な水源涵養保安林を伐採してまでも意味のない風車を何故作るのか？七飯を犠牲にしないでほしい。説明会の開催をお願いします。	当該記事を確認いたしました。季節によって電力の需要に変動が生じる中で、その需要の変動幅を予測しながら火力や原子力による発電量と再生可能エネルギーによる発電量との調整を行うことに課題が生じている、といった内容と理解しております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
89	洞爺湖から、風力発電が見えます。 とても気分が悪いです。 自然を守ってほしいです。 反対します。	本事業による動物を含む自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
90	私たちは、豊かな七飯町仁山の自然を守りたい。そして、北海道の子どもたちの未来を守るため、また住民の健康被害をさけるため、反対します。たのみます!!	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
91	自然が好きで、山に海に遊びに行っています。食も見直し、健康に気をつけて生活しています。風力発電は北海道にたくさんありますね。これ以上、自然を破壊しないで下さい。お願いします。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
92	2人の子どもを育てています。 これからも安心、安全に過ごしたいです。 道南の自然を守りたいです。 反対です。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1(17) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
93	生まれ育った七飯町を大切に守りたいです。子育て中なので、子どもへの健康被害も心配です。 低周波は身体にいいか？悪い？ 冷静に考えてほしいです。住んでるのは私たちです。 反対です。	環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりません。
94	風力発電の耐用年数は20年程と言われていますが、20年後確実に撤去してもらえるのでしょうか？保証はありますか？ 反対です。	本事業を終了する場合については、廃止した風力発電施設は撤去し、関係機関とも協議し、原状復帰することを基本といたします。また、本事業は国から事業計画の認定取得想定のある事業となりますが、事業計画の認定に際しましては、事業廃止時に必要な費用を積み立てることが認定の条件となっております。制度上、撤去費用の積み立ては確実になされた上での事業となります。
95	健康被害が怖いです。 野生動物の生息地もなくしたくないです。 反対します。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
96	事業中止により、北海道の大自然と住民の方々の暮らしを守られることを、切に願います。 反対します!!	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
97	子育て中です。 子どもの健康に低周波は悪い影響があるかと。 とても心配です。 反対します。	風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
98	未来の子どもたちのことを考えても健康に過ごしてほしいです。 目先の利益を優先して、大切なものを失うことがないように。反対です。	本事業による生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
99	七飯町は豊かな自然が町の財産です。 風力発電で壊さないで下さい。 クリーンなエネルギーと言いつつも、永久ではないです。 ゴミはどうなりますか？ 音も聞きたくないです。	本事業による自然環境への影響および風力発電施設の稼働に伴う騒音については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 事業を終了する場合については、廃止した風力発電施設は撤去し、関係機関とも協議し、原状復帰することを基本といたします。
100	未来の地球、子どもたち、動物たちのため人間が考え、動くことが大切です。 反対です。	本事業による生活環境及び動物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
101	道南の自然を守りたいです。 東京のための電気は東京でお願いします。 反対です。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、道南における対象事業実施区域及びその周囲の自然への影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。 本事業で発電した電力は北海道電力ネットワーク株式会社へ系統連系することとしております。
102	瀬棚に家族が住んでいます。 瀬棚にはすでに風力発電があります。 近くに行くと頭痛がします。とてもツライです。 これ以上、北海道に風力発電は要らない。	本事業による生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (18)環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
103	瀬棚に娘家族が居ます。 自然豊かな瀬棚にある風力発電を見ると戦争を思い出します。 北海道に何のメリットがありますか？ 東京の電気は東京で作りたいです。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 本事業では風況に恵まれた本地域における風力エネルギーを利用し、事業を通して地域貢献及び地域活性化等に与することを目的としており、本事業で発電した電力は北海道電力ネットワーク株式会社へ系統連系することとしております。
104	瀬棚にたくさんの風力発電があり、孫らにとっては、あたり前のことになっている。 風力発電が山にあることは不自然。 動物も困る、山も困る、我々も困る。 計画には反対。	本事業は好風況が見込まれる仁山高原を対象事業実施区域としております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
105	しぜんをまもってほしい。 これからもげんきにそとであそびたい。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
106	おばさんがいるせたなにあそびにいくと風りよくはつでんがある。 お母さんもイヤがってる。私もイヤ。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
107	義妹が瀬棚で牛飼いをしています。 本当に自然豊かで素敵な町だと思います。 <u>風力発電を除いては</u> 。 北海道の自然をこれ以上壊してほしくないです。 計画には反対。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
108	北海道の子どもたちの未来を守りたい。風力発電計画の中止を求めます。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
109	ぼくは、でんきは足りていると学びました。 どうして、自然を壊してまで、でんきを作りますか？ 分かるように説明してほしいです。 要らないと思います。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
110	誰が得をしますか？今を生きてる大人だけ？20年後、40年後はどうなってしまいますか？冷静になって考えてほしいです。 子ども、孫、その先の世代はどうなりますか？ 反対します。	本事業は、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的としております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
111	私たちが住んでいる町自然を壊さないで下さい。子どもたちが静かに、安全に暮らせるように大人が声を上げる時です。 困ります。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
112	色んなことを学ぶと、風力発電はデメリットが大きいです。 北海道を荒さないで下さい。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
113	しぜんをこわさないで。あんぜんにあそびたいから	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
114	とりがだんだんへっていくからふうりよくはつでんがいやだ	本事業による鳥類への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
115	ねこを飼っています。家で守られています。森林に居る動物はどうなりますか？誰が守りますか？私たちが守ります。土足で入ってこないで下さい。	本事業による動物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1(19) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
116	風力発電キラリ、ヤダ。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
117	生まれ育った七飯町を守りたい。一度壊れた自然は戻りません。反対！！	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
118	私たちの孫の世代がかわいそう。自然を残してほしい。反対です。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
119	事故の恐れは？ 何を見て、安全だと言えますか？ 反対です。	風力発電施設の建設に当たっては、関係する所管部署にて工事内容、建築物の構造、安全対策・環境保全対策等の審査を受け、安全性を十分確保した工事を実施いたします。 万が一事故が発生した場合には迅速に原因を調査し、関係機関とも協議し必要な対応を講じてまいります。
120	くまや、とりの住む場所をうばわないで。 みんな仲良くしたい。	本事業による動物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
121	頭痛持ちです。 低周波の影響を考えるだけでゾッとします。 反対です。	風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調査可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
122	いところ住んでる七飯町の自然を守りたい。 風力発電は反対です。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
123	ぼくたちは、たのしく、わらってすごしたい。 うるさいおとはききたくない。	風力発電施設の稼働に伴う騒音については、今後、現地調査を行い、その結果を踏まえて予測及び評価を実施し、影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。
124	多大なる環境破壊と人の暮らしへの悪影響をもたらす、この計画に反対です。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
125	義理の実家が七飯にあります。 子どもたちが安心安全に過ごせるように七飯には風力発電は不要だと思います。	本事業による生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 風力発電施設の建設に当たっては、関係する所管部署にて工事内容、建築物の構造、安全対策・環境保全対策等の審査を受け、安全性を十分確保した工事を実施いたします。
126	20年後、確実に撤去してもらえますか？ そのゴミはどこに捨てられますか？ 反対です。	本事業を終了する場合については、廃止した風力発電施設は撤去し、関係機関とも協議し、原状復帰することを基本といたします。撤去時に発生する廃棄物については、可能な限り有効利用に努め、有効利用が困難なものについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて適正に処理・処分いたします。

表 2-1 (20) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
127	妹が風力発電たくさんある瀬棚に住んでいますが、結構うるさいです。 飛行機が遠くからくる程度ではあるが、田舎のよさって人工音のないことだと思います。 自然音だけのすばらしさ！！ 常にブルンブルン聞こえるのイヤです。低周波の影響は未知数だろうと。。。。	風力発電施設の稼働に伴う騒音については、今後、現地調査を行い、その結果を踏まえて予測及び評価を実施し、影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。 風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
128	野生動物に害がある 人間に害がある 北海道の魅力がそこなわれる 短期的思考と思う 見た目が怖い そこまでしなければいけないものではない 優先順位がおかしい	本事業による動物を含む自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
129	便利さを求めて地球が破壊されているのはもはや周知の事実でございます。百歩譲ってマシンが日本製であるなら少しはましではありますが中国製ですよね？長い目で見た時に誰得？一体、誰が得をするのでしょうか？私は少しも得しません。七飯町民も誰一人得せず不利益のみ受ける事になる。東京都民のための電気なのであれば東京に作れば良い。（もちろん賛成されたら・・・ですが・・・。）古き良き時代に少しでも近づき子供達の未来を守るためにも風力発電は賛成出来ません。節電はして行くので皆で頑張るので地球を守って行ける様にして生きて行きたいです。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。 また、本事業で使用する規模の風力発電機は国内では生産されていないため海外製となる予定ですが、現在選定中となります。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
130	「仁山高原の巨大風力発電から自然と生活を守る会」の有志が開催してくれた勉強会に参加しました。分からないことが多いため、JR 東日本の説明会に参加したいです。町民に分かるようにメリット、デメリットを教えてもらいたいです。 今の状況ではデメリットしか感じません。 説明会を開いて下さい。	今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
131	きをきらないで	本事業の計画を策定するに当たっては、極力既存植生の伐採量の低減を図り、可能な限り環境影響の回避又は極力低減いたします。
132	わたしは仁山の近くの学童で川に入ったり、山で山菜やきのこなどを取ったりしています。風力発電が建つと、自然のバランスがくずれてしまうかもしれないのでいやです。 そして、こわれたら大変だと思います。 きじひき高原で遊ぶことがあるので作らないでほしいです。	本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。
133	わたしは、風力発電を、立てないでほしいです。なぜなら、学童できじひき高原で遊ぶことがあるので、その時のじゃまになるし、木や川が、こわれてしまうといやだからです。風力発電は、1日中回るので、夜に、鳥が見えなくなって、ぶつかってしまったら、死んでしまうかもしれないし、音がうるさくてねむれなくなってしまうからです。 あと、川がよごれたり山がくずれたりするのもしやです。あと、その電気を北斗で使うわけではないなら、北斗に立てないでほしいです。なので、私はきじひき高原に、風力発電を絶対に立てないでほしいです。	「人と自然との触れ合いの活動の場」の調査、予測及び評価の対象地点として、きじひき高原を選定しており、工事用資材等の搬出入に伴う、交通量の変化を予測し、利用特性への影響を予測及び評価し、結果は準備書にお示しいたします。 また、本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。

表 2-1 (21) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
134	「ブレードが回転する際には低周波音が発生しますので、設置する際には騒音など周辺環境への影響を気かけなければなりません」って解説もあるし、住む人達が不安で怖いって言ってるならこの計画は中止にするしかありません。 私も節電するのでお願いします。	風力発電機稼働時は、騒音・超低周波音（低周波音も含まれます）が発生しますが、その影響については、調査、予測及び評価を行い、準備書にお示しします。その結果から、可能な限り影響の回避又は極力低減いたします。 なお、風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておきませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
135	森の神さま おこるよ。 電気節約するよ。	化石燃料ではなく再生可能エネルギーによる電力供給の比率を向上させることは、地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指す国の政策とも合致するものであり、重要なものと考えております。
136	しぜんをこわさないでください。	既存の自然環境の保護のため、事業実施による環境影響の極力回避あるいは低減を図る事業計画といたします。
137	やめて！	いただいたご意見を踏まえて、より良い事業計画となるよう検討いたします。
138	我が子は毎日自然のなかで遊んでいます。 子ども達が安心してのびのびと遊べるように、風力発電の計画の撤回を求めます。 自然を壊すのは一瞬ですが、元に戻すのには時間がかかります。再考してください。	本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。
139	風力発電を設置することによる自然への影響、人体への影響、未来への影響・・・様々な観点で調査、検討を重ねたうえでの設置計画なのか、疑問に思う点が多々あります。事業者である JR 東日本エネルギー開発株式会社には、事業者の利益となる事柄だけでなく、是非、客観的な視点で風力発電のメリット、デメリットを説明していただきたい。事業者として、デメリットを説明できないのであれば、それは当事者にとっての利益しか追求しない事業であり、地域住民として到底建設に賛成できるものではありません。	本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
140	熊や野鳥の大切な生息地を壊すことなく、未来の世代にのこしていくことが大切だと思います。	本事業によるクマ、鳥類等の動物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
141	一度壊した自然は戻りません。 これからは壊すことなく守っていく時代だと思います。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
142	きじひき高原周辺からの眺望は、周辺の自然環境と併せて、北斗市の貴重な観光資源であると同時に市民の憩いの場となっています。 風力発電の建設工事による地形改変や風車等人工物の設置による景観上の影響は、北斗市の貴重な財産に将来に渡って重大な損害を与えるものと考えられ、道南地域の観光ルート上でも重要地点であることから周辺市町への悪影響も懸念されます。 また、市道村山 1 号線は、きじひき高原への唯一のアクセス道であり、キャンプ場利用者も通ることから、交通量は少ないとは言えません。工事車両が大量に通過することは、交通安全上も多大な悪影響が予想されます。	きじひき高原周辺からの眺望につきましては、景観の調査、予測及び評価を行い、結果を準備書にお示しします。 また、工所用資材等の搬出入に伴う、アクセスルートにおける交通量の変化を予測し、利用特性への影響を予測及び評価し、結果は準備書にお示しします。

表 2-1 (22) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
143	仁山高原近くの放課後児童クラブに子どもを通わせています。豊かな自然の中でたくさんのすてきな経験をさせてもらい、子どもの成長になくてはならない場です。風力発電により生態系がバランスをくずし豊かな自然が失われていくかもしれません。未来の子どものために今の子どもたちのために慎重な判断をお願いしたいです。	本事業による生活環境及び生態系も含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
144	一度壊した自然は戻りません。これからは、壊すことではなく守っていく時代だと思います。未来の地球、子供たち、動物たちのため人間が考え動くことが大切です。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
145	七飯町は豊かな自然が町の財産です。仁山の多様な生態系がもたらす、自然の恩恵を受けて生活していると思います。近くに暮らす函館市民の私たちも同様です。一度破壊した自然は元には戻りません。未来の子供たちのためにも、よく考えて行動するべきだと考えます。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
146	仁山高原に風力発電を建築することにより、周辺の生態系が崩れ、農作物の栽培にも悪影響を与えることが考えられます。発電事業を中止し、仁山高原の自然保護に協力していただきたいです。	本事業は好風況が見込まれる仁山高原を対象事業実施区域としております。本事業による生態系も含む自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
147	一度壊した自然は戻りません。未来の子どもたちのことを考えても壊すことなく守っていくべきです。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
148	私たち七飯町民は豊かな自然の中で子供達をあそばせ生活しています。特に仁山は森が多くたくさんの生き物がいます。渡り鳥も毎年訪れ七飯町ではどここの空でも見るができます。風力発電のための風車は大量の電力を発電するためには複数機の風力発電設備を設置する必要があるとききます。故障や破損リスクもあり、子供たちが自然の中で毎日あそびすごす場所なので大変不安です。一度壊した自然も元には戻りません。乙部町が環境悪化を理由に数年前に反対の声をあげていましたがそれにも関わらず米国系企業が乙部町沖で浮体式洋上風力発電計画が進んでいるようです。仁山に数機風車ができるということはその後も増えていく心配もあり1機も作ってはしくありません。風力発電計画の撤回と中止を求めます。	本事業は、風況に恵まれた本地域における風力エネルギーを利用する事業を通して国の政策である再生可能エネルギー導入促進と、地域貢献及び地域活性化等に与することを目的としております。環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたしますが、同時にこれら重要な社会的要請を満たすために必要な事業であると考えております。
149	既に設置されている地域では、音などによる体調不良や、自然破壊による影響もあると聞いているので、近くに設置される事に不安があります。メリットデメリットを明らかにして頂き、広く意見を交わす場をしっかりと設けてほしいと思います。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。準備書手続き時には、住民説明会を実施し、関係の方々に広く意見をいただく場といたします。
150	自然環境への影響と景観並びに音の問題 必要以上の電力は望まない為	自然環境及び景観への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、その結果を準備書にお示しします。
151	風力発電設置場所は、北から大沼をぬけ、渡り鳥がもっとも多く通過する場所です。プロペラにまきこまれ死んでしまう動物もいます。断固、反対します。	バードストライクにつきましては、現地において鳥類調査を行った上、風車への衝突の可能性に関しては、「鳥類等に関する 風力発電施設立地適正化のための手引き（環境省）」に基づき、定量的な予測を行います。

表 2-1(23) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
152	きじひき高原のふもとに住んでいます。 七飯町の豊かな自然が大好きです。 見方によってはメリットもあるのは理解できますが、私はデメリット（しかも取り返しのつかないほどの）の方が大きいと考えています。 一番危惧しているのは生態系への影響です。 山や森の豊かさは私たちの暮らしと密接につながっています。 一度こわれた自然、生態系のバランスは元に戻るのに莫大な年月がかかります。 どうか目先の利益のために、本当に大切なものを見失しなわないで下さい。風力発電の建設に反対します！	生態系も含む自然環境への影響については、現地調査を行った上、予測及び評価を行い、その結果は準備書にお示しします。
153	住民説明会に参加しました。 説明を聞いた上で、メリットよりデメリットの方がはるかに大きいと感じています。 七飯町は農業や酪農が盛んな町です。 さらに観光地である大沼国定公園は貴重な動植物と雄大な自然が環境資源です。 私たちの暮らしは自然に支えられています。 巨大な風車が建つことで、作業道の拡張や大量のコンクリートを使った大きな基礎が必要になるでしょう。生態系への影響は計り知れません。 さらに建設予定地は水源涵養保安林が多く含まれています。 保安林は、保安林である理由があると思います。 保安林を解除して、建設を進めることはリスクが大きすぎます。 風車ができた後も、私たち町民の暮らしは続きます。 リスクを負うのは、私たちです。 そして、全国的に人口がどんどん減っているのに、本当に今、こんなにたくさんの風力発電が必要なのでしょうか？ 仁山高原への風力発電建設に反対します。	地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して、風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進することは必要な事業であると考えております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。 また、対象事業実施区域の設定にあたり、土地所有者との賃貸借契約が可能な範囲を風力発電機設置予定範囲としたことにより、広く保安林を含む範囲の設定となりました。保安林の許認可手続きについては、渡島総合振興局と事前相談を行っておりますが、今後の事業計画の検討において、伐採・造成範囲の縮減を図るとともに、行政協議を行う方針です。
154	私たちは七飯町を「持続可能な街」にするために活動している団体です。 私たちの暮らしを支える仁山の生態系への影響をとて心配しています。 地元で使わない電気を、地元の人たちの暮らし、安全を犠牲にして仁山に風力発電を作らないで下さい。 どうか自然を守る方、生態系を守る方へお金を使って下さい。 私たちも電気の使用を少しでも節約できるような暮らしをみんなで考えていきたいと思います。	生態系も含む自然環境への影響については、現地調査を行った上、予測及び評価を行い、その結果を準備書にお示しします。 現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
155	私たちアースデイ道南は「7世代先の子どもたちへ豊かで平和な地球を残す」ことを目指して活動しています。 仁山の豊かな生態系が七飯町の豊かで美味しい水や空気を育み、土壌を豊かにし、その栄養が実りとなり、私たち七飯町民の暮らしを支えてくれています。 風力発電の建設は私たち町民の暮らしに良くも悪くも多大な影響があるでしょう。 町民が安心して暮らすために風力発電の建設ではなく、持続可能な自然を、生態系を守る取り組みをどうかお願いします。	本事業は、風況に恵まれたこの地域の風力エネルギーを利用し、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的として実施いたします。 本事業による自然環境（生態系も含む）及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (24) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
156	バードストライクなど動植物の生態系への影響、低周波音による健康被害、景観破壊が気になるそうです。建設には反対です。	鳥類の風車への衝突の可能性に関しては、「鳥類等に関する 風力発電施設立地適正化のための手引き（環境省）」に基づき、定量的な予測を行います。騒音・超低周波音（低周波音も含みます）、景観につきましては、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、結果を準備書にお示しします。
157	・健康被害が出ないということや山の生態系のバランスが崩れないということの裏付けを示してほしい ・もし仮に風車を設置した場合、森の生態系のバランスが崩れてしまった場合の対処方法が知りたい。健康被害者の健康や山の生態系を元の状態に戻すことができるのか？ ・寿命を終えた風車の撤去や処分をどうするのか教えてほしい ・そもそもそんなに電力が必要なのか。これまで私たちの生活に支障が出て困ったことが無いので、なぜまた新たに設置しようとしているのかがよくわからない。 ・風力発電の設備を作って設置するためにどれだけの電力を使っているのか？その電力は無駄ではないのか？	・人の健康影響に関係する騒音・超低周波音、生態系も含む自然環境への影響は、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、結果を準備書にお示しします。 ・十分な環境影響評価手続きの上、事業実施に至るため、生態系のバランスが崩れる等の事象が発生する確率は低いと考えますが、万が一そのような事態が疑われる場合は、事業者として事実確認の上、必要な対応を行います。 ・本事業を終了する場合については、廃止した風力発電施設は撤去し、関係機関とも協議し、原状復帰することを基本といたします。 ・現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。 ・風力発電施設の規模にもよりますが、一般的には建設に要するエネルギー（資機材調達、施設建設工事）は、原子力、火力、水力等の発電施設建設に比べはるかに小さいと考えられます。これは、再生可能エネルギーとしての風力発電の大きな利点の一つです。
158	・電気が足りないなら足りないなりに、工夫しながら生活するので風力発電は必要がない。 - 電気がなかった時代の昔の人たちもそれで生きてきたはずなので。 - 少し不便になったりすることもあるのかもしれないけど、生きていけないわけではないので、風車を設置しない今のままでも問題はない。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
159	風力発電の低周波による健康被害が心配です。安心して暮らしたいので、風力発電を作らないで下さい。	風力発電機による騒音・超低周波音（低周波音も含みます）につきましては、方法書に記載のとおり適切な調査・予測を行い、生活環境への影響について評価します。
160	自分たちの未来、子供たちの未来、自然界の未来のために本当になるのか、今一度考えてほしいです。動物たちの生きる場所をうばって、生きる場所がなくなった動物が人間の住む場所にきたらその動物を駆除して、それって人間の勝手だなと思います。どうか動物、自然の生きる場所をうばわないでください。	将来世代のため、地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進するは、国の重要な政策と考えております。また、同時に動植物等既存の自然環境の保護のため、最大限環境影響の低減を図る事業計画といたします。これにより、動植物との共存を図ってまいります。
161	私たち人間はもちろんですが、動物たちも安心して暮らせるように仁山の自然をこわさないで欲しいです。	動植物等の自然環境の保護のため、最大限環境影響の低減を図る事業計画といたします。これにより、動植物との共存を図ってまいります。
162	自然生態系への影響はどの様に考えておられますでしょうか？そして、仁山で出来た電気はどこで使われますでしょうか？故障した場合はどの様に考えておられますか？自然の中に人工的な物を作る事により私達人間や動物にどの様な影響があるのかを示してほしいと思います。よろしくお願い致します。	生態系につきましては、現地調査、予測・評価を行いまして、その結果を準備書にお示しいたします。発電電力は北海道電力への売電となります。施設に障害が発生した場合は、現地管理事務所が初動対応を行います。生活環境、自然環境への影響につきましては、調査・予測・評価を行い、準備にお示しします。

表 2-1 (25) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
163	・ 自然豊かな山々に巨大な風力発電を作るのには反対です。自然をこわさないでください。 ・ ここで作られた電気は本州に送られることになるのでしょから私たちは、自然をこわしてまで、本州に送る電気を作ってほしくないです。	・ 方法書手続き後に、現地調査・予測・評価を行い、本事業の環境影響について準備書にまとめます。その結果を受け、環境影響を極力回避、あるいは低減できるような事業計画とし、また必要な環境保全対策を検討いたします。 ・ 発電した電力は北海道電力への売電を行います。
164	多くの風力発電により電力の供給がなされたとしてそれほどの需要があるのでしょうか。ギモンに感じます。発電機の設置・稼動によって様々な不安があります。 自然環境のハカイ、動植物の絶滅のキケン、動物と人との共生のモンダイ、プロペラからの低周波による人の健康ヒガイなど問題は多く予想されると思います。 持続可能な社会の創生、子供達の未来のためにもまいちど設置を思いとどまってもらいたいです。 風力発電は望みません。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。 生活環境への影響、動植物への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査を頂き、必要であれば事業計画の見直しを行い、住民の皆様、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。次世代のため、地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進することは、国の政策に合致するものと考えております。
165	・ 施設建設の為に生態系が変化し環境破壊、自然破壊につながると思う。 ・ 人口減少、省電力の製品が増えている中で、新たに新しい施設が必要とは思わない。	地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進するのは必要な対策と考えております。同時に適切な環境影響評価を実施し、必要であれば事業計画の見直しを行ってまいります。
166	壊れる自然、使える期間がたった 20 年程しかない風車、住んでいた生き物たちの住み処、健康への害どうするんですか？ 北海道の電力は北海道で作るのは仕方ないと思います。でも、他の所の電気まで北海道の自然を壊して作るのは反対です。 「反対します。」	生活環境や生態への影響につきましては、現地調査、予測・評価を行いまして、その結果を準備書にお示しいたします。 また、地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進するのは必要な事業と考えております。
167	風力発電を作るにあたって自然をいかたくして多大なエネルギーを使う必要があることを考えると、風力発電のせつびはこの町には不要だと思えます。 数十年後には使われなくなった風車およびそのまわりの道路が残る未来にはしたくないです。今あるこの自然の美しさを残したいです。	地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進するのは必要な事業と考えております。事業期間終了時は、その時点の事業状況等を考慮し、また、関係箇所との協議により、風力発電機を新機種への建て替えを行うことで更なる事業継続を行うか、あるいは事業終了とし、施設撤去の上、原状復帰を行うこととなります。
168	・ 風車の撤去や処分方法はなっていますか？ ・ 仁山の豊かな自然や生態系の保護を上回るメリットが果たしてあるのでしょうか？ ・ 設置の計画の経緯は？なぜ、風力発電が必要となったのでしょうか。	事業期間終了時は、その時点の事業状況、関係者との協議により、建替え等により事業継続するか、事業終了とし、施設撤去の上、原則原状復帰を行うことを想定しております。地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進する事業は必要と考えております。
169	七飯町の豊かな自然をこわしてまで建設する必要を感じません。	地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して、風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進することは必要な事業であると考えております。同時に自然環境への影響を考慮し、バランスの取れた事業計画といたします。

表 2-1 (26) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
170	・風車の撤去や処分方法で処分できない、再生できないものを作った後に何が残るのでしょうか。そこで生きていく生き物に何ももたらしません。 ・仁山の豊かな自然や生態系の保護を上回るメリットが果たしてあるのでしょうか？→ないと思います！ ・なぜ仁山に風力発電が必要となったのでしょうか？私たちが生活をするにあたり必要とする電気は十分に足りているはずで。風力発電は必要ありません。	・事業終了時は施設撤去の上、基本的に原状復帰を行います。再利用可能な資材等は、有効利用いたします。その後植樹を行い、極力元の植生の復元を行います。 ・化石燃料使用による電力供給に頼るのではなく、地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して、風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進することは必要な事業であると考えております。
171	仁山高原風力発電事業に反対します。 自然を壊してまで、必要なことなのでしょうか。 一度、自然を壊してしまったら、もう元には戻りません。動物、植物の生態系も変わってしまいます。 それは、この地球に住んでいる人間にも影響してきます。 これから先、生きていく子供達のためにも自然豊かな環境を保ち、自然と上手に共存共栄していくことを願います。	動植、植物及び生態系の自然環境への影響については、方法書に記載の調査、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえ、適切な環境保全措置を講じることにより、環境への影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。これにより、持続可能な開発と環境保全のバランスの取れた事業の推進が可能であると考えております。
172	地球(大自然)は人間の為だけに存在しているのではないと思います。 動植物の生態系をこわし、ひいてはそこに住まう私たちにも影響は及びます。 人間はけっして大自然を作り出すことはできません。そんなに電気が必要でしょうか？人口は減っているのに？素朴に疑問です。利益や利便性のみを追求しているのが人間のように感じています。一人一人が自分の良心と向き合い判断していくこと。外側の「仕事だから」「会社の意向だから」「便利だから」等で自分の良心をふみにじることなく、事業を進めている方達にも問いたいです。「あなたの良心は本当にそれが正しいと感じていますか？」と。これからは自然と調和し、共存していくことが大切なのではないのでしょうか？これ以上の自然破壊は望みません。再考を切に望みます。風力発電事業に断固反対します。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。 動植物の生態系への影響については、方法書に記載の調査、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえ、適切な環境保全措置を講じることにより、環境への影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。
173	住民の健康で安全な生活と自然を守るため	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
174	七飯町は豊かな自然が町の財産です。 私は、自然が壊されるのは、イヤです。 未来の子ども達の事を考えて健康に過して欲しい健康被害怖いです。 野生動物の生息地もなくしたくない。 自然エネルギーを利用するということでも、自然環境が壊れたのでは、全く意味がありません。	本事業による自然環境(動物も含む)及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
175	山の生態系がこわされると、海も影響をうけ、どんどん魚が取れなくなります。 すべてのバランスがこわれます	生態系も含む自然環境への影響については、現地調査を行った上、予測及び評価を行い、その結果は準備書にお示しします。
176	豊かな自然がなくなってしまうのは、とても残念です。 風力発電は、誰のためにもならないと思う。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
177	自然が破壊されて、水資源などが枯渇したら、農業などが出来なくなったり、動物も住む所がなくなってしまう。 風力発電を、置いてからでは、遅いと思います	本事業による自然環境(動物も含む)及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減できるような事業計画といたします。
178	自然を壊されたくない為	既存の自然環境の保護のため、最大限環境影響の低減を図る事業計画といたします。
179	自然を守るため	既存の自然環境の保護のため、最大限環境影響の低減を図る事業計画といたします。

表 2-1 (27) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
180	自然をこわすから	既存の自然環境の保護のため、最大限環境影響の低減を図る事業計画といたします。
181	自然をこわされたくないため	既存の自然環境の保護のため、最大限環境影響の低減を図る事業計画といたします。
182	自然を壊すな。	既存の自然環境の保護のため、最大限環境影響の低減を図る事業計画といたします。
183	こんにちは。 仁山高原への風力発電建設についてです。 私は大沼在住で、野生動物、渡り鳥、美味しい空気、美しい自然に毎日感動しています。 近隣の仁山高原をはじめとする美しい自然の景観を壊したくありません。 私は母が亡くなった直後、渡り鳥が頭上を飛んでくれた時、母の化身だと感じるほど、鳥には愛着があり、毎日のようにアオサギ、白鷺がいて、トンビが飛んでおり、最近では珍しい野鳥も見つけました。 この環境は偶然ではなく、奇跡であると感じています。 風車の羽に、バードクラッシュ（鳥が当たって死亡する）する懸念や、建設時に二酸化炭素が放出されること。健康被害や、景観を損ねたり、野鳥や野生動物、自然を損なう結果になり、自然が壊されていくと、結果的に人間にも悪影響があると感じます。 この素晴らしい道南の宝を、次世代の子供達のためにも、保っていききたいです！	本事業による動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。 バードストライクにつきましては、現地において鳥類調査を行った上、風車への衝突の可能性に関しては、「鳥類等に関する 風力発電施設立地適正化のための手引き（環境省）」に基づき、定量的な予測を行います。
184	一度壊した自然は戻りません。これからは壊すことではなく守っていく時代だと思います。	本事業による動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
185	エネルギー問題については必要なかもしれませんが、他の方法を考えていきませんか？ しかも、土地を手放すことに関しては水源のことも含め、死活問題です！ お金周りの効率を優先させないでください！	地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進するのは必要な事業と考えております。 本事業による生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 また、風力発電機設置場所付近では事業計画策定のために詳細な地質調査を行い、地下水脈の有無を確認してから建設工事に入ること、地下水脈の遮断がないような事業計画を策定します。
186	私は北海道が大好きです。そして私が住んでいる道南も大好きです。そして自然豊かな山が大好きで山菜採りにもよく行きます。このような大自然が風力発電の影響で壊れて行ってしまうのがとても心配です。今だけではなく将来のことも十分に考えた上で検討してほしいと思います。	本事業による動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
187	地域の皆さんより、環境への影響、健康への懸念の声がでています。 十二分に調査し、コンセンサスを得て進めて載きたいです。小樽の風力発電も、地元や市長の反対で中止となりました。 よろしくお願い致します。	本事業による人の生活環境への影響、動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、住民の皆様、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。 引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。

表 2-1 (28) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
188	一度壊した自然は戻りません。これからは壊すことではなく守っていく時代だと思います。 未来の地球、子供たち、動物たちのため人間が考え動くことが大切です。 その辺はどうお考えですか？	次世代のため、地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進することは、必要な事業であり、国の政策に合致するものと考えております。 本事業による動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
189	七飯町の景観を破壊しないでください。 森を伐採しないでください。 水源を守ってください。 風力発電の風車はとても醜いです。 景観を破壊してます。	本事業による人の生活環境への影響、動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、住民の皆様、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。 景観については対象事業実施区域周囲の主要な眺望点や地元住民の皆様が生活される地区を眺望点として選定し、調査、予測及び評価を実施いたします。 また、風力発電機設置場所付近では事業計画策定のために詳細な地質調査を行い、地下水脈の有無を確認してから建設工事に入ること、地下水脈の遮断がないような事業計画を策定します。
190	もう、やめましょう。壊すことではなく守っていきましょう。 私たち人間は自然からたくさんの豊かさをいただいているのに、奪うのですか？	本事業による動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
191	私たちの暮らしには電気も大切ですが、豊かな自然の環境である場所からの生態系を守りたい、自然と共存してる人々たちとの繋がりを大切にしたいです。どうか計画をなくして頂きたくお願い申し上げます。 どうか	本事業による動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
192	未来の子供達の事を、本当に考えたら環境破壊に繋がる事はしませんよね！ もう少し、意見を聞く会を開いてみんなで考えましょう。 この計画には反対します。	本事業による動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。 また、引き続き住民説明会等で丁寧な説明を行うよう心がけます。
193	自然生態系への問題は事業地からの近さとは関係なく、また周辺住民だけに限られるものでもありません。北海道の貴重な自然林は日本の貴重な財産、宝です。自然生態系の一部である動物や森にあたえる影響として、風車が激しく回転するようになると、音を嫌って動物たちが山から麓へ下りてくるという報告も聞きます。風車に野鳥が巻き込まれて殺されるバードストライクの問題。森を伐採すれば、今のような森に戻るのに最低 400 年はかかる。ましてや今と同じ生態系の森に戻る事は不可能です。 多大なる環境破壊と人の暮らしへの悪影響をもたらすこの事業に反対いたします。事業中止により、北海道の大自然と住民の方々の暮らしが守られることを切に願います。	本事業による動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。 バードストライクにつきましては、現地において鳥類調査を行った上、風車への衝突の可能性に関しては、「鳥類等に関する 風力発電施設立地適正化のための手引き（環境省）」に基づき、定量的な予測を行います。

表 2-1 (29) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
194	この度の風力発電計画を中止、撤回していただきたいです。 野生動物も多く、景観もよく、そこに住む人たちの恵みとなっている自然豊かな仁山の森をこれ以上壊さないでください。 子や孫、そしてその先に暮らす人間や動物たちにとって、この計画が貢献になるとは思えません。多くの町民や周辺の人々の理解が得られていない状態で、計画を進めるのはやめてください。 また、他の地域では、健康被害も問題になっているようですが、どのようにお考えですか？	地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進するのは必要な事業と考えております。 本事業による人の生活環境への影響、動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、住民の皆様、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
195	私たち人間は自然の恩恵があって、生かしていただいています。 その自然を破壊してまでエネルギーをつくることは、いずれ私たちに影響をもたらすことになると思います。 建設予定地に暮らすみなさんの未来を守るために、自然とともに生きる大切さを未来につなぐためにも、建設には反対です！！	地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進するのは必要な事業と考えております。 本事業による人の生活環境への影響、動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、住民の皆様、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
196	七飯町への風力発電設置に反対します。 世界的な再生可能エネルギーとして風力発電も進められていますが、今だけ金だけ自分だけと感じます。北海道での電力は水力発電の効率化で充分賄えます。原子力発電も要りません。太陽光発電も中国に土地を取られこれから問題がハッキリして来ます。未来を見据え踊らされる事無くお願いします。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。 また、既存の自然環境の保護のため、最大限環境影響の低減を図る事業計画といたします。
197	多大なる環境破壊と人の暮らしに悪影響をもたらすこの事業に反対いたします	本事業による人の生活環境への影響、動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、住民の皆様、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
198	小樽、余市、仁木で開催されている風車勉強会に参加して自然破壊や健康被害について学びました！北海道全域に広がる再エネの元に変なことになると思います！石狩市では洋上風力も増え健康被害を訴えている方や鶏が死んでしまったりしています、断固反対します！	本事業による人の健康影響に係る騒音・超低周波音、動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、住民の皆様、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
199	仁山の自然形態を壊さないで下さい。 自然がもたらす恩恵で私たちは生活しています。熊や野鳥、鹿が住む場所を奪うことは私たちの住む場所を彼らに奪わせることにつながりかねません。未来の可能性を考えるなら、自然を守ることを考えていくのが、私たち人間を含めた生き物がより良く生きていけると考えます。仁山はもちろん反対です。仁山だけではなく、大型風車の建設自体にも反対します。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。 本事業による鳥類等の動物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 なお、現在のところ、風力発電機の稼働が原因で、クマ等の行動への影響が報告された事例は把握しておりませんが、このような知見の収集に努め、本事業による影響が明らかな場合には、関係機関とも協議の上、誠実に 対応いたします。

表 2-1 (30) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
200	『再エネ』推進の下、これまで日本全国で『自然破壊』が行われて来ました。その陰で、利益を得るのは『外資』という重大な問題も多々浮上しています。この状況は『世界秩序』を優先するあまり、『日本』の大切な資源を失っていると言わざるを得ません。もはや、『再エネ推進＝自然破壊』と言っても過言ではないでしょう。このような、『日本国民』の危機感を全く無視して、『再エネ推進』を行う事業に断固反対いたします。北海道は特に、山林破壊で行き場を失ったクマによる人への危害が急速に深刻化しています。そんな中、七飯町でも、この馬鹿げた『自然破壊』を行おうとしていることに憤りしかありません。『検証なくして、推進なし！』そして繰り返しになりますが、『再エネ推進＝自然破壊』、絶対に反対です。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。 本事業による動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。 なお、現在のところ、風力発電機の稼働が原因で、クマ等の行動への影響が報告された事例は把握しておりませんが、このような知見の収集に努め、本事業による影響が明らかな場合には、関係機関とも協議の上、誠実に 対応いたします。
201	風力発電は一見、エコロジカルな印象を得ますが、設置に至るまでの土地や生態系に与える影響、設備が寿命を迎えた時の廃棄物の問題などを考えると、エコロジカルで持続可能とは言い難いです。地元住民として計画の撤回を希望します。	本事業による動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。
202	目先の利益を優先して、自然破壊や人々の健康を損ねることがないように風力発電計画の撤回と中止を求めます。自然破壊により生態系が乱れ、人里への熊出没が更に増えたり、水質汚染も懸念されます。低周波は健康に悪い影響がある事も既にわかっています。災害などで破損した際には、甚大な被害が予想されます。 風力発電計画の撤回と中止を求めます。	超低周波音や水質への影響を含めた本事業による人の生活環境への影響、動植物及び生態系への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、住民の皆様、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。 現在のところ、風力発電機の稼働が原因で、クマ等の行動への影響が報告された事例は把握しておりませんが、このような知見の収集に努め、本事業による影響が明らかな場合には、関係機関とも協議の上、誠実に 対応いたします。
203	風力発電は自然に影響が無いと思い込んだまま実際にある問題をみないふりしてませんか？ 作る段階において広範囲の自然を壊していること 風力発電からでる低周波の野生動物、人に対する悪影響… たしかに風力発電で生産できる電気は多く、火力発電等と比べ、作る段階から発電時などの工程において二酸化炭素の発生する量は低いかもしれませんが しかしその面ばかりをみて、他の問題が見えなくなっていないませんか？ 今一度計画を考え直してほしいです 新しく風力発電を作る前に 自然に全く害のない発電所ってどうやったらできるのか、どういうものかお考えを!! それに今日本の電気は新しく発電所をどんどん建てなければならないほど足りないのでしょうか？	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。 また、現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。

表 2-1 (31) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
204	仁山高原の巨大風力発電に大反対致します。わたしたちの生命を支えてきたのは、大自然の愛です。風力発電は一見、自然エネルギーの活用に見えますが、実際には、森林を破壊し、周りの動植物や空を飛ぶ鳥たちの生命のリズムを狂わせ、大きな環境破壊に繋がります。私たちは決して、大自然と離れて、生きていけないのではなく、大自然の生命の一部であることを思い出せば、事の重大さに気づくはずで。わたしたちが、次の世代の子どもたちに残し、引き継ぐべきものは、美しい環境と大自然の愛ではないでしょうか。未来の子どもたち、そして地球の未来のために、仁山高原の巨大風力発電に大反対致します。	本事業による自然環境及への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画とし、動植物との共存を図ってまいります。
205	七飯町に、計画されています風力発電について一言お話しさせていただきます。 1、設置場所について。風力発電設置、まして何基もとなると、相当広い面積が必要であり、樹木・植物等の伐採を行う事となる。地面は露出することとなり、太陽光発電同様である。国内では、大きな災害が発生し、人命を失う大惨事も起きています。業者、自治体の利権しか頭になく、近くに住民の安全等全く考えていない。誰が責任を取るのか、そこまで考えて初めて説明会をすべきでは、 2、植物の生態系に及ぼす影響(道路を敷く事も含む) 3、地下水の移動変化 4、水の調整、 それらを今までは、樹木や植物の自然の営みによって調整出来ていたものが、人の手によって、破壊されると、諸々の予期せぬ事態が、必ず起きる。 5、降雨量多い地域の場合、特に心配することがある、土砂崩れであります。山の場合、海拔が高いほど危険増ことになると考えられる。 6、道南は地震の多い所でもあり、最近、特に危険が増している。雨期と地震-土砂崩れ-塔の崩壊、いくつかの問題点を考えて、私はこの計画に対しまして断固反対の立場です。	現時点での対象事業実施区域は改変の可能性のある区域を広く設定しておりますが、今後の事業計画の進展により、改変する区域を絞り込みます。改変区域は、主に風力発電機建設ヤードとそれを繋ぐ工事用・管理用道路の造成となり、太陽光発電施設設置工事の様な大規模な樹木・植物の伐採は行いません。 本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。また、改変工事により生じた法面は緑化にするなど法面の保護し土砂流出防止策を講じます。 なお、風力発電機の設置位置は、ボーリング調査を行い、地質状況を確認して確定いたします。
206	「地域循環型社会の創造」は「日本自体を持続可能な社会」として再生するために必須であり、風力発電などのエネルギー対策はこうした「本筋」を活性化するための一手段として位置づけられると考えます。このため、地域住民の方が撤廃を望む現計画の大幅な見直しと十分な話し合いを望みます。 本計画は持続可能な開発目標＝SDGS の取り組みの一貫で起案されていると考えます。このような取り組みに大資本を投じる場合の最も重要で不可避な取り組みは「相互理解のための話し合い」です。結果として予定していた計画が大幅な変更や撤回があったとしても、そこには「当事者（ステークホルダー）の間でつながりというかけがえのない資産」が生まれます。すでに宮城県では大規模風力発電計画が事業者と地域住民、行政との話し合いにより、完全撤回されたという事例もあります。 是非、その事例を研究してください。 私は当事者とのつながりがありますので、おつなぎすることも可能です。 大局を共有して十分な話し合いを行う姿勢を強く希望します。	地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう努めてまいります。

表 2-1 (32) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
207	仁山高原に巨大風力発電を作らないでください。 自然環境の破壊や、地域住民の健康を脅かすことにつながるからです。 数年前、私の住む福島町で、私の親戚が、小高いところへ畑仕事に出かけた時に、クマに襲われ、なくなりました。 熊が、今各地で人里まで降りて来て、私たちの生活を脅かしています こんなクマの行動も、人間による自然環境の破壊と関係あると思います。 どうぞ、自然環境を破壊するようなことは、しないでください。 よろしくお願いします。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。
208	七飯町に住んでのに今回の事何も知りませんでした。 先日友人から聞いて初めて知りました。 再度説明会して欲しいです。	今回は本事業の方法書について説明会を開催しましたが、準備書段階でも説明会を実施いたします。別途、地域住民の方々に事業についてご理解を深める場を設けることも検討しております。
209	昨今、ソーラーパネル設置での環境破壊が問題視されております。 環境に優しいとのうたい文句で始まったソーラーパネルですが、使用期限、廃棄処理の問題、製造コストと廃棄処理費を考慮した上での費用対効果や現実問題として環境を破壊しての建設に至っている事自体がソーラーパネルは環境に優しいに既に反した商業主義的動向に至っております。 メガソーラー設置において、中国利権なども問題視されておりますが、環境破壊を加速させるソーラーパネル設置を推し進める正当な理由とは一体なんなのか疑問しかありません。 本当の意味で持続可能な環境に優しい社会を構築して行くことを早急に進めて行くことが急務である時代に逆行した環境破壊を推し進めるソーラーパネル設置に対し断固として反対します。 より良い未来を後世に残す為にも、目先の利益に目を奪われることなく、利権などの圧力に屈することなく自然環境をより良く残し作ってゆく方向へ尽力されることを切に願います。	本事業は風力発電事業であり、ソーラーパネルは設置いたしません。 なお、本事業の計画を進めるに当たり、本事業による自然環境及び生活環境への影響について予測及び評価を実施し、可能な限り影響の回避又は極力低減いたします。
210	動物たちの住んでいるところに風力発電装置の設置は動物虐待でありますので、どうか設置を許可ならぬよう、よろしくお願いいたします。	本事業による動物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画とし、動物との共存を図ってまいります。
211	今現在すでに賄えている電力をなぜ大規模な自然破壊をしてまで増やす必要があるのですか？ 上部だけで地域住民のことを全く考えておらず、苦しめてまで利権に走る企業を応援する気にはなれません。 貴社にはもっと他に先に向き合わなければいけない事案が山ほどあるのでは？	今後、現地調査を行い、事業による影響を予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は低減を図るとともに、地域住民の方々のご理解をいただけるよう、計画を検討してまいります。
212	巨大な施設による環境破壊が危惧されます。 一度破壊されるともとに戻りません。開発は止めてください。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。
213	太陽光パネルは負の遺産になります。子ども達に残すわけにはいきません。	本事業は風力発電事業であり、太陽光パネルは設置いたしません。 なお、本事業の計画を進めるに当たり、本事業による自然環境及び生活環境への影響について予測及び評価を実施し、可能な限り影響の回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (33) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
214	仁山高原での巨大風力発電建設に反対します。 理由？例え、地球規模で進む地球温暖化対策として自然エネルギーを推進するためであっても、北海道の他の多くの地域と同様、仁山高原の豊かな自然を少しでも壊す必要はないからです。自然エネルギーを使いたい方には、コストも軽く、自然にも負荷のかからない自然エネルギーの地産地消をお勧めするのはいかがでしょうか。 理由？仁山高原で巨大風力発電を建設する貴社の目的を拝見させていただき、すばらしいと思いましたが、実のところどうなのでしょう。他の企業様の中には「利益を上げられるから」、「利率のいい投資先だから」という目的も見聞きしています。 特に貴社の目的の一つである「地球温暖化対策」のためであれば、森林を伐採し温暖化を進めてまでも巨大風車を作るのではなく、他の目的でもある「エネルギー自給率等の向上」のためにもエネルギー利用をいかに減らすかが重要なのではないのでしょうか。 理由？もし建設された場合、風力発電の耐用年数はおおよそ 20 年と言われています。20 年後までと言わず、何か故障や倒壊などあった場合すぐに対応していただけるのでしょうか。また併せて 20 年後確実に撤去してもらえる補償が担保されているか不確実です。 貴社の建設目的の一つである「地域貢献」は成し遂げられるか疑問です。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。 現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。 また、本事業は国からの事業認定を取得する想定ですが、制度の中で事業廃止時に必要な費用を積み立てることとなっておりますので、制度に沿って撤去費用を積み立てる方針です。
215	事業中止により、動物たちと住民の方々の暮らしが守られることを願っています。 人類の存続にもかかわる気候変動対策として、今ある自然を守っていくことに取り組んでいく必要があると思います。 質問です：この事業が実行されることによりおおよそ何本の木が伐採されるのですか？	伐採する樹木の本数につきましては、今後の事業計画検討後に算出いたします。
216	風力発電反対！	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
217	自然豊かなこの恵まれた大地の恩恵を受けて私たちは生きているのに、一部の人間の利便性と富を求めた風力発電建設は許されるものではありません。断固反対です！	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。
218	育った町の自然や環境が破壊されるのは許せません。今後七飯町の町おこしをします。豊かな自然を奪わないでください。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。
219	未来の子供達に自然を残したい。 健康被害が怖い。 建設したとして、20 年後、自然破壊、健康被害、撤去等、問題が起きた時、誰が責任をとってくれるのか。 自然が壊され、住民が健康被害にあい、解決策もないままになる未来になるとしか思えません。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。

表 2-1 (34) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
220	風力発電には多くの問題があります 低周波による振動はもちろんですが、特に大沼には白鳥等の渡り鳥が飛来するので、パードストライクも懸念されます また建設後の設備の維持・管理、老朽化後の撤去費用など課題は多く、私は地熱、水力以外の再生可能エネルギー（太陽光含む）発電全般に懐疑的な立場です これ以上、将来世代に負担を残すような設備は作らないで欲しいです	本事業による自然環境及び騒音等の生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。 なお、風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。 建設後は、法令に従い設備の維持・管理に努めます。 また、事業廃止時に必要な費用を積み立て、事業終了時は撤去いたします。
221	一度壊した自然は戻りません。これからは壊すことではなく守っていく時代だと思います。 未来の地球、子供たち、動物たちのため人間が考え動くことが大切です。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画とし、動植物との共存を図ってまいります。
222	奥地森林や森林尾根部での再エネ事業開発の場合、土砂の流出、水源地の破壊などは流域全体だけではなく海にまで影響が及びます。 また、低周波音は10?先でも影響があると言われており、風車から発する騒音、低周波音や超低周波音による健康被害として、睡眠障害、睡眠遮断、頭痛、耳鳴り、めまい、吐き気、かすみ目、頻拍、イライラ、集中力や記憶力の異常などの報告があり、重低音や低周波音は遮音壁やガラスでは防げません。健康被害が出た場合20年間我慢して暮らし続けるか引越すしかありません。 この様な健康被害や苦情を訴えたときに、事業者はどのような対応、補償をしてくれるのでしょうか。それとも「気のせいだから我慢するべきだ」というのでしょうか。	本事業による自然環境への影響については、今後現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 また、風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。 本事業の周辺住民の方から健康被害に関するご意見をいただいた場合、詳細調査のうえ、必要に応じて個別に対応策を検討します。
223	また、自然生態系への問題は事業地からの近さとは関係なく、また周辺住民だけに限られるものでもありません。北海道の貴重な自然林は日本の貴重な財産、宝です。 自然生態系の一部である動物や森にあたえる影響として、風車が激しく回転するようになると、音を嫌って動物たちが山から麓へ下りてくる（イノシシ、熊など）動物が狂暴化するという報告も聞きます。風車に野鳥が巻き込まれて殺されるパードストライクの問題。森を伐採すれば、今のような森に戻るのに最低400年かかる。ましてや今と同じ生態系の森に戻る事は不可能です。	本事業による自然環境への影響については、今後現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
224	色々な問題が山積する風力発電事業で自然を大きく破壊するリスクに対して、台風の時は発電ができず、大風のときは停電する。そのために電力がたりないときは火力発電や原子力発電で補わなければいけない。逆に電力がいらないのに作りすぎてしまうオーバーフローが起きてしまう。このように電力供給の安定性が無いものの為に自然が破壊され再生可能エネルギーの名のもとに風力発電施設の開発が無秩序にすすめられることは看過できない。 これは投資家による自然再生エネルギーの推進という大義名分を掲げての投機である。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。 環境影響評価法に則って環境影響に対する調査、予測及び評価を行い、影響を回避又は極力低減するような事業計画を検討いたします。

表 2-1 (35) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
225	「特別目的会社」や「合同会社」が事業をおこなう場合、倒産した場合でも出資金の額しか責任を負わなくて済むので、地主や地元にとっては圧倒的に不利になる。 倒産した場合、簡単に事業者側が撤退できてしまう。 以上のようなことを防ぐ為にも、本当に自然再生エネルギーの推進というのであれば、実際の大型風力発電の設計寿命年数 20 年、撤去費用は一台当たり数億円かかる。これの原状回復費用の一括供託を自治体へ必須として下さい。	本事業は国から事業計画の認定取得想定 of 事業となりますが、事業計画の認定に際しましては、事業廃止時に必要な費用を積み立てることが認定の条件となっております。制度上、撤去費用の積み立ては確実になされた上での事業となります。
226	以上のことを踏まえて、もう一度以下の？と？を加えた住民説明会を開催しその場で質疑応答をしてほしいです。 ？希望があれば、流域から海に至るまでその再エネ事業によって影響を受けることが考えられるすべての住民に参加してもらおう。 ？住民から希望があれば、地域住民の選んだ専門家や自然保護団体に参加してもらおう。	住民説明会につきましては、制限なく希望される方皆様ご参加いただけるものとなっておりますので、ご参加いただきご意見いただけますと幸いです。
227	・山にのぼる時、うるさくならないですか。 ・けしきが変わるくなくと思います。 ・木が切られるのが心配です。 ・スキーができるか心配です。 ・再生可能エネルギーを作るのに木を切ったら意味が無いと思います。 ・工事の音はうるさくないですか。 ・自然が少なくならないか心配です。 ・危なくないですか。 ・山菜などをとれなくならないですか。 ・冬はどうするのですか。 ・山がくずれませんか。 (裏へ) 裏側に書いてある理由があるので、風車を作ってほしくないです。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減し、事業計画を検討いたします。
228	(七飯町再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドラインを読んで) 以下、調査についての質問と情報をメモします。 ・吹付種子は在来種をできるだけ用いる（よくある表現です）とありますが、どれくらい「できるだけ」なののでしょうか。	吹付緑化の種子配合は今後検討いたしますが、先行事業において在来種配合率約 45%での施工実績があります。
229	・クマゲラはスキー場から大沼方面へ飛翔している姿や鳴き声を複数回確認しています。 ・アズマヒキガエルは近所に生息しています（みんな知っています。） ・オジロワシは、渡りの時期に普通に上空を飛んでいます。 ・冬季にはフクロウ類が上空を飛翔しているのを目視しています。 ・私たちは、移住組で 7 年しか仁山に住んでいませんが、代々ここに住む人たちは、自然に関してあらゆることを知っています。何十年も自然とともに暮らしています。調査員は住民への聞き取り調査もした方がよいと思います。 ・エゾサンショウウオは仁山では見ていませんが、探せばいそうだなあ・・・くらいには感じています。 ・鳥類の調査時間は何時間でしょうか。 ・両生類の歩くルートについて、設置予定範囲をくまなく歩かないと意味のある調査結果は得られないのではないのでしょうか。予定地の水辺はすべて網羅するのですか。	地元における環境情報を共有いただき、ありがとうございます。今後の動物、植物及び生態系の調査については、いただきました情報も参考にしながら、現地状況等も考慮しつつ、方法書にてお示ししている手法を基に進めてまいります。 なお、鳥類の 1 日あたりの調査時間としては 8 時間を基本としております。活動が活発になる早朝等も含めて調査を実施し、当該地域の鳥類相の把握に努めてまいります。 また、爬虫類・両生類の調査における踏査ルートとして、方法書には、林道等の現時点で確実に踏査可能なルートを示しております。実際に調査に入る際には、風力発電機の設置予定範囲等の改変箇所を網羅できるように踏査することを予定しております。その中で確認された水辺についても調査を実施いたします。

表 2-1 (36) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
230	町民です。仁山に住んでいます。夫といっしょに3人の子供を育てています。地域の人は優しく温かく、自然は豊かで、子どもたちがのびのびと育っています。人が作る風車の耐用年数は25年と書いてあるのを読みました。25年後、今7歳の子は32歳、9歳の子は34歳、11歳の子は36歳になっています。どんな25年後になっているのか想像しました。回らない風車のある過疎地になっているのか。子供を連れて帰ってきたい土地になっているのか、家族で住み続けたい地域であるのか・・・。 説明会に参加しました。膨大なHPの報告書も一度目を通しました。仕事に子育てに目まぐるしい日常の中で時間を作りました。たまたま気が付いたのでできました。 過去に環境コンサルタントの下請けの調査会社で働いた経験があります。仕事の忙しさ、事業に関わる予算、仕事の進め方も知っています。以前は地域住民に説明する立場でしたが、今回は地域住民として風力発電の建設に反対する立場をとります。以前の自分のことも思い出しながら書いています。 調査に関しては、外部に説明するためには十分な量の資料があるので、正直、ここまでお金をかけてまとめている時点で、もう事業が止めるの難しいかもしれない、と不安です。 後は、「この地域は面倒だから、事業は他の場所へ移そう。」と思ってもらうしかないのか、などとも考えます。七飯町の峠下・仁山地区に住んでいる人は、地域と自然をこよなく愛し、地域同士のつながりも強く、困っている人がいたら助けよう、自分たちの暮らしは自分たちで作ろう・守ろう、という意識の高い人たちが多く感じています。本当に事業を実施するなら、自然環境や騒音、風力だけではなく、住民の意識、集団の心理状態、子供たちへの影響、地域の将来に関してアセスメントを行うべきだと考えています。 事業予定地は私有地で、持ち主も高齢のため、有効利用することが双方の利益のためなのだ、という考えもお持ちなのかもしれません。これについては、七飯町と住民が話し合って決める問題で、地域の自然はみんなの財産だという考えに立てば、そこへ風車を立てることは、事業者が私たちを助けていることにはならないのです。これは私たち地域住民が考えていく問題で、事業者の問題ではないのです。私たちの動きを見守ってください。 貴社のHPに、「地域とともに歩んできた鉄道会社のグループ企業として、地域振興に本気で取り組む覚悟がある」とありました。この風力発電のエネルギーは七飯町で使われるわけではないのです。企業の利益になる電力をなぜ、私たちの土地の自然を破壊して作るのでしょうか。子供たちに胸をはって説明できないことをしてほしいのです。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 現地調査や予測評価の結果において、環境影響が甚大となる場合は、事業計画につきましても検討してまいります。 また、引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、地域住民の皆様本事業計画について御理解いただけるよう努めてまいります。
231	建設することで、七飯町にどのようなメリットがあるか？ (人、動物、環境、お金) などなど 建設することで考えられるデメリットは？(デメリットに対してどう対策していくか？) 再度説明会を開催して頂き、メリットもデメリットも知りたいです。	一般に風力発電事業により自治体の税収増や新規雇用の創出等、地域の活性化に貢献できるものと考えますが、具体的な地域貢献策については、事業計画の熟度にあわせて関係者とも協議しながら検討してまいります。

表 2-1 (37) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
232	どうか、誠実な対応をお願いします。地域振興に本気で取り組む覚悟があたりでしたら、地域の未来を真剣に社内で討議し、計画の中止も視野に事業を進めてください。説明会に来ていた若い人達も巻き込んで議論をしてください。若い人にとって必要なのは、給料だけではないはずです。自分の人生設計を考えるためにも、現地地域住民の暮らしを考えることは大切な時間であるはずです。 よろしくお願いします。	関係市町、地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう確認努めてまいります。
233	私は住まいは少し遠いですが、七飯町に住んでいる知人が 10 人以上います。建設計画がある場所はオジロワシなど希少動物が生息していない地域とデータにあるようですが、陸続き、空は境界が無く、単に確認されていないだけで生息している可能性は考えられます。 多分、今まで建設されている地域でも、生息区域ではないという場所に建設されたと思うのですが、バードストライクが発生しています。そこはどのようにお考えでしょうか？	「環境アセスメントデータベース (EADAS)」による注意喚起メッシュの情報を方法書 3.1-36 ページ、図 3.1-17 に掲載しておりますが、風力発電機の設置予定範囲を含むメッシュには情報が無いとされているものの、搬入路にあたる部分の対象事業実施区域を含むメッシュには、クマタカ及びオジロワシの生息分布地であることが示されております。また、隣接する他のメッシュも注意喚起レベル B～C に該当していることから、対象事業実施区域及びその周囲に希少猛禽類が生息する可能性はあるものと考えております。それも踏まえて、方法書に記載させていただいたとおり、希少猛禽類に特化した調査を実施することといたしました。 また、バードストライクにつきましては、現地において鳥類調査を行った上で、風車への衝突の可能性に関しては「鳥類等に関する風力発電施設立地適正化のための手引き（環境省）」に基づき、定量的な予測を行います。その結果等を踏まえ、バードストライクに係る事業実施による影響の程度を検討してまいります。
234	また、低周波について、すぐに人や動物に影響は表れないかもしれませんが、長い時間かけて身体への健康被害が世界各国で報告されていると聞いたことがあります。 皆が幸せになるなら良いですが、今は建設には慎重な検討を求めます。	風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりましたが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
235	地球がなければ、人間も動植物も生きていけない中、これから子ども達に綺麗な地球を受け継がせていく為に、今自分が出来る事を考え実践している最中で、自然破壊という事は地球に対しても動植物に対しても罪になると思いました。 今まで無知だったゆえに、自然破壊がどういう結果を招くのかわからなかった事もたくさんあり、恥ずかしく思い、また申し訳なくも思いました。 無知は罪だなぁ。と深く腑にも落ちました。 私達は、生かされているという事を忘れ、傲慢にも人間が 1 番となってしまう事に反省しなければいけないのではないかと思います。 便利な世の中になってしまった分、本当の幸せがわからなくなってしまった事に危惧しています。 今だけ良ければいい、お金を稼げればいい、自分さえ良ければいい。という自分にならないようにしたいものです。 よろしくお願い致します。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (38) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
236	自然豊かな七飯町の自然を守りたいです	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。
237	風力発電でどこまで電力が回収できるのかギモンです。 自然豊かな仁山にどこまで必要なのか、不安です。	予定地周辺が風況上の適地と判断し、本事業を計画いたしました。 本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。
238	知らないうちに計画が進み不安に思います 田舎の景観を守りたいと思います	本事業の計画については、段階ごとに説明会を開催し地域の皆様にご報告するとともに、地域住民の方々に事業についてご理解を深める場を設けることも検討しております。 また、本事業による生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。
239	七飯町に風力発電ができるのがざんねんでなりません、ゆたかな自然と動物達のいとなみをこわさないでいただきたいです お願いします	本事業による動物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画とし、動物との共存を図ってまいります。
240	確実に自然環境がこわれてしまうと思います。 人間の都合でたった 20 年間のために、 地球の未来を破壊しないで下さい。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。
241	いっぱい電気を使う JR さんがどうして自社の土地に発電施設を作らないのでしょうか。環境保全を考えた時に思った最初のことです。 発電後の送電ロスも環境を破カイすることなく行うことできるのに。 お金のためなのでしょうが。 環境保全といえば作らないことがいちばんです。 わからないことが多いので再度説明会をして下さい。	風力発電事業の計画は、風況、社会インフラ整備の状況や法令の制約状況、環境保全上留意が必要な場所等を総合的に判断し、適地を選定しております。
242	個人的に自然をきり開いて大きな風力発電がたつのはいやだし、もっと住民の人たちと話し合って進めてほしいです。 自然電力って必要ですか？	地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して、風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進することは必要な事業であると考えております。現地調査結果をもとに予測及び評価を実施し、可能な限り本事業の影響を回避又は極力低減を図る事業計画とし、地域住民の方のご理解を得られるよう進めてまいります。
243	私は今現在、東京に住んでいます。 20 才まで七飯で過ごしました。インドア派ではありませんでしたが、たまには友人と自転車で遠出する事もあり自然を感じていました。 ところが、この度、風力発電の話しを聞き驚いています。何しろ私は免許はあるものの車は空気汚染につながるために乗らないと決めているくらいなのです。つまりこの地球をだめにする物は好きにはなれないので 反対なのです。昔のままの七飯であって欲しい。 悪影響がひとつも無いなら良いが、そんなわけには行かないと思うので止めて欲しいと思います。	地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。
244	反対です!!	地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。

表 2-1 (39) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
245	大切な自然をなくしてまで、発電を優先する必要はないと考えています。 未来の子どもたちのために、今ある自然をそのまま残せるような政策を考えて欲しいと思います。	地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して、風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進することは必要な事業であると考えております。本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画とし、動植物との共存を図ってまいります。
246	必要ない施設と思う 他にやらなければならない事が多くある 例えば消費電力 エネルギーの削減や節電	第 7 次エネルギー計画策定に向けた議論が始まっていますが、脱炭素エネルギー源やエネルギー安全保障の観点から風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進することは必要な事業であると考えております。
247	多大なる環境破壊と人の暮らしへの悪影響をもたらすこの事業に反対いたします。 事業中止により、北海道の大自然と住民の方々の暮らしが守られることを切に願います。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減に努めます。
248	自然環境への影響 仁山高原は多様な生態系を持つ貴重な自然環境です。この地域には熊や野鳥など多くの野生動物が生息しており、風力発電の建設により野生動物の生息地が脅かされることは避けられません。一度破壊された自然は元に戻ることはありません。私たちの未来、そして子供たちや動物たちのためにも、自然を壊すのではなく守る時代に進むべきだと考えます。 水源涵養保安林への影響 建設予定地には私有水源涵養保安林が含まれており、ここからの湧き水を利用している農家への影響が懸念されています。七飯町の豊かな水資源は、地域の農業を支える重要な要素です。この水源が汚染されることは、地域全体の生活に深刻な影響を与えます。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画とし、動植物との共存を図ってまいります。 対象事業実施区域内の水源涵養保安林における湧水の農業への利用状況については、地権者にヒアリングの上、状況を把握し、必要に応じ、対策を検討いたします。
249	再エネに移行する時代でみんなが試行錯誤してると思いますが、誰かの声を犠牲にして推し進めても明るい未来は無いと思います。 地元の人たちの声を大切に、大規模すぎず、地産地消で分散型の、共存しあえる範囲で少しずつ変化してほしいです。 現時点では、反対の声も多く、一度立ち止まり、計画の見直しを要望します。	地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。
250	函館市民ですが、隣町の七飯町が大好きです。道外道内からも素晴らしい環境を求めて移住してきたりする方が多数いますよね。風力発電を建てる為に森林を伐採する事や、発電による電磁波などの悪影響、風が無ければ発電しないこと。など、道南地域でも多数失敗事例があり、デメリットが沢山あるのに、今更新たな風力発電を設置する目的は一体何なのでしょう。七飯町の素晴らしい自然を破壊するような事はお辞め頂きたいと思います。いかに自然と共存し、次世代に残していくか、考えた事はおられるのでしょうか。ご自身の子供を風力発電のすぐ側に住まわせられますか。	今後、現地調査結果をもとに予測及び評価を実施し、可能な限り本事業の影響を回避又は極力低減に努め、地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。
251	飲食店を始めている立場として、風力発電の開発には断固反対させていただきます。 低周波による人への健康被害が解決されていない点のほか、野生動物だけでなく虫類の生態系にも影響を及ぼします。七飯の農作物や林業、せっかく盛り上がってきているワイナリー、関連する事業者にも影響を及ぼします。温暖化により、一次産業の生産性は著しく変わっています。その上で土地開発によって物理的に自然を大きく減らすことは、道南の貴重な資源、名産品を失うことに繋がります。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画といたします。

表 2-1 (40) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
252	再生可能エネルギーの推進が急務なことは理解できます。ただ何のための脱炭素なのかを忘れてはいけません。人間のためだけの未来を思い描く風力発電なら、必要ない。もっと大きな視野で豊かな七飯町の未来を思い描いていきたいです。仁山高原への風力発電開発に反対します。	化石燃料使用による電力供給に頼るのではなく、地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して、再生可能エネルギーの導入のため風況適地において風力発電事業を検討することは必要なことだと考えております。 今後、現地調査結果をもとに予測及び評価を実施し、可能な限り本事業の影響を回避又は極力低減に努めてまいります。
253	人間は自然の中に住まわせて頂いている存在。人間だけの考えで自然環境を壊すのは傲慢の極み。これ以上、自然環境を破壊して人間だけが住みやすい場所を求めるよりも、多少不便でも自然豊かな場所を守り人間はもっと謙虚に生きるべき。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画とし、動植物との共存を図ってまいります。
254	豊かな生態系を壊さないで下さい。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減を図る事業計画とし、動植物との共存を図ってまいります。
255	工事を進めるにあたって、町民への説明会をもっと開いて頂きたいです。 工事によって失われる自然を、取り戻す事は大変な事です。もっと慎重に進めてほしいです。風力発電による経済効果も知りたいです。 もし、風力発電の風車が、老朽化して、使えなくなった後は、どのように処理・処分されるのでしょうか？知りたいです。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 一般に風力発電事業により自治体の税收増や新規雇用の創出等、地域の活性化に貢献できるものと考えますが、具体的な地域貢献策については、事業計画の熟度にあわせて関係者とも協議しながら地域住民の皆さまにご理解をいただける方法を検討してまいります。 本事業を終了する場合については、廃止した風力発電施設は撤去し、関係機関とも協議し、原状復帰することを基本といたします。撤去時に発生する廃棄物については、可能な限り有効利用に努め、有効利用が困難なものについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて適正に処理・処分いたします。引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
256	風力発電についての勉強会に参加させていただき、自然へのリスクについて学びました。自分はじゅんさい沼でじゅんさい採りやワカサギ釣りの手伝いをしているので環境の変化はとても困ります。人類の存続をしっかりとみすえた選択をしていかなくてはいけないと思い、この工事計画はストップ願います。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
257	地域の自然がこわれていくのは <u>しのびない</u> 。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
258	地元で説明会をして下さい。 町民にわかるような告知をお願いします。 何も知らないまま計画が進められてしまうのは嫌です。	七飯町および関係自治体にて全 6 回の説明会を開催させていただきました。説明会の開催案内につきましては、引き続き関係自治体と協議の上、広く周知を行えるよう検討してまいります。
259	自然の中で育まれる「生命」は多様です。ひとつひとつの「生命」は、とても大切なモノ・・・私達も“ひとつ”の生命です！ みんなで大切にしながら自分たちもそれぞれの「生命」と向き合う事の大事さを思っています。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
260	反対します。	今後も、地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう努めてまいります。

表 2-1(41) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
261	低周波音による人体（動物）への影響があるため。	本事業による動物を含む自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 なお、風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
262	自然環境をこわさないで。 地球が泣いています・・・	本事業は既設の発電設備等の用地や既存林道等を用いることにより、自然環境への影響を可能な限り低減する方針としておりますが、今後の調査、予測及び評価の結果も踏まえて変更区域を最小限に抑える方針です。
263	本当に仁山高原に風力発電が必要なんですか。 反対します。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。 本事業では風況に恵まれた本地域における風力エネルギーを利用し、事業を通して地域貢献及び地域活性化等に与することを目的としております。
264	説明は、やられたようですが、何も知らない町民が多く、私も知りませんでした。気候変動で地球が危ないといわれている今、仁山の風力発電計画は、十分な調査が行われたのでしょうか？ 風車設置所の木の伐採、資材を運び込む道路づくり、ボーリングによる水源の切断、工事などによる山火事の発生、動物の生息への影響、地域住民への騒音、崖くずれなど環境の変化による影響等々。 経済効果が、最優先される事に、疑問を持ちます。 長い目でみて、後の子供達によいことなのでしょう	七飯町および関係自治体にて全 6 回の説明会を開催させていただきました。 説明会の開催案内につきましては、引き続き関係自治体と協議の上、広く周知を行えるよう検討してまいります。 また、本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施いたします。調査の結果を踏まえて環境影響を可能な限り回避又は低減するよう努めます。また、その結果は準備書にお示しします。今後も、地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。
265	知らないうちに計画が進みとても不安です。 反対です。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
266	鳥さん達が好きで、導いてくれたり勇気づけてくれたりいやしてくれたり、みんな地球を大切に思ってるって、もっと気づいて欲しい。感謝しながら共に豊かな選択をしていきたい。風力発電は反対です。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
267	自然災害が起きる可能性が大なので、反対です。	建設に当たっては、関係する所管部署にて工事内容、建築物の構造、安全対策・環境保全対策等の審査を受け、安全性を十分確保した工事を実施いたします。
268	立ち止まろう いっしょに考えよう あなたと話がしたいです	地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。
269	反対です。	引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
270	自然豊かな仁山が守られるように願っています。	本事業による動植物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (42) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
271	・知らないうちに計画されていた事におどろきました。 ・町だけではなく近隣にも知らせる事は必要と思います。 ・建設までにかかる工事の大きさに自然を守るとは考えられません。 ・野生動物との共生をもっと大切に考えてほしい。 ・振動、音、他 身体への影響が心配。 ・住民に対する説明が少なすぎる。 ・美しい景観の中に巨大な人工物は必要ない。 ・国定公園のすぐそばにできるのは不自然ではないか。 ・地権者の責任についてはどうなっているのか。 ・水源涵養保安林の重要性についてもっと慎重にしてほしい。 ・住民の意見は反映されているのか？	方法書の縦覧及び住民説明会については、七飯町をはじめとする関係市町にて実施させていただきました。 説明会の開催案内につきましては、引き続き関係自治体と協議の上、広く周知を行えるよう検討してまいります。 また、本事業による動植物を含む自然環境及び生活環境等の影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減に努め、準備書にて結果をお示しいたします。 今後も、地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。
272	・健康被害を懸念しています。 ・長期にわたる振動や騒音被害	風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
273	仁山が北斗・七飯の自然のかなめだと聞きました。豊かな自然を未来の子ども達につなげていきたいです。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減に努めます。
274	建築、また稼働に伴って、自然破壊が心配です。電力は足りていると聞いてますので、今、風力発電を仁山で行う必要はないと思います。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。 本事業は風況に恵まれたこの地域の風力エネルギーを利用し、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的として実施いたします。 また、本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
275	建設の場所によっては広域で説明会を開いてほしい	説明会の開催場所につきましては、引き続き関係自治体と協議の上、住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
276	説明会をもっと回数多く開催して、メリットを勉強する機会をつくってください。 また、実際に建設した地域の住民の方や行政の方からもメリットとデメリットをもっと知りたいです。 質問は、17年の耐用年数は短いと思うのですが、17年であれだけ大きいブレードや土台を解体したり分解したり撤去したりする費用や環境への影響（ゴミにならないのか？）等も考えたときに、本当に環境にやさしいエネルギーなのか、よくわかりません。	本事業で使用する風力発電機の耐用年数は25年の見込みです。 事業を終了する際の撤去時に発生する廃棄物については、可能な限り有効利用に努め、有効利用が困難なものについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて適正に処理・処分いたします。 引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。

表 2-1 (43) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
277	風力発電計画は、小河川及沢を影響のない考え方と 思われるが、運搬路や管理道路を造成により、土砂崩 等により、水質に心配が出て来る。(追加：久根別川 及び大沼、小沼の水質が心配である。 再度、説明会を開いて、ほしい。	水への影響を含めた、本事業による自然環境及び生 活環境への影響については、今後、現地調査を行い、 予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は低減い たします。また、結果につきましては準備書でお示 し、環境影響評価手続きにおける住民説明会にて説 明させていただきます。
278	そんなに年中風が無い地域に風力発電を設置する意 味がわからない。大切な森林をつぶして、その後水 源、土砂災害等の影響、不安しかありません。 風力発電には反対します。	本事業は好風況が見込まれる仁山高原を対象事業実 施区域としております。 建設に当たっては、関係する所管部署にて工事内容、 建築物の構造、安全対策・環境保全対策等の審査を受 け、安全性を十分確保した工事を実施いたします。 また、本事業による動植物を含む自然環境への影響 については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を 実施し、可能な限り回避又は低減いたします。
279	何年も前からバードストライクの被害のニュースは 見てきた 設置する際、多くのCO ₂ が発生する。メンテにもCO ₂ 発生 全くクリーンエネルギーとは言えない ひっそり進められる計画には不信感がつのるばかり 健康被害が出た、災害が発生した場合責任は取れる のか？ 子供世代のためにも風力発電には反対する。	風力発電施設の規模にもよりますが、一般的には建 設に要するエネルギー（資機材調達、施設建設工事） は、原子力、火力、水力等の発電施設建設に比べはる かに小さいと考えられます。これは、再生可能エネル ギーとしての風力発電の大きな利点の一つです。 建設に当たっては、関係する所管部署にて工事内容、 建築物の構造、安全対策・環境保全対策等の審査を受 け、安全性を十分確保した工事を実施いたします。 また、本事業による動植物を含む自然環境及び生活 環境への影響については、今後、現地調査を行い、予 測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減 いたします。バードストライクにつきましては、現地 において鳥類調査を行った上、風車への衝突の可能 性に関しては、「鳥類等に関する 風力発電施設立地 適正化のための手引き（環境省）」に基づき、定量的 な予測を行います。 引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事 業計画についてご理解いただけるよう努めます。
280	七飯町の自然を壊し、生態系をゆがめる風力発電の 計画は反対です!!! 説明会を住民にしっかり告知するべきです。 計画を知らない住民が多数です。 健康被害が出てからでは手遅れです。	人の生活環境への影響、動植物への影響は、今後、現 地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しし ます。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事 業計画の見直しを行い、住民の皆様、自然環境への影 響等を極力回避あるいは低減する計画といたしま す。 七飯町および関係自治体にて全 6 回の説明会を開催 させていただきました。説明会の開催に際しまして は、引き続き関係自治体と協議の上、広く周知を行 い、本事業計画についてご理解いただけるよう努め ます。
281	七飯町のすばらしい自然をこの先もずっと残してほ しい どうしてそれを願ってもこうして人は目先の利益ば かりのために、二度と戻らない自然をこわすのか…。 20 年ほどと言われている風力発電ですが、こわれた りした場合はどうするのか？ 直せませんよね？ どうか考えてほしいです。	化石燃料ではなく再生可能エネルギーによる電力供 給の比率を向上させることは、地球温暖化等気候変 動の影響の低減を目指す国の政策とも合致するもの であり、重要なものと考えております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響につい ては、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、 可能な限り回避又は極力低減いたします。 本事業で使用する風力発電機の耐用年数は 25 年の見 込みとなります。発電所の稼働中は、電気事業法や関 連規則等を遵守し、定期的にメンテナンスを行い、施 設を適正に維持管理を行います。また、事業を終了す る場合については、廃止した風力発電施設は撤去し、 関係機関とも協議し、原状復帰することを基本とい たします。

表 2-1 (44) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
282	1. 再生可能エネルギーはすすめるべきだと思いますが、環境破壊がすすむことは、どうなるのでしょうか？ 保有林、大沼との関係など不安がいっぱいです。 2. 町民に十分わかるように、納得できるように説明会をすべき。今のままでは、わからないまますすむ。 3. 事業期間 20 年となれば、次世代にも不安と負担を残すことになりませんか？特に低周波は、深刻です。人によっては、程度は、変わりますが、どんなに少ない数であっても、訴えはきける、実態を調査するシステムを作ってください。	1. 風力発電施設の規模にもよりますが、一般的には建設に要するエネルギー（資機材調達、施設建設工事）は、原子力、火力、水力等の発電施設建設に比べはるかに小さいと考えられます。これは、再生可能エネルギーとしての風力発電の大きな利点の一つです。また、本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 2. 引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。 3. 次世代のため、地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進することは、国の政策に合致するものと考えております。風力発電機稼働時は、騒音・超低周波音（低周波音も含まれます）が発生しますが、その影響については、調査、予測及び評価を行い、準備書にお示しします。国、自治体に審査を頂き、必要であれば事業計画の見直しを行い、住民の皆様、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
283	この自然豊かな広大な土地を風力発電のために破壊してしまうことには反対致します。近隣住民への健康被害も考えられます。子供の発育に低周波が悪影響を与える可能性も不明で心配です。 住民の多くの方が不安な気持ちになっております。計画を進める前にそのような声と向き合っていたいただけたらと思っております。よろしくお願い致します。	既存の自然環境の保護のため、本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 なお、風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。 引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
284	豊かな自然を守るため、中止を求めます。 目にみえない低周波は悪い影響があります。 こんなすばらしい街を守ってほしいです。	人の生活環境への影響、動植物への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、住民の皆様、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。 なお、超低周波音については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
285	私は地元の住民ではありませんが、仁山は幼い頃から登山をしたり楽しい思い出の多い所です。 風車を立つ事によって、メリットがあるのでしょうか。 そしてこの事業をするのは日本の企業なのでしょうか。 くわしく説明会を開いて下さる様にお願いします。 昔、函館の恵山に風力発電を利用するため風車を立てましたが、失敗し、何年もその風車は動かないまま何年も置かれました。最近ようやく撤去される様です。（撤去するのに高額なのでそのまま何年も置かれていた様です。）	本事業は、風況に恵まれた本地域における風力エネルギーを利用する事業を通して国の政策である再生可能エネルギー導入促進と、地域貢献及び地域活性化等に与することを目的としております。 本事業の事業者は JR 東日本エネルギー開発となります。 引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。

表 2-1 (45) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
286	自然を守りたいです。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
287	事業者の説明をもっとくわしく聞かせてほしい その時は大きな目立つところに広報していただきたい。 その時は微力ながら口コミで近い人に伝えたいと思っています。	引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
288	学習会に参加して、事業者・自治体の説明が聞きたい。 という声がたくさん出てきました。 説明会を再度、開いて下さい。 大沼の水を守ってほしい。	水への影響を含めた、本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
289	仁山高原への風力発電の設置に反対します。 函館や七飯の人間にとって、仁山高原は昔から慣れ親しんだ自然および風景です。 風力発電によって環境が破壊されること、ヒトへの影響も考えれば、 仁山のような身近な場所に設置することは危険極まりないです。 計画を見直してください。よろしくお願いします。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
290	説明会を再度お願いしたいと思います。	引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
291	・自然、景観を守っていききたい。 ・開発はもうやめてほしい。(保安林を守る) ・山にすむ動物を守る。 ・土砂災害の恐れがあること。	野生動物及び景観も含め、本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減するよう努めてまいります。
292	・プロペラによる鳥類などの生物の巻き込まれによって、生態系の破壊が懸念される。 ・工事による森林破壊や掘削などでの草木の減少、近隣住民への騒音、振動などの迷惑 ・プロペラの回転による騒音 ・東京で使う電気を北海道で作ることの地元住民へのメリットがまったくない ・景観が風力発電機により邪魔され、七飯町の魅力である自然豊かな風景が損なわれる。 ・建設による地盤への影響での土砂災害の懸念	・工事の実施及び風力発電機の稼働に伴う騒音や鳥類への影響を含めた、本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 ・本事業は、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的としております。具体的な地域貢献策については、自治体や地元の皆様の御意見を踏まえ、検討を行ってまいります。 ・景観については対象事業実施区域周囲の主要な眺望点や地元住民の皆様が生活される地区を眺望点として選定し、調査、予測及び評価を実施いたします。 ・地盤への影響については、地質調査を実施の上、調査結果や関係機関との協議の結果を踏まえ、安全面を十分に考慮した事業計画を策定してまいります。
293	・仁山の自然が壊れるのが嫌だし、あまりメリットがなさそうだから反対です。 ・仁山の景観には合わない。 ・くわしい説明もないので不安と不満しかありません。 ・説明会を広くなどして色々な人の意見を聞いて下さい。 ・もっと地元の暮らしている人の事を考えて企画した方がいいと思います。 ・鳥や生態系の破壊などの可能性や安全面など。	本事業による自然環境への影響（鳥類及び生態系への影響含む）については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 引き続き住民説明会等で丁寧な説明及び意見聴取を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。

表 2-1 (46) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
294	仁山のしぜんがこわされてしまうのがいやです。かわいい鳥がたくさんいるのであたたたりすると、死んでしまうのでかわいそうです。自分のけんこうにもみんなのけんこうにもかかわっているののでいやです。安心してくらしていきたいです。みんなしぜんをこわされるのがいやなので反対です。	本事業による自然環境への影響（鳥類及び生態系への影響含む）については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
295	「七飯町ゼロカーボン達成目標～再生可能エネルギー導入目標～」の11ページによると、自然環境、景観の観点から地域合意が必要になるので、2030年までは風力発電の導入はしないとしています。今回の計画と矛盾します。よって事業を中止する必要があります。	「七飯町ゼロカーボン達成目標～再生可能エネルギー導入目標～」につきましては、民間事業の導入を妨げる趣旨のものではないと認識しております。引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、地域の皆様に本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
296	北海道は、あちこちで森林破壊されソーラーパネルや風力発電所が建てられています。車から見えるその風景に残念に思います。山から木を伐採してしまうと山の生態系が崩れるだけでなく、山に蓄えられている豊富な栄養が海に流れ海の生態系にも影響を及ぼします。山の存在意義は人間が思う以上のものです。世界規模でみて、これ以上自然を破壊するのは止めなければいけません。自然を守り、自然を増やしていく活動を世界的にする必要があります。どうか風力発電ではない自然に優しい電力をつくり出す方法を考えてください。利益優先の時代から変わっていかないといけない時に来ていると思います。どんなことがあってもこれ以上自然を壊してはいけません。子孫に豊かな自然を残すことが命題ではないのでしょうか。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。今後実施する環境影響評価や測量調査の結果も踏まえ、改変面積を可能な限り小さく留め、地域の自然環境への配慮した、事業計画とするよう、引き続き、検討を進めてまいります。
297	風力発電の建設に断固反対。 経年劣化した後の処分方法まで決めているのか。 処分にもエネルギーを使う。 豊かな森林を伐採して人工物を立て 植物だけでなく野生動物までも住む場所を奪い全くクリーンエネルギーではない。	今後実施する環境影響評価や測量調査の結果も踏まえ、改変面積を可能な限り小さく留め、森林等の地域の自然環境への配慮した、事業計画とするよう、引き続き、検討を進めてまいります。本事業を終了する場合には、廃止した風力発電施設は撤去し、関係機関とも協議し、原状復帰することを基本といたします。撤去時に発生する廃棄物については、可能な限り有効利用に努め、有効利用が困難なものについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて適正に処理・処分いたします。
298	たった事業期間 20 年の為に地域住民を脅かし、生息動物を追いやり、生息動物と人間をケンカさせ、森林を伐採し、土砂災害の可能性を大きくし、湧き水の水路を断ち、健康被害の可能性や実例を無視し、強行しようとするこの事業に何の意味があるのですか？ 近年特に求められている「自然との共生」を掲げる企業理念とは逆行する御社の事業にいったい国からどれだけの補助金がおとりで潤うのですか？ 20 年以降もこの地で生きていく地域住民に負の遺産だけを残し撤退するという御社に憤り以上のものを感じます。 ご存知かと思いますが一度壊した自然は二度と元には戻りません。 次々に起こる自然災害は御社のような会社が引き起こしている人災です。 これもご存知と思いますが、自然を壊してできるエネルギーがクリーンエネルギーだなんて…へそで茶を沸かします。 風力発電事業絶対反対です！！！！	本事業は風況に恵まれたこの地域の風力エネルギーを利用し、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的として実施いたします。なお、事業の計画及び実施に伴う補助金等はありません。今後実施する環境影響評価や測量調査の結果も踏まえ、改変面積を可能な限り小さく留め、地域の自然環境への配慮した、事業計画とするよう、引き続き、検討を進めてまいります。

表 2-1 (47) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
299	自然豊かな七飯町仁山の自然を守りたい 一度手を入れた自然は元に戻らないと思います。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
300	自然豊かな今の景色を守りたい。	景観については対象事業実施区域周囲の主要な眺望点や地元住民の皆様が生活される地区を眺望点として選定し、調査、予測及び評価を実施いたします。
301	知らないうちに計画が進み不安 自然豊かな七飯町仁山にふさわしくない これ以上、地球を汚して欲しくない 自然と共存する事のほうが人間に優しい 自然を楽しむ権利をうばわないで下さい 七飯町だけではなく地球の汚れも守る	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 なお、地域の皆様へは、引き続き住民説明会等で丁寧な説明及びご意見の聴取を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
302	・クマ出没が多いのにこれ以上自然を守らないと共存もできないと思うのですが。 ・そもそも必要ですか？（道南に）メリットは？	・本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 ・本事業は風況に恵まれたこの地域の風力エネルギーを利用し、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的として実施いたします。一般に風力発電事業により自治体の税收増や新規雇用の創出等、地域の活性化に貢献できるものと考えますが、具体的な地域貢献策については、事業計画の熟度にあわせて関係者とも協議しながら地域住民の皆さまにご理解をいただける方法を検討してまいります。
303	クマなどの動物が追いやられて里に下りてくることを考えるとすごく不安です。 また、知らないうちに計画がすすんでいるとことで不安しかなく、子供がいるので、健康被害なども心配です。	自然環境及び地域の皆様が住まわれている生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。
304	こんなに美しく豊かな自然や生態系を壊してまで事業計画を進める事の理解に苦しみます。 長い年月をかけて育まれたこの美しい自然は作ろうとして出来る訳ではありません。代償が大きすぎます。人々や動物達の生活にも必ず良くない影響がでるでしょう。私たちの安心安全な暮らしを守っていききたいです。 風力発電事業に反対します！！	事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。今後実施する環境影響評価や測量調査の結果も踏まえ、改変面積を可能な限り小さく留め、地域の自然環境への配慮した、事業計画とするよう、引き続き、検討を進めてまいります。
305	自然豊かな七飯町仁山の自然に風力発電を建てるのは、子供、農家、動物など影響は、はかり知れません。騒音もあり何かあったときにどのような対応をするのでしょうか。 反対です。 自然をこわさないで下さい。	自然環境及び地域の皆様が住まわれている生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
306	知らないうちに計画があつてびっくりしてます。説明会の機会があつても良いのでは？ 土砂災害が起きた場合は？ 野生動物の場所がなくなるのでは？	地域の皆様へは、引き続き住民説明会等で丁寧な説明及びご意見の聴取を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
307	・大切な木を伐採し環境破壊につながる。 ・クマなどの動植物の住処が奪われてしまう。 ・電磁波の影響を受けてしまう。	・事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
308	環境保全はもちろんのこと、人体への影響も大きいはずです。	本事業による影響については、調査、予測及び評価を行い、準備書にお示しします。その結果から、可能な限り影響の回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (48) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
309	豊かな自然を守り続けてほしいです。 動物・植物の住み家をうばわないでほしい。	事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。今後実施する環境影響評価や測量調査の結果も踏まえ、改変面積を可能な限り小さく留め、地域の自然環境への配慮した、事業計画とするよう、引き続き、検討を進めてまいります。
310	自然を守ってください。	事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。今後実施する環境影響評価や測量調査の結果も踏まえ、改変面積を可能な限り小さく留め、地域の自然環境への配慮した、事業計画とするよう、引き続き、検討を進めてまいります。
311	知人と今回の計画の建設予定地を 2 カ所見に行きました。 流域の先には、それぞれじゅんさい沼と大沼があります。シジュウカラに影響があつて、キタキツネには影響ない？そんなはずはないと思います。 今でさえ、じゅんさい沼は収穫量が減っていますし、計算上による調査で、どこまで分かるのでしょうか？ 説明会に参加できなかった（告知が少なく説明会の存在を知らなかった）ので、ディスカッションができる説明会を開催してほしいです。 そして、七飯町広報に大きく告知してください。でないと、気づくことができません。 よろしくお願いします。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 方法書の住民説明会においては、七飯町広報誌他、各市町村・新聞等にてご案内をさせていただき、全 6 回開催し、本事業についてご理解いただけるよう努めました。今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
312	電力を使って生活している我々にとって、発電施設が不要とは思いませんが、多くのエネルギーを使う大規模工事をして山々を切り崩し、風力発電施設を次々に建設するのは疑問です。 今回の計画を知ると事業者が必要と考えているのは風力発電の「建設工事」なのだと思うざるを得ません。 山の恩恵を受けてくらしている私たち住民にとって、仁山高原に風力発電は不要であり、今と変わらない環境のなかで今までどおり生活させてほしいと思います。	本事業は好風況が見込まれる仁山高原を対象事業実施区域としており、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的として実施いたします。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
313	風車をつくってほしくない理由 ・ 山上ができなくなる。 ・ 虫がいなくなる。 ・ 回ってない風車を回せばいいと思う。 ・ 山の近くの人が山で遊ぶので、風車をつくらない方がいいと思う。 ・ 仁山周辺の人もこれと同じ意見だと思うし、自然はかいなのでやめてください。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
314	ぼくはふうしゃをたてないでほしいです。りゅうはスキーややまのぼりができなくなるかもしれないので山には立ててほしくないです。	本事業による自然環境（人と自然との触れ合いの活動の場を含む）への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
315	・ 大切な森林を壊してまで作らなければならない物なのですか？ ・ 人間にとっても動物にとっても住みよい場所でないといけないと思う。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (49) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
316	風力発電事業について、電力について不安定な現状が続いている事は分かりますが、仁山高原という環境の中で事業をすすめる事について疑問があります。 本当に必要な事業か、次世代の事も考えた上で引き継ぐに足る事業かを、丁寧に検討していただきたいと思います。	本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。
317	風力発電を立ててほしくないです。どう物がいなくなってしまうと山が死んでしまうからです。あと、子どもも、あそんでいるからです。だからぜったいに風力発電立ててほしくありません。	本事業による自然環境（人と自然との触れ合いの活動の場も含む）への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
318	ぜったいに風力発電が立つと公園にあそびにくる子どもたちがあそべなくなってしまうと思います。だから立てないでください。	本事業による自然環境（人と自然との触れ合いの活動の場も含む）への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
319	・仁山は、野鳥がたくさん飛来し、北上する通過点でもあるので、プロペラの羽根に当たって死んでしまう恐れがあり、生態系の崩壊や、種の絶滅につながると思います。 ・住宅地に近すぎるので、騒音等による健康被害が出てしまうと思います。 ・仁山は土砂災害警戒区域に指定されている場所もあり、風力発電を設置する事により、さらに災害のリスクが高くなってしまうと思います。（活断層もたくさんある） ・何よりも、仁山の自然が壊されてしまう事により、健康被害、環境破壊につながってしまうのが嫌です。 ・疲れやストレスから、耳鳴り、めまいを発症してしまうので、その症状に悩まされないか不安です。安心して生活をしたいです。	本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。バードストライクについても予測・評価いたします。 風力発電機設置予定範囲から直近の住宅等までの距離は、約 2.4km の離隔を確保しております。 土砂災害等に対する安全性を十分確保した工事を実施いたします。
320	・地元向けに、説明会を開いてほしい。	今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
321	電気を必要とする場所に設置すべき。 北海道の林野を開発する必要は無い。 電源を開発する企業の為に、地元の環境を変化させるリスクは住民や地域行政に負わせるべきでは無い。一家庭発電を目指すべき。	本事業で発電した電力は北海道電力ネットワーク株式会社へ系統連系することとしております。 今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
322	仁山風力発電計画反対です！ 七飯町の豊かな自然と景観を壊さないでください！ 美味しい水を汚さないでください！ 豊かな自然にあふれたこの街で平和に暮らしたいです！	今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
323	本当に必要なんでしょうか？ 一度壊れた自然は、元には戻りません。 それを壊してまで、設置する必要が本当にあるのでしょうか？	地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進することは必要な対策と考えております。 今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
324	未来の子供達のこと、地球環境のことを考えても私は自然が壊されるのは嫌です。 事業中止により、北海道の大自然と住民の方々の暮らしが守られることを切に願います。	今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
325	生態系を壊さないで	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (50) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
326	自然破壊絶対に反対です。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
327	稼働期間僅か20年のために、ゆっくりと醸成された自然を破壊することは到底容認出来ません。 しかも稼働期間後の計画は決まっていないとは、何といういい加減さでしょうか。 無責任です。 山を守ることは、水、農、暮らしを守ることです。 計画の撤去を希望します。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、結果は準備書にてお示しいたします。
328	仁山は緑豊かで、動植物がいきいきと暮らす場所です。 温暖化が進み、山や森林の重要性がさらに増していく中、それを切り拓いて人工物を設置するのは時代に逆行していると思います。 風力発電事業を撤回してください。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
329	水系、動植物への影響が懸念されます。 もっと十分に調査、話し合いが必要だと思います	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 今後もし引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
330	一部かもしれないが、その自然破壊はわずかな時間で起きてしまう。 取り戻すには、多大な時間を要す。 だから、やめて欲しい。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 今後もし引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
331	絶対に反対します。	今後もし引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
332	長い時間、先人の人々が家族の未来を考え、植林と言うサイクルを続けて下さったお陰で私たちはその恩恵に預かり生活してきました。その山を削ってしまえば山も海も野生動物も私たち人間も生活しにくくなります。それは何を意味するのか腹にすえて考える必要があります。 鉄の塊や危険な物質を含む、風車やソーラーパネルでは自然と調和してはいけません。中止するべきです。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
333	風力発電によるメリットとデメリットを未来を創造する子供達を含めた住民、この土地に住んでいなくても学童などで利用している子ども達を知る機会を作ってください。また、建設予定の風力発電によって、失われる可能性のある生態系についても調査されているものがあれば開示してください。建設されたものは廃棄、修理が容易にできるものでしょうか。 自然の中の河川は人間の体で言うと血液のようなもので、一部が滞ってしまうと体全体に影響を及ぼします。この循環をより豊かにすることを前提として、必要なエネルギーを自然からいただくのが人間の在り方だと思っています。水や火から生活を生み出した体験が、現代の社会では失われつつある中で、自然本来の力を大切に暮らせる大地である七飯町の魅力をぜひ存続させてください。	本事業による自然環境及び生活環境への影響は、今後、現地調査、予測、評価を行い、準備書にまとめお示しします。国、自治体に審査をいただき、必要であれば事業計画の見直しを行い、自然環境への影響等を極力回避あるいは低減する計画といたします。 撤去時に発生する廃棄物については、可能な限り有効利用に努め、有効利用が困難なものについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて適正に処理・処分いたします。 今後もし引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。

表 2-1(51)環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
334	貴重な自然がこれ以上壊されるのは嫌です。未来の子供達に綺麗な地球を残してあげたいです。日本人は自然と共に生きて来ました。人工物はゴミを増やすだけです。どうかこの計画が白紙に戻りますように。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
335	こんにちは。 事業に関わる皆様、色々な事情があるでしょうし、そう簡単に計画を中止するなんてできないと思います。そんなことをすればきっと、たくさんの人が困ってしまうと思います。 ですからなんとか、事業に関わる皆さんと、木や鳥や他の生き物、お水や近くで暮らす人、みんなが困らずに済む方法を、みんなで考えられませんか。 計画を、一緒に考え直せないでしょうか。 きれいごとでなく、もしこの計画が自然と人との調和に成功するものになれば、今後世界の大切なお手本にだってなりえます。大きな視野で考えれば、風力発電は全くエコではないこと、皆様もきっとご存知だと思います。 何のための事業なのか、人間として一緒に見つめ直せませんか。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。風力発電機の建設及び稼働に伴う、鳥類及び生態系等の自然環境及び生活環境への影響についても現地調査を実施した結果を踏まえ予測・評価を行い、影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。 地域の皆様へは、引き続き住民説明会等で丁寧な説明及びご意見の聴取を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
336	知人が七飯町で生活しています。その人たちの暮らしを脅かすようなことはしないでください。	今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
337	絶対、反対します！	今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
338	祖父祖母の家があり幼少期から大沼の自然で育った町で第二の故郷の自然破壊は反対いたします。 多大なる環境破壊と人の暮らしへの悪影響をもたらすこの事業に反対いたします。 事業中止により、北海道の大自然と住民の方々の暮らしが守られることを切に願います。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
339	どれだけの意見書が集まろうと、事業が中止されることはないと知っております。 自由に商売していただくのは結構なのですが、できればもっと人里離れた所でやっていただくことはできないのでしょうか。 それと、この事業を推進している議員を教えてください。	地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう努めてまいります。 なお、議員の方の動向につきましては当社は存じません。
340	結婚をし、将来子どもが生まれたら子育てしやすそうという思いから、函館市から七飯町に移住し、現在子育て中です。移住してみて、自然豊かで野菜の販売所もたくさんありとてもいいところだなと感じ、函館の職場まで距離はありますが、函館へは戻らず暮らしを続けています。その中で、今回このような話があるのを知り、豊かな七飯町仁山の自然を守りたい。そして、子どもたちの未来を守るため、また住民の健康被害を避けるため、風力発電計画の撤回と中止を求めたいと思います。また、低周波は悪い影響があるのではないかと子どもたちの健康被害も心配です。野生動物の生息地もなくしたくないです。 どうか、このような意見があるということも知って頂きたいです。よろしくお願い致します。	風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調査可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様のご懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。その他、本事業による自然環境（野生動物の生息地に関する事項も含む）及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。

表 2-1 (52) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
341	ぼくは、七飯町にすむ小学3年生です。 ママもぼくも七飯が大好きです。 自然がたくさんあるからです。 もうこわさないでください。 やめてください。おねがいします。 自然をこわすなら、ぼくはここでくらしたくないです。 友だちは好きだからかなしいです。 ぼくが大人になったら、自然ないといこまります。 どうぶつも、かわいそうです。 やめてください。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
342	私は地域住民ではありませんが、美しい自然が破壊されるのがとても嫌なので意見させていただきます。風力発電は地域にとってみればデメリットしかありません。貴重な水源の破壊、動物たちや鳥たちの生態系の破壊、低周波による住民の健康被害の懸念、そして巨大な風車を毎日見なければならぬという環境美観の破壊などなどです。 電力が欲しいなら、欲しい人たちの地域で作って下さい。こんなに色々なものを破壊し、そして20年たったその後はどうなると思いますか？破壊された森、山々、水源は簡単に元へは戻りませんよ。多大な被害をこうむるのは地域の人たちです。もしあなたの家のすぐそばで同じことが起こったらどう感じますか？都会に住んでいるから関係ないでしょうか？私たちは自然があるから生きてゆけるのですよ。経済優先の破壊は滅亡への道です。これ以上やめてください。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。これにより、持続可能な開発と環境保全のバランスの取れた事業の推進が可能であると考えております。
343	全て分かった上でされている事かと思いますが、私利私欲のために目先のことだけしか考えずにする事が本当に必要なのでしょう？ 私達も動植物と変わらず自然の一部です。 進化は必要ですが、今時風力発電でもないでしょう。 もっと素晴らしい技術があるはずです。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
344	熊や野鳥の生息地を奪わないでください。 ??一度壊した自然は戻りません。これからは壊すことではなく守っていく時代だと思います。 未来の地球、子供たち、動物たちのため人間が考え動くことが大切です。 ??七飯町は豊かな自然が町の財産です。 私たち町民は仁山の多様な生態系がもたらす、自然の恩恵を受けて生活をしています。 一度破壊した自然は戻りません。そのツケは地元暮らししている私たち町民が払うことになります。 目先の利益を優先して、大切なものを失うことがないよう風力発電計画の撤回と中止を求めます。 ??私は自然が壊されるのは嫌です。 未来の子供達の事を考えても健康に過ごしてほしいです。 健康被害怖いです。 野生動物の生息地もなくしたくないです。	本事業による動物を含む自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
345	山は命です。 生きています。 このような大規模に自然を破壊してまで行う自然再生エネルギーは必要ないです。 私は自然と子どもたちを守るために風力発電計画の撤回と中止を求めます。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (53) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
346	私は、妻からこの話を聞いた時に真っ先に感じたのはこれ以上自然を変化させてほしくないという想いでした。 私の実家は今は廃業してしまいましたが、酪農を営む農家でした。 物心ついた時から、当たり前のように周りには自然があり生き物が居てその中で育ちました。 その時は気付いていなかったのですが、年齢を重ね様々な経験をし、今思うのは「子どもの頃の環境は当たり前ではなかったな」という気持ちです。 自然の素晴らしさ、雄大さ、人を癒す力は想像を超えます。 だからこそ、今ある自然を大切にしてほしいのです。 人の手を加えて変化させるのは簡単です。ですがその変化によって奪われる人や生物が確実に存在します。 そこまで予測してこの計画は考えられているのでしょうか？ 私には疑問です。 最後に伺いたいです。 風力発電という事業をするうえで、この計画が最善ですか？	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減し、今後も、地域住民の皆様より事業へのご理解をいただけるよう努めてまいります。
347	これ以上自然を壊さないでほしい！！ 健康被害も怖い！！ 風力発電計画の撤回と中止を求めます！ 断固反対！！	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
348	利権のために自然破壊しないで下さい。住民の生活や健康をないがしろにしないで下さい。 自然破壊により生態系が乱れ、熊や鹿などの人里への出没がこれまで以上に増えたり、水質汚染も心配です。低周波は健康に悪い影響がある事もわかっているのに、なぜ計画を進めようとするのですか。風力発電がなくても困る事はありません。 風力発電計画の即時撤回と中止を求めます。	今後の調査、予測及び評価の結果を踏まえて騒音等への影響を可能な限り回避又は低減するよう努めます。また、風力発電事業について不安を抱かれている方がいらっしゃることは承知しておりますので、分かりやすく丁寧な説明に努める等、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。
349	私は七飯町民ではありませんが、七飯の自然は絶対に守っていかなくてはならないと思っています。仁山に風力発電機を置くなんて考えられません。また最近七飯の湧水が利用できなくなって、これも何か理由があるのでしょうか？	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 また、工事の実施による水の濁りの影響につきましては、方法書記載の調査、予測及び評価を適切に実施いたします。今後の工事計画において、改変面積を極力低減させると共に、既存の知見等も収集し、濁りの流入を回避又は極力低減させる工事を検討いたします。

表 2-1 (54) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
350	『仁山高原風力発電事業』という名の『風力発電設備』の建設に断固反対します。風力発電のために、既にどれほど多くの自然が破壊されたか。私が住むアメリカでも風力発電による自然界への悪影響がどんどん明るみになってきています。目先のことに囚われる人間の欲による「自然破壊」「森林破壊」をどうかやめてください。森林伐採や自然界を開拓することにより保水機能が損なわれ、土砂流出が起き、土砂災害が増えていることに気がついてください。これ以上の森林破壊、自然破壊は必要ありません。工業の発展が国の発展に続くという妄想から目を覚ましてください。日本の発展はそこではなく、自然豊かな日本の国土を守ること、そこで暮らす方達が安心・安全に暮らし続ける生活を守ること、安全な食を担う自然栽培での農家さんが生計を立てられるよう応援すること、自然豊かな国土を破壊することを禁止するための法改正が急務です。長い地球の歴史の中で、私たちは自然界から食べ物や住居を作ってきました。それを破壊することは生態系を破壊すること。つまりは命を破壊することなのです。 2024年ニューヨークタイムズによって世界で訪れるべき場所の一つとして山口県山口市が選ばれました。今の美しい仁山高原は、それに匹敵する『訪れるべき美しい場所』です。そして、風力発電設備が建設されれば、そこに住む方達の生活に悪影響が出て、現在の生活が保てなくなる人が年を追うごとに出てくることは容易に考えられるだけでなく、多くの人たちにとって『訪れたくない場所』となるでしょう。ご自分たちの子孫が、自然からの恩恵を受けることができずに困窮する地球環境を作ることに、心の痛みはありませんか？もし、風力発電設備が建設されたら、仁山高原が今の元の姿に戻るまでに何年かかるかご存知ですか？JR東日本エネルギー開発株式会社という大きな会社の広報を担当されている皆様でしたら、きつとご存じだと思います。子どもの頃の思い出の風景に、自然の森林や虫たち、畑からの美味しい野菜たちが存在しない方は、きつとほとんどいらっしやらないでしょう。どうか、皆さんの手で、日本の美しい自然が破壊されることから守ってください。政府や官僚、上からの圧力に屈せず、美しい日本の自然を守ってください。お願いします。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 本事業は、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的としております。
351	風力発電での低周波被害はヨーロッパやアメリカでもたくさんの健康被害報告がでています。見えない低周波には心筋梗塞他色々なリスクがあります。私は過去に海外の記事で低周波によりニワトリの卵の白身と黄身が入れ替わったり、住民も病気や体調不良の人が続出し町が消えてしまったいたましい海外の記事を読み驚きました。 そしてもっと驚いたのはいつもどおり利権に負けて、誰もどこのテレビ局も真実をとりあげないことでした。 日本という素晴らしい国の自然を壊すこと、健康への被害を軽くみないでください。お金の為に風力発電を広げていけば、又次の風力発電に繋がり止めることが出来なくなるでしょう。風力発電のメリットだけではなく、悪い面とどうか向き合って調べてください。お願いします。どうかどうか立ち止まる勇氣を持ってください。圧力に負けないで日本人を守ってください。	風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておきませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (55) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
352	自然破壊が伴います。やめてください。わたしたちの大切な水にも影響が出ます。 人の暮らしへの悪影響をもたらす事業はいりません！	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 工事の実施による水の濁りの影響につきましては、方法書記載の調査、予測及び評価を適切に実施いたします。今後の工事計画において、改変面積を極力低減させると共に、既存の知見等も収集し、濁りの流入を回避又は極力低減させる工事を検討いたします。
353	風力発電計画について 七飯町は美しい自然と農業が魅力の街です。景観や自然環境に影響を及ぼしてまで風力発電を設置する必要性を感じていません。 全国に誇る農産物や大沼や山々の自然環境を少しでも失う可能性があるならば、風力発電で得られる電気の量よりも、今ある自然の資源を大切に守りたいです。 電気がなくては生活ができないのも事実ですが、他にたくさんのエネルギー源があるのに敢えて風力発電を設置するのは何故ですか？	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 景観については対象事業実施区域周囲の主要な眺望点や地元住民の皆様が生活される地区を眺望点として選定し、調査、予測及び評価を実施いたします。 現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
354	今本当に風力発電が必要なのでしょう？ 自然を壊し、壊した自然はすぐには戻りません。 今一度根本的に考えていただきたいです。 七飯町の議員の皆様風力発電ありきではなく話し合いをしていただけないのでしょうか？ よろしくお願いします。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
355	地元の高袋町に、設置後あまり稼働しないまま耐用年数を迎えた風力発電があります。最近、ヒグマや鹿が住民の生活範囲内に多数出没していますが、野生生物の生息地を奪ってまで建設する必要が本当にあるのでしょうか。検討の余地がまだまだあるのでは。建設には反対です。	本事業は好風況が見込まれる仁山高原を対象事業実施区域としており、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的として実施いたします。 本事業による動植物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
356	自然生態系を壊さないで下さい。 発電時に風力発電機から出る低周波による健康被害が心配です。 人、野や山に住むあらゆる動物に対して、良い影響はないと考えます。 発電装置の設置、保守管理の度に山に入り、そこで暮らしている動物植物を脅かすのは如何なものでしょうか。 仁山の自然を守りましょう。	本事業による動物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりましたが、住民の皆様のご懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
357	高原に巨大施設が作られる由、太陽光発電パネルでさえ山崩れや地滑りに耐えられるか不安なところ、巨大風車とは、住民の安全が脅かされかねません。海上に設置してあっても、津波で流されてしまうと、装置自体が単に大型破壊装置になる危険が考えられます。 日本国内には、そもそも、強固な地盤が少ない、とも聞きます。 巨大施設は不安だらけです。再考をお願いいたします。	風力発電施設の建設に当たっては、関係する所管部署にて工事内容、建築物の構造、安全対策・環境保全対策等の審査を受け、安全性を十分確保した工事を実施いたします。

表 2-1 (56)環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
358	風力発電にまつわる問題は様々聞いていますが、一番懸念するのは、自然環境を壊すことから生じる沢山の問題です。これからの時代は壊すより直して（治して）行く方向に舵を切らなければならない時に来ていると切に感じます。事業中止を望みます。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
359	反対します！！	今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
360	自然を壊してエネルギーを作る事業は、自然エネルギーにせよ、何にせよ、自然環境に対していい結果になったことはない。壊すのは簡単なんだけど、戻すことは物凄い労力を必要とするか又は再生しないかということも見てきている。作ったは良いが、後で抱える沢山の問題に向き合うのは現地の人間で、送電された電気を使う人でも、電力会社でもない。それは、原発の時の構造と全く同じと思うし、そこを考えずに進める政策に対しては反対の気持ちしかない。無責任だと思えます。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 本事業で発電した電力は北海道電力ネットワーク株式会社へ系統連系することとしております。
361	【仁山高原の豊かな自然と生態系を守りたい】という七飯町住民の方々の思いに賛同します。今ある豊かな自然や生態系を崩してまで必要な設備なのか疑問に思う住民のみなさんが納得されずに進められるべきではないとの思いも込めて。 自然が守られますように。 水や生態系が守られますように。 もう一度考え直して頂きたい。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
362	熊や野鳥の生息地を奪わないで下さい。一度壊れた自然は戻れません。壊すことではなく守っていく時代です。	本事業による動植物を含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
363	??熊や野鳥の生息地を奪わないでください。 ??一度壊した自然は戻りません。これからは壊すことではなく守っていく時代だと思います。 未来の地球、子供たち、動物たちのため人間が考え動くことが大切です。 ??七飯町は豊かな自然が町の財産です。 私たち町民は仁山の多様な生態系がもたらす、自然の恩恵を受けて生活をしています。 一度破壊した自然は戻りません。そのツケは地元で暮らしている私たち町民が払うことになります。 目先の利益を優先して、大切なものを失うことがないよう風力発電計画の撤回と中止を求めます。 ??私は自然が壊されるのは嫌です。 未来の子供達の事を考えても健康に過ごしてほしいです。 健康被害怖いです。	本事業は、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的としております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
364	一度壊した自然は戻りません。これからは壊すことではなく守っていく時代だと思います。未来の地球、子供たち、動物たちのため人間が考え動くことが大切です。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
365	地元ではないですが、近隣に風力発電ができることに不安があります。 豊かな自然や景観などが失われたり、動物たちへの影響も心配です。 住民にとってメリットがあるのかも謎です。	本事業は、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的としております。 動物や景観を含む自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (57) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
366	一度壊した自然は戻りません。これからは壊すことではなく守っていく時代だと思います。 未来の地球、子供たち、動物たちのため人間が考え行動することが大切です。 目先の利益を優先して、大切なものを失うことがないよう風力発電計画の撤回と中止を求めます。	本事業は、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的としております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
367	たった20年で利用しなくなる風力発電施設のために20年では取り返しのつかない森林伐採や大型作業道開設による環境悪化、涵養水源保安林のふもとで暮らす人々の生活への甚大なる悪影響が想定されるとは考えられないでしょうか？風力発電計画の撤回と中止を求めます。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
368	生態系や自然をこれ以上壊しては行けない 風力発電は必要がない	化石燃料使用による電力供給に頼るのではなく、地球温暖化等気候変動の影響の低減を目指して、風力発電等の再生可能エネルギーの導入を促進することは必要な事業であると考えております。 既存の自然環境（生態系を含む）の保護のため、最大限環境影響の低減を図る事業計画といたします。
369	風力発電で一度壊した自然は戻りません。山を守ることは海洋資源を守ることに繋がりがあります。北海道の豊かな自然に人工物は不要ですしエネルギーは他にも火力や原子力もあります。人体や生態系に影響があると世界各国で明らかになっているのを無視するのは何故ですか？営利目的としか思えません。風車設置後、鶏が卵を産まなくなり殆どの鶏(100羽以上)が死んでしまった知人もおり。また、風車火災も沢山報告され有害物が巻き散らかされています。命と安全が全く担保されていない風力発電建設には日本人として断固反対します！	本事業は、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的としております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
370	風力発電以外の方法はないのでしょうか？ 一度壊れた自然は元に戻せません。 仁山高原の自然と生態系を壊さないでください。 自然破壊だけでなく、低周波による健康被害の報告も聞いています。 このプロジェクトが本当に必要なのか、他の方法はないのか、再検討をお願いします。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。また、生態系を含む既存の自然環境の保護のため、最大限環境影響の低減を図る事業計画といたします。 なお、風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりませんが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
371	仁山の生態系や豊かな自然が、風力発電によりバランスを崩し、あらゆる生き物への影響が出ることが怖いです。 低周波は、目に見えなくても動植物たちに多大なる影響があり、仁山に生きる動物たちはその異変に気づき、住む場所を失うことになるのではと思います。それにより、国道などに飛び出す動物も増え、車との衝突事故が増えることも懸念されます。 仁山に住む人々にも、低周波の影響により健康被害が出るのではありませんか？ 子育て世帯も多くいると思います。 子どもたちが成長していくなかで、自律神経のバランスにも影響を与え、体だけでなく精神状態にも影響を与えるのではないかと思います。	生態系も含む自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 低周波音の発生が動物への生息及び動物の生態系に影響が生じたという報告は現時点ではありませんが、今後も慎重に既存施設の周辺地域における野生生物の状況を把握していきたいと考えています。

表 2-1 (58) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
372	一度壊した自然は戻りません。そのツケは地元で暮らしている町民が払うことになります。 多大なる環境破壊と、人の暮らしへの悪影響、健康被害をもたらすこの事業に反対いたします。 事業中止により、北海道の大自然と住民の方々の暮らしが守られることを切に願います。 目先の利益を優先して、大切なものを失うことがないよう風力発電計画の撤回と中止を求めます。	本事業は、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的としております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
373	子育て中だが子どもの健康に低周波は悪い影響があるが心配です。	風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりましたが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
374	大切な森林を破壊しての風車建設は、ECO でも持続可能でもありません。森林を減らすことや、風車による低周波により、生態系を崩すことになり、熊が森から降りてきたり、動植物の影響が、川から海まで異変を起こし、魚が取れなくなったりする懸念もありますので、巨大風車の建設は大反対です。 低周波の被害による住民の睡眠障害やうつ、めまい等、人体に影響を与えます。 子孫に残すべきは、一見 ECO に見える風車ではなく、豊かな森林です。 私たちの血税からの補助金で、不必要なものを造らないで頂きたい。巨大風車で作られた電気を買わされるのは、国民です。電気代の高騰、再エネ賦課金で苦しむのは国民です。道民は電気は十分に作られていますから、道外の方のために何故、道民が巨大風車の利権のために苦しまなければならないのでしょうか？巨大風車は利権の塊で、全く ECO でもなんでもありません。以上の理由で、風車建設に大反対です。	動植、植物及び生態系の自然環境への影響については、方法書に記載の調査、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえ、適切な環境保全措置を講じることにより、環境への影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。これにより、持続可能な開発と環境保全のバランスの取れた事業の推進が可能であると考えております。 なお、風力発電施設から発生する超低周波音等については、環境省の実施した既設風力発電所周辺の超低周波音の測定結果によると、人の知覚できる数値を下回っていることが報告されています。また、現在調達可能な風力発電機については、卓越した超低周波音の発生は確認されておりましたが、住民の皆様の懸念項目であることから、本事業では現地調査を実施し、その結果を踏まえて予測及び評価を実施いたします。
375	風力発電建設に反対します。仕事で何度か七飯町や大沼公園を訪れその美しい自然が忘れられません。そこに巨大風力発電が立てばどうなるか、あまりに失うものが大きすぎませんか。子供達に負の遺産を残せません。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
376	本当に風車が必要なのか 動物たちの居場所をおいやり、災害も起こりやすい状況に あえて自分たちで、なぜするのかわかりません。 色々な状況が起こることを、国民に伝えたいので、設置する意味を伝えてほしいです。 今一度、地域の方々の声に耳に傾けて下さい。	動物も含めた自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 また、地域住民の皆様より事業へのご理解をいただけるよう努めてまいります。
377	風力発電の事を知るにつれて、自然を壊してまで作ってはならないと思いました。自然の成り立ちを私達は全て理解していないからです。風力を作るためになぎ倒される樹木や自然がどれだけ私たちに影響するのか？また、風力の耐久年数が過ぎたらどうするのか？万が一倒れた時の影響はどうなのか？もちろん低周波障害をどうするのか？ゾクゾクと問題はできます。しかし一番は破壊された自然は何十年も戻ってこない事です。これからの子供達へ被害を残してはいけないと思っています。是非考え直してください。	本事業は、事業を通して地域貢献、地域活性化、地球温暖化対策、わが国のエネルギー自給率等の向上に寄与することを目的としております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、結果については準備書にてお示しさせていただきます。また、事業の検討においては、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (59) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
378	私は、当時シングルマザーで持病があり、療養も兼ね豊かな自然環境を求めて七飯町に引越してきました。 風力発電によって、法的または医学の規定では問題なくとも、電磁波や騒音など様々な弊害で心身に負担がかかり体調不良にも繋がります。 そういった環境がいやで、七飯町に越してきたのに、これ以上、やめていただきたいです。 豊かな自然環境も破壊され、野生動物や地盤も問題が出ます。 これ以上、豊かな自然とそこに住まう私達の環境を壊さないでいただきたいです。 風力発電の建設を考えている皆様の大切な家族やご自身が、私達と同じ立場ならどうするのでしょうか？ 大切な人が風力発電の音や電磁波で苦しんでいたら、あなたは何と声をかけ、どんな行動をしますか？ どんな心身の異常が現れても大切な人を住まわせるのでしょうか？ 自然が破壊され、住みにくい環境になった地球を、未来を担う子ども達に託したくありません。 利益や目先のことだけにとらわれないでください。 もうやめてください。 自然環境破壊や住みにくい環境にするのは、やめてください。 仁山高原への風力発電建設に反対します。	風力発電施設の稼働に伴う騒音を含めた、本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
379	自然破壊、人体への影響を超えるメリットが理解出来ません。 フリーエネルギー等という選択がある中、お金を多額に使い建設するもののでしょうか	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。本事業は風況に恵まれたこの地域の風力エネルギーを利用し、事業を通して地球温暖化対策、地域活性化等へ貢献できるものと考えております。 本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
380	壊した自然はもとにもどりません。 計画の見直しをお願いします。	既存の自然環境の保護のため、最大限環境影響の低減を図る事業計画といたします。
381	風力発電などの再生エネルギーは「エコ」でも「環境にやさしい」でもない未完成な技術ということがわかってきました。自然環境を破壊して効率の悪い発電をして「再エネ賦課金」と称して国民全員から広く浅く集めてお金を再生エネルギー開発企業に還元する利権ビジネスです。再考をお願いします。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。
382	一度壊した自然は元に戻りません 子供達の次の世代まで、この自然を残し守りたいです	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
383	6月1日より電気代が上がり、でも 原子力発電は絶対反対！！ 風力発電も少し不安！！ 自然を守り、人間に優しく家計により優しい物って無いのかな？	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。今後も、地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう努めてまいります。

表 2-1 (60) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
384	風力発電を建てる工程がクリーンではありません。 風力発電はいらない。	今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
385	自然豊かな七飯町仁山を守りたいので反対します。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
386	大切な水源涵養保安林を潰してまで進める事業だろうか？ 年間さほど風も吹かないような土地に風力発電？ 万が一、強行突破で工事されたとしたら無惨な姿の仁山高原しか残らないと思う。 七飯町の未来のためにも反対します	水源への影響については、今後、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 風況については既存資料においては風力発電に必要な風が吹く場所となっており、現在現地での風況観測を行っております。 本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
387	生態系、水源、環境を壊してまで工事してほしくありません。七飯町の自然を守ってください 風力発電は不要、計画には反対です	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
388	自然を守りたいので、反対します。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
389	仁山の自然をこわさないで下さい 反対します！	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
390	自然や登山を楽しむ権利を奪わないで下さい。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
391	クリーンなエネルギーと謳っていますが風力発電を建てる工程がクリーンではありません。 子どもたちが安心して暮らせる町を残したいです。	今後も引き続き、住民の皆様へ丁寧にご説明し、ご意見を伺いながら、本事業にご理解いただけるよう努めてまいります。
392	人に対する低周波の影響を検証してから進めて下さい。 稼働後数年たった、出来るだけ似たような条件の場所で、地形、風向、低周波を少なくとも 1 年間続けて調査し、併せて住民の健康調査もして下さい。「知見がない」とか「他事業のデーターを取ることは出来ない」とかいいわけにもなりません。 住民意見にも「考慮します」の返事だけで進展していません。 人が住めなくなる事業にしないで下さい。	低周波音を含む「騒音・超低周波音」の調査、予測及び評価を行い、結果を準備書にてお示しいたします。 予測及び評価結果を考慮の上、必要に応じ施設稼働後の事後調査を行い、騒音・超低周波音の状況を把握いたします。 以上について、住民の皆様には丁寧な説明を行い、ご理解をいただいた上で事業を進める所存です。
393	仁山高原の風力発電事業計画に反対します。 30 年前に自然豊かなこの地に移り住みました。 以来この地域の自然にいやされながら生活をしています。 愛鳥家なので貴重な渡り鳥の飛来を楽しみに見守っています。 沢山のマガンやヒシクイ等々。バードストライクの危険はありませんか？ 我々家の側には仁山からの水が流れてくる川があります。大きなイワナ、手のひらサイズのモクズガニなどが生息している自然の豊かな川です。この川に水景の変化は出ないでしょうか？ 山の裾野に暮らす私達は不安でいっぱいです。 自然エネルギーに替えていくことには賛成です。これ以上地球の温暖化を助長していかないようなんとしてでも自然エネルギーにシフトしたいと思っています。でもこの高原はあまりにも住民の近くなのです。なんとか再度ご検討いただけないでしょうか。 どうぞよろしくお願いいたします。	バードストライクにつきましては、現地において鳥類調査を行った上、風車への衝突の可能性に関しては、「鳥類等に関する 風力発電施設立地適正化のための手引き（環境省）」に基づき、定量的な予測を行います。 工事による水の濁りの発生及び水生生物への影響につきましては、方法書記載の調査、予測及び評価を適切に実施いたします。 これらの結果を踏まえ、適切な環境保全措置を講じることにより、環境への影響を可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (61) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
394	この事業を知った時、とても驚きました。そして、勉強会で知った道南各地に多くの風力発電施設の予定があることは、日本中でこのようなことが起きていて、電力は足りないのか？という気持ちの重たくなる瞬間でした。 私は道南に暮らして 50 年以上。自然豊かなこの地で人間形成され、そのことはとても満足しています。仁山から函館山をながめた時などは本当に幸せです。 この事業が次々と完成されたとしても、20 年余でまた同様のプロペラが設置されるのですか？そのままですか？ 宮崎駿のアニメ映画「天空の城ラピュタ」を思ってしまう。私たちの未来は、次々と崩され、目の前の成功を大切にあまり 100 年後、200 年後、自然の美しさはなくなっているのでしょうか？ もう少し時間をかけてみましょう。私達が出来ることは、もっと身近にあるはずです。人口も減っています。高度成長しなくても、不便さがあっても、人々の幸せが大切だと思います。	本事業による自然環境及び生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 また、調査の結果につきましては準備書にてお示しし、住民の方へ説明会を開催させていただきます。今後も、地域住民の皆さまに分かりやすく丁寧な説明に努め、事業へのご理解をいただけるよう真摯に対応してまいります。
395	自然豊かな土地に風力発電が出来るかもしれないと聞いてビックリしました。良い面・悪い面を住民にわかるように説明する時間を沢山取ってほしいです。納得してから進めてほしいです。今現在は騒音、景観、健康被害、災害など心配な面ばかりです。	引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。 本事業による生活環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
396	ここは大沼国定公園の源流であり、水源地です。なぜ (P37 平均風速 2m/sec で) 全く産業としても成り立たない開発するのでしょうか。 環境省の環境基本計画に「汚染者負担の原則等」があります。環境の保全計画が策定されないこの計画は基本的なこの原則に反しています。 設備、手順と費用の積立を明確にし、災害時の対応も立ててから施工することがこの開発においても必要です。普通に建物の建設でも行われる火災時の対応のような基本を無視し、飛ばして設営できるのか不思議です。 一番大切なことを守り、経済的にも環境的にも負担のない後世に悔いの残らない選択をして頂きたいと思います。 この地方は日本の資産である北海道の美しい自然と動植物の宝庫、貴重な水資源の源流です。必ず保全対策を万全にして頂き具体策を立てて下さい。	風況に関しては、方法書 P. 37 に記載の平均風速は地上 8m で測定した結果であり、地上高 30m では P31 に記載のとおり、概ね年平均風速 6m/s 以上の好風況エリアとなっております。 風力発電設備の安全性に関しては、建築基準法及び電気事業法の基準に則って設計し、事業の検討を行います。 本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
397	本当に必要な（未来に）事なのか考えてしまいます。今の現実、地球の悪化を考え、これ以上、自然をこわす事は、危険ではないでしょうか。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
398	一度こわれてしまった自然が元に戻らないことを我々は何度となく目の当たりにして来ました。本当に必要なものなのか、説明が足りていないと考えています。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。 また、引き続き住民説明会等で丁寧な説明を心がけ、本事業計画についてご理解いただけるよう努めます。
399	仁山は小さい頃の思い出があり、ありのままの自然を維持してほしいです。 自然も命です。大事に残すべきだと思っています。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。

表 2-1 (62) 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
400	電力ひっ迫しており、他に方法がないというのであれば検討する余地はあるかもしれませんが、そうではないと聞きました。そうであれば、仁山高原の自然を壊し鳥や他の生き物を傷つけてまで風力発電事業をしてほしくないです。失ってからでは遅いので仁山高原の自然を大切にしてください。	現在の日本の電力調達は石油や石炭、天然ガス等の化石燃料の多くを海外輸入に依存していること、これらの電力は地球温暖化を促進していることを鑑み、再生可能エネルギーによる電力調達は重要であると考えています。本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減し、地域住民の皆さまにご理解をいただけるよう努めてまいります。
401	自然を大事に残してもらいたいです。未来のためにもきずつけてはいけないと思います。北海道の大切な宝物です。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
402	未来に美しい風景を残してください。	本事業による景観及び自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
403	風力発電より、二度と創りだすことができない仁山の自然を大切にしてください。	本事業による自然環境への影響については、今後、現地調査を行い、予測及び評価を実施し、可能な限り回避又は極力低減いたします。
404	・住民への周知が足りないと感じています。 ・平日の説明会では、出席できない方々も多いので、配慮をお願いしたいです。	説明会の開催案内につきましては、引き続き関係自治体と協議の上、広く周知を行えるよう検討してまいります。

○日刊新聞紙における公告

令和6年4月23日（火）北海道新聞（朝刊）

「環境影響評価法」に基づき、「(仮称)仁山高原風力発電事業」を縦覧し、説明会を開催いたします。

一、環境影響評価方法書
 環境影響評価方法書
 代表者の氏名
 事務所の所在地

二、事業の名称
 規模
 種類
 発電設備出力・最大三万八千七百キロワット
 (基数・最大九基)
 風力発電所設置事業(陸上)
 JR神田万世橋ビル十五階
 (仮称)仁山高原風力発電事業

三、対象事業実施区域
 環境影響を受ける範囲
 北海道亀田郡七飯町、北斗市
 田郡七飯町、北斗市、茅部郡森町、七飯町役場本庁舎(政策推進課)、七飯町大沼出張所、七飯町大中山出張所、北斗市庁舎(市民部環境課)、森町役場本庁舎、北海道渡島総合振興局環境生活課
 ※いずれも、土・日・祝日を除く開庁時
<https://www.jr-energy-jr-group.ne.jp/info/detail.html?id=nyamanews202404>
 令和六年四月二十三日(火)から
 令和六年五月二十七日(月)まで

四、縦覧の場所・時間

五、電子縦覧
 期間

六、意見書の提出
 環境影響評価方法書について、環境の保全の見地からのご意見を
 お持ちの方は、書面に住所・氏名・意見(意見の理由を含む)を
 ご記入のうえ、令和六年六月十日(月)までに縦覧場所に備え付
 けておられます意見書箱にご投函くださるか、問い合わせ先へ郵
 送ください(当日消印有効)。

七、住民説明会の開催を予定する場所・日時
 一、七飯町大沼婦人会館(七飯町字大沼町二二の二)
 令和六年五月十四日(火) 第一回・十四時から、
 第二回・十八時から
 二、七飯町文化センター(七飯町本町六丁目一番二号)
 令和六年五月十五日(水) 第一回・十四時から、
 第二回・十八時から
 三、北斗市総合文化センター かなでくる(北斗市中野通二丁目
 十三番の一)
 令和六年五月十一日(土) 十八時三十分から
 四、グリーンピア大沼(森町赤井川二二九)
 令和六年五月十六日(木) 十八時三十分から

八、問い合わせ先
 JR東日本エネルギー開発株式会社
 〒一〇一・〇四一 東京都千代田区神田須田町一丁目二十五番地
 JR神田万世橋ビル十五階
 電話・〇三(六二〇六)六〇七六 ※土・日・祝日を除く、九時
 三十分から十七時三十分まで(総務部 広報担当)

○広報による「お知らせ」

広報ななえ（令和6年4月号）

お知らせ
Information

「（仮称）仁山高原風力発電事業 環境影響評価方法書」縦覧のお知らせ

JR東日本エネルギー開発株式会社が計画する「（仮称）仁山高原風力発電事業」について、環境影響評価の調査、予測及び評価の手法を取りまとめた「環境影響評価方法書」を次のとおり縦覧します。

事業主体 ▶ JR東日本エネルギー開発株式会社

事業名称 ▶ （仮称）仁山高原風力発電事業

事業実施区域 ▶ 七飯町及び北斗市

縦覧場所 ▶ 役場2階政策推進課、
大中山出張所、大沼出張所

縦覧及び意見書受付期間・時間 ▼

4月23日（火）～6月10日（月）

8：30～17：15 ※土日・祝日を除く

【住民説明会】

事業の説明会を5月中旬に予定しています。詳しくは広報ななえ5月号にてお知らせします。

意見書提出方法 ▼

環境の保全の見地からのご意見をお持ちの方は、書面に住所・氏名・意見（意見の理由を含む）をご記入のうえ、意見書受付終了日までに縦覧場所に備え付けの意見書箱にご投函いただくか、下記のお問い合わせ先へご郵送ください（当日消印有効）。

インターネットによる公表 ▼

JR東日本エネルギー開発株式会社のトップページ内お知らせ欄の【環境アセスメント】に掲載します。

<https://www.jr-energy.jregroup.ne.jp/info/detail.html?id=niyamanews202404>

※4月23日10：00より閲覧可能となります。

問い合わせ／JR東日本エネルギー開発株式会社 総務部広報担当（土日・祝日を除く、9：30～17：30）

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 JR神田万世橋ビル15階

☎03-6206-6076

広報ななえ（令和6年5月号）

「（仮称）仁山高原風力発電事業環境影響評価方法書」縦覧のお知らせ

JR東日本エネルギー開発株式会社が計画する「（仮称）仁山高原風力発電事業」について、環境影響評価の調査、予測及び評価の手法を取りまとめた「環境影響評価方法書」の内容についての説明会を、実施します。

事業名称 ▶ （仮称）仁山高原風力発電事業

事業実施区域 ▶ 七飯町及び北斗市

事業内容 ▶ 風力発電事業

出力規模 ▶ 最大出力：38.7MW（特別高圧電源）

工事開始時期（予定）▶ 2028年4月～

運転開始時期（予定）▶ 2030年4月～

説明会日時 ▼

	日時	会場
第1回	5月14日（火） 14：00～	大沼婦人会館
第2回	5月14日（火） 18：00～	
第3回	5月15日（水） 14：00～	七飯町文化センター
第4回	5月15日（水） 18：00～	

※1 説明会は1時間半～2時間程度を予定しています。

※2 本説明会は、環境影響評価法および再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法に基づくものです。出席者名簿及び説明会の録音・録画を提出することが制度上求められているため、受付において、出席者名簿に記名いただき、出席者のプライバシーに対して最大限配慮して録音・録画をさせていただきます。また、御参加に当たっては、受付において、身分証明書（運転免許証等）を確認させていただきます。御不明点がある際には、下記までお問合せください。

問い合わせ／JR東日本エネルギー開発株式会社 総務部広報担当（土・日・祝日を除く、9：30～17：30）

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 JR神田万世橋ビル15階

☎03-6206-6076

「創業バックアップ助成金」を 利用しませんか

市では、函館地域産業振興財団、函館市、七飯町と連携し、新たに起業する方や創業後5年以内の方の事業計画を審査し、優れた計画に対して事業経費の一部を助成します。

助成内容の詳細は、函館市産業支援センターのホームページをご覧ください。また、同ホームページでは募集要領や申込書等が取得できます。

●募集期間／5月24日(金)まで

●応募方法／指定の申込書等に必要事項を記入のうえ、郵送または同センターへお持ちください。

問 函館市産業支援センター

☎34・2584



「環境影響評価方法書」 縦覧について

環境影響評価の調査、予測および評価の手法を取りまとめた「環境影響評価方法書」を縦覧することができます。

●事業名称／(仮称) 仁山高原風力発電事業

●縦覧場所／市役所環境課または事業者ホームページ

April 2024 20

※評価方法書についてのご意見は、書面に住所・氏名・意見(意見の理由を含む)をご記入の上、縦覧場所に備え付けの意見書箱に投函するか、事業者へ郵送ください。

●縦覧・意見書受付期間／4月23日(火)～6月10日(月)平日開庁時



【事業者による住民説明会を開催します】

●日時／5月11日(土)午後6時30分

●場所／市総合文化センターかなでる

問 JR東日本エネルギー開発(株)

担当：総務部 広報担当(〒100-10041 東京都千代田区神田須田町1-25 JR神田万世橋ビル15階)

☎03・6206・6076

催し・講座

手書き要約筆記講座「書いて・伝えるボランティア講座」

話し手の言葉や音を聞き、文字にして伝えるなど、後天的に聴覚を失った方の会話のお手伝いを学びます。

●日時／5月16日(木)・23日(木)・30日(木) 午前10時～正午(全3回)

●場所／函館市総合福祉センター
(函館市若松町33番6号)

広報もりまち (令和6年4月号)

「(仮称) 仁山高原風力発電事業 環境影響評価方法書」の縦覧のお知らせ	
JR東日本エネルギー開発株式会社が計画する「(仮称) 仁山高原風力発電事業」について、環境影響評価の調査、予測及び評価の手法を取りまとめた「環境影響評価方法書」を以下の通り縦覧致します。	
【縦覧について】 ○図書縦覧場所：森町役場本庁舎 ○縦覧期間：令和6年4月23日(火)～6月10日(月) ○意見書受付期間：令和6年4月23日(火)～6月10日(月) ※当日消印有効 ○電子縦覧先： https://www.jr-energy.jrenergyp.co.jp/info/detail.html?id=niyamanews202404 ※上記縦覧先は、縦覧開始日(令和6年4月23日10時)より閲覧可能となります。	【問い合わせ先】 JR東日本エネルギー開発株式会社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 JR神田万世橋ビル15階 担当：総務部 広報担当 (土日・祝日を除く、9時30分から17時30分まで) 電話：03-6206-6076

広報もりまち (令和6年5月号)

「(仮称) 仁山高原風力発電事業 環境影響評価方法書」説明会開催のお知らせ	
JR東日本エネルギー開発株式会社が計画する「(仮称) 仁山高原風力発電事業」について、環境影響評価の調査、予測及び評価の手法を取りまとめた「環境影響評価方法書」の内容に関しまして、以下の通り説明会を開催致します。	
【説明会日時】 ○日時：令和6年5月16日(木) 18時30分～ ※説明会は1時間半程度を予定しております。 ○場所：グリーンピア大沼 大ホール「すずらん」 〒049-2142 北海道茅部郡森町赤井川229	【問い合わせ先】 JR東日本エネルギー開発株式会社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 JR神田万世橋ビル15階 担当：総務部 広報担当 電話：03-6206-6076 (平日9時30分から17時30分まで) * 図書の縦覧場所については以下ホームページをご確認ください。 https://www.jr-energy.jrenergyp.co.jp/info/detail.html?id=niyamanews202404

○インターネットによる「お知らせ」

(北海道のウェブサイト)


北海道
[北海道トップ](#)

[カテゴリから探す](#)

[組織から探す](#)

[防災情報](#)

[HOME](#) > [環境生活部](#) > [環境保全局環境政策課](#) > [環境影響評価](#) > 法109_〈仮称〉仁山高原風力発電事業

法109_〈仮称〉仁山高原風力発電事業

[ページ内検索](#)
[事業の概要](#)
[配座書](#)
[方法書](#)

事業の概要

事業者

JR東日本エネルギー開発株式会社

事業の種類

風力発電所

事業の規模

最大38,700kW

事業実施区域

七飯町、北斗市

関係市町村

七飯町、北斗市、森町

配座書

環境影響評価法による第二種事業であり、配座書手続きなし。

方法書

概要

公表日

令和6年(2024年)4月23日

縦覧期間

令和6年(2024年)4月23日～令和6年(2024年)5月27日

一般意見提出期間

令和6年(2024年)6月10日

縦覧場所

- 七飯町役場本庁舎（政務推進課）
- 七飯町大沼出張所
- 七飯町大中山出張所
- 北斗市庁舎（市民部環境課）
- 森町役場本庁舎
- 北海道釧路総合振興局環境生活課

インターネットによる公表

[本庁ウェブサイト](#)

説明会

場所	日時
七飯町大沼町人会館	令和6年5月14日（火）14:00～、18:00～
七飯町文化センター	令和6年5月15日（水）14:00～、18:00～
北斗市総合文化センター かなで〜る	令和6年5月11日（土）18:30～
グリーンピア大沼	令和6年5月16日（木）18:30～

知事意見

[カテゴリ](#)
[お知らせ](#)
[環境影響評価](#)

[環境保全局環境政策課のカテゴリ](#)
[環境影響評価](#)

カテゴリ

- お知らせ
- 環境影響評価

環境保全局環境政策課メニュー

- ① 注意情報
- ② 入札情報等
 - 入札
 - パブコム
 - 公募
- ③ トピックス
- ④ 関連機関
- ⑤ 関連リンク
- ⑥ 政策一覧
 - 行政機関
 - 環境政策
 - 環境教育
 - 協働・普及啓発
 - 環境影響評価
 - 特定船舶汚染
 - 水道・飲用水
 - 大気・水環境 公害防止



ミサール。 道庁eSIS+ 道庁ウェブサイト 大集結!

Click Here! www.missal-hokkaido.jp

(七飯町のウェブサイト)



「(仮称) 仁山高原風力発電事業 環境影響評価方法書」の 縦覧及び住民説明会のお知らせ

[トップページ](#) > [行政情報](#) > [行政情報トピックス](#)

▶ 「(仮称) 仁山高原風力発電事業 環境影響評価方法書」の縦覧及び住民説明会のお知らせ

2024年4月23日

JR東日本エネルギー開発株式会社が計画する「(仮称) 仁山高原風力発電事業」について、環境影響評価の調査、予測及び評価の手法を取りまとめた「環境影響評価方法書」を以下のとおり縦覧いたします。

事業名称

(仮称) 仁山高原風力発電事業

対象事業実施区域

七飯町及び北斗市

縦覧場所

七飯町役場本庁舎（政策推進課）、大沼出張所、大中山出張所

縦覧及び意見書受付期間

4月23日（火）～6月10日（月）※土・日・祝日除く

※環境影響評価方法書について、環境の保全の見地からのご意見をお持ちの方は、書面に住所・氏名・意見（意見の理由を含む）をご記入のうえ、意見書受付終了日までに、縦覧場所に備え付けの意見書箱にご投入ください。下記のお問い合わせ先へご連絡ください（当日消印有効）。



縦覧・意見書受付時間

8時30分～17時15分

インターネットによる公表

JR東日本エネルギー開発株式会社のトップページ内、お知らせ欄の【環境アセスメント】に掲載します。

[JR東日本エネルギー開発株式会社ホームページ](#)

※縦覧開始日（4月23日10時）より閲覧可能となります。

住民説明会

第1回 日時：5月14日（火）14時から

会場：大沼婦人会館

第2回 日時：5月14日（火）18時から

会場：大沼婦人会館

第3回 日時：5月15日（水）14時から

会場：七飯町文化センター

第4回 日時：5月15日（水）18時から

会場：七飯町文化センター

※説明会は1時間半から2時間程度を予定しております。

本説明会は、環境影響評価法および再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法に基づくものです。出席者名簿及び説明会の録音・録画を提出することが制度上求められているため、受付において、出席者名簿に記名いただき、出席者のプライバシーに対して最大限配慮して録音・録画をさせていただきます。また、大変恐縮ではございますが、御参加に当たっては、受付において、身分証明書（運転免許証等）を確認させていただきます。御不明点がある際には、下記の「事業者連絡先」までお問合せください。

<問い合わせ先>

JR東日本エネルギー開発株式会社

住所：〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 JR神田万世橋ビル15階

担当：総務部広報担当（土・日・祝日を除く、9時30分から17時30分）

電話：03（6206）6076

(北斗市のウェブサイト)



[交通アクセス](#)
[サイトマップ](#)
[お問い合わせ](#)

[暮らし・手紙き](#)
[福祉・健康](#)
[子育て・教育](#)
[安心・安全](#)
[市政情報](#)
[まち・ひと](#)
[しごと](#)

[HOME](#)
[暮らし・手紙き](#)
[福祉・健康](#)
[子育て・教育](#)
[安心・安全](#)
[市政情報](#)
[まち・ひと](#)
[しごと](#)

「（仮称）仁山高原風力発電事業 環境影響評価方法書」縦覧のお知らせ

2024年4月1日

JR東日本エネルギー開発株式会社が計画する「（仮称）仁山高原風力発電事業」について、環境影響評価の調査・予測・評価を行い、その結果を公表して一般の方々に意見を聴き、それらを踏まえて環境の保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていくという制度です。

環境影響評価（環境アセスメント）とは

開発事業の内容を決めるに当たって、それが環境にどのような影響を及ぼすかについて、あらかじめ事業側自身が調査・予測・評価を行い、その結果を公表して一般の方々に意見を聴き、それらを踏まえて環境の保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていくという制度です。

事業の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地

- 事業の名称：JR東日本エネルギー開発株式会社
- 代表者の氏名：代表取締役社長 松本龍弘
- 事業所の所在地：東京都千代田区神田須田町1-25 JR神田万世ビル15階

対象事業の名称等

- 事業の名称：（仮称）仁山高原風力発電事業
- 環境：風力（陸上）
- 規模：発電設備出力最大36,700キロワット
- 対象事業範囲等：北斗市・亀田郡七原町（計画予定区域：亀田郡七原町）

方法書縦覧場所

- 北斗市本庁舎市民環境課（2階）・北海道建設総合環境生活課

インターネットによる公開

- [JR東日本エネルギー開発株式会社](#)

※縦覧開始日（令和6年4月23日10時）より閲覧可能となります。

縦覧開始以前は表示されません。ご了承くださいませ。

縦覧期間

令和6年4月23日（火曜日）から令和6年6月10日（月曜日）まで

意見書受付期間

令和6年4月23日（火曜日）から令和6年6月10日（月曜日）まで

※環境影響評価方法書について、環境の保全の観点からのご意見を各持ちの方は、事前に住所・氏名・意見（意見の理由を含む）をご記入のうえ、意見書受付終了日までに、縦覧場所の受付付けの意見書箱にご投函頂くか、下記のお問い合わせ先へご連絡ください（当日消印有効）。

縦覧・意見書受付時間

土曜日・日曜日・祝日を除く8時30分から17時まで

〈住民説明会について〉

- 日時：令和6年5月11日（土曜日）18時30分開場
- 場所：北斗市総合文化センター カナデ〜る 大会議室
住所：北斗市千代田2丁目3-1

〈お問い合わせ先〉

JR東日本エネルギー開発株式会社

住所：〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 JR神田万世ビル15階

担当：総務部 広報担当（土・日・祝日を除く、9時30分から17時30分まで）

電話：03（6206）6076

トピックス

2024年4月1日
[「（仮称）仁山高原風力発電事業 環境影響評価方法書」縦覧のお知らせ](#)

2024年4月1日
[「（仮称）仁山高原風力発電事業 環境影響評価方法書」縦覧のお知らせ](#)

2024年4月1日
[市役所の防災について](#)

2024年4月1日
[地方自治体防災システムによる防災方法の紹介について](#)

2024年4月1日
[市役所の防災方法について](#)

2024年4月1日
[市役所の防災方法について](#)

2024年4月1日
[令和6年度北斗市休日当番表](#)

2024年4月1日
[法律相談](#)

2024年4月1日
[こども学習センターを開設します〜図書・図書・子育てのお悩みを一緒に考えます〜](#)

2024年3月26日
[防災リンク](#)

[RSS](#) [もっと見る](#)

(森町のウェブサイト)



[ホーム](#)
[お知らせ](#)
[分野から探す](#)
[観光ガイド](#)
[森町の紹介](#)



町長室から
町長あいさつ、他、
交際費執行状況など

森町について

- 町へのアクセス
- 森町のあゆみ
- 意章や宣言
- 町章やシンボル
- 人口世帯数
- 町の条例・規則

イベントカレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

<前の月 | 一覧へ | 次の月>

暮らしの便利帳

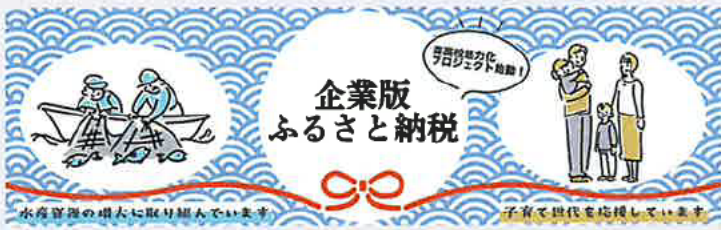
- 郵便番号早見表
- 相談窓口一覧
- 町内の医療機関
- ごみカレンダー
- ごみ分別大事典
- 保健カレンダー
- リンク集

広報

- 広報もちまち
- 防災無線放送文
- 公式YouTube
- 公式Facebook



左のQRコードからスマートフォンサイトへアクセスできます。



子育て世代を応援しています

新着情報

- ・もりまちさくらまつり歌謡ショー開催時の駐車場について (2024年4月23日 図書館)
- ・図書館5月行事「母の日のおけなし会 (絵本の読み聞かせ)」について (2024年4月23日 図書館)
- ・図書館だより「今月の本棚」 令和6年5月号 (2024年4月23日 図書館)
- ・野犬捕とりの実施及び伏のフン原について (2024年4月22日 住民生活課)
- ・森町複合施設整備基本構想を策定しました (2024年4月22日 総務課)
- ・【防災無線放送文】春のクリーン作戦について (2024年4月19日 防災交通課)
- ・森町学校給食センター給食だより(献立表) (2024年4月19日 給食センター)
- ・森町高齢者福祉総合計画 (森町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画) の策定について (2024年4月19日 保健福祉課)
- ・令和6年4月26日入札 (質問回答2) 消防指令システム整備工事 (2024年4月19日 契約管理課)
- ・地域おこし協力隊を募集します (2024年4月19日 企画総務課)

RSS Atom >>新着記事一覧

観光・イベント

採用情報・募集

入札情報

【広告】「(仮称) 仁山高野風力発電事業」方法書掲載のお知らせ
【PR】森町ではテキスト広告を募集しています。

分野から探す

- 

暮らし・防災

戸籍・登録 税金 ゴミ・環境 子育て ペット 上下水道
町営住宅 防災・交通 消防
- 

健康・福祉・保険

年金・保険 健康・医療 福祉・介護 施設 国保病院
- 

教育・文化

学校教育 社会教育 給食センター 文化財・史跡
ストーンサークル スポーツ・レジャー 図書館
- 

産業・入札情報

契約管理 建設・道路 農林業 水産業 商工労働
- 

行政・まちづくり

森町の紹介 まちづくり・政策 情報化推進 マイナンバー制度
予算・決算・財政 統計・広報 職員の採用 選挙 議会
- 

観光・魅力

観光・イベント 名所・体験

もしもの時でも冷静に

- ・防災情報
- ・気象情報
- ・休日当番区
- ・公共機関電話番号

「積算」&「予算」はこちらから
森町図書館

駒ヶ岳活動状況

電子申請
様式ダウンロードは
こちらから

森町移住定住情報

森町で暮らしませんか

国土利用計画法
に基づく
土地取引の届出について

お問い合わせ

代表電話番号
01374-2-2181

メールによる問い合わせ
問い合わせフォーム

森町へのお問い合わせ
は、上記申請フォームを
ご利用ください。

facebook
@shimomachi



コンピュータシステムの
SEC

地域モデル地区 PROJECT

(仮称) 森町風力発電事業
自然エネルギー株式会社

公式サイト
広告募集中

ページの先頭へ

Copyright © 2000- 北海道森町 All Rights Reserved.
〒049-2393 北海道茅部郡森町字御幸町144番地1 代表電話番号01374-2-2181

[総覧一覧](#) |
 [このサイトの利用について](#) |
 [リンク集](#) |
 [相談窓口](#) |
 [お問い合わせ](#) |
 [サイトマップ](#)

75

(当社ウェブサイト)


JR東日本エネルギー開発株式会社
JR EAST Energy Development Co., Ltd.

[home](#)

[会社概要](#)
[ミッション](#)
[私達の挑戦](#)
[交通アクセス](#)
[お問い合わせ](#)
[採用情報](#)

環境アセスメントについて INFORMATION

「(仮称) 仁山高原風力発電事業」に係る環境影響評価方法書の公表及び縦覧について

北海道亀田郡七飯町における「仁山高原風力発電事業に係る環境影響評価方法書」(以下、方法書)を、環境影響評価法に基づき公表します。

※方法書は、2024年4月23日(火)午前10時00分～2024年6月10日(月)午後5時00分までの期間中は閲覧が可能です。
 ※閲覧期間を過ぎた場合は表示できません。
 ※閲覧期間中でも、ご使用のブラウザ、プラグインが対応していない場合は表示できません。
 ※意見書以外は、ダウンロードしての閲覧や印刷することはできません。

表紙

目次

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

第2章 対象事業の目的及び内容

第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

第4章 対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法

第5章 環境影響評価方法書を委託した事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

資料編

要約書

環境影響評価方法書に対する意見書の提出について・意見書様式

方法書の縦覧

縦覧場所

北海道渡島総合振興局環境生活課
 七飯町役場 本庁舎(政策推進課)
 七飯町役場 大沼出張所
 七飯町役場 大中山出張所
 北斗市役所 環境課
 森町役場 本庁舎

縦覧期間

2024年4月23日(火)～2024年6月10日(月)
 (土・日・祝日を除く開庁時)

意見書受付期間

2024年4月23日(火)～2024年6月10日(月)
 (当社宛に郵送の場合、2024年6月10日(月)当日消印有効)

意見書には、必ず住所・氏名(法人その他の団体は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)をお書きください。
 環境影響評価方法書に対する意見の内容及びその理由を書いてください。
 住所、氏名、対象方法書の名称、意見の内容及びその理由を記入してあれば、環境影響評価方法書に対する意見書の用紙を使用しなくても結構です。

お問い合わせ先

JR東日本エネルギー開発株式会社 担当：総務部 広報担当

意見記入用紙

【意見書の提出先】 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 JR 神田万世橋ビル15階
JR東日本エネルギー開発株式会社 総務部 広報担当 宛

【意見書の提出期限】 令和6年6月10日（月）〔当日消印有効〕

令和 年 月 日

法人その他の団体にあっては、
法人名・団体名、代表者に氏名

法人その他の団体にあつては、
主たる事務所の所在地

[illegible]

注1: なお、ご記入頂いた情報は、個人情報保護の重要性を十分に認識し、適正に取り扱うことと致します。
また、環境影響評価法に基づく手続きのみに使用し、他の目的に使用することはございません。
2: この用紙に書ききれない場合は、裏面又は同じ大きさ (A4 サイズ) の用紙をお使いください。

